

開設期	前期	曜日時限	水3~4	時間割コード	1071101002
開設科目名	環境水文学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	深田 三夫			区分	
授業の概要					
一つの流域は河川、湖沼、農林地などのネットワークで構成されている。この中での大気、水、熱の循環と収支を述べ、次に人間活動に伴って発生する負荷の性質や流出機構について概説する。最後に汚濁負荷の流出モデルと評価方法について述べる。					
授業の一般目標					
地球上における水の循環や、流出の概念を理解するとともに、数値計算やシミュレーション手法の理解を深める。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 降雨として地表に達した水の動きと、土壌などとの相互作用を理解する。					
思考・判断の観点: 講義で学んだことに対し、問題点を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 流出解析の重要性について関心をもつ。					
成績評価方法(総合)					
テストの成績, 出席で判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
mfukada@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木3~4	時間割コード	1071101003
開設科目名	植物生理学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	荒木 英樹			区分	
授業の概要					
植物の細胞構造, 光合成, 呼吸代謝, 二次代謝, 成長と発生など, 植物の栄養, 代謝, 成長・分化について説明するとともに, 植物ホルモンの生理作用・作用機作ならびに環境ストレス下での植物の反応について解説する.					
授業の一般目標					
農学における食料生産の基礎として, 植物の栄養, 代謝, 成長・分化について理解を深める.					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 食料生産の基礎学問として, 植物の栄養, 代謝, 成長・分化について説明できる.					
思考・判断の観点: 植物の生理反応が食料生産に関連していること, また, 環境が植物に与えている影響について理解することができる.					
関心・意欲の観点: 作物の栽培の現場で植物生理に基づく観察や管理に関心を持つ.					
態度の観点: 食料生産の基礎として, 植物栄養, 代謝, 成長・分化について関心を持ち, 植物を取り巻く環境が植物の生理反応に深く影響を与えることを学ぶことができる.					
成績評価方法(総合)					
基本的に試験において理解度を評価します. 十分理解されていない学生にはレポートを課します.					
教科書					
絵とき 植物生理学入門 第2版 / 増田芳雄編: オーム社, 2007					
参考書					
植物生理学入門 / 桜井英博ら共著: 培風館, 2001					
ティツ/ザイガー 植物生理学 / 西谷 和彦ら訳: 培風館, 2004					
メッセージ					
指定した教科書は熟読するに値します.					
連絡先					
農学部附属農場 ahide@yamaguchi-u.ac.jp 083-933-5920					
オフィスアワー					
火曜日と木曜日の午後 15:30 ~					

開設期	前期	曜日時限	水1~2	時間割コード	1071101004
開設科目名	遺伝学とバイオテクノロジー			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	小林 淳			区分	
授業の概要					
生物を理解し利用する上で必要不可欠な遺伝学の基礎知識として、分子レベル、個体レベルおよび集団レベルにおける遺伝現象とそのメカニズムや研究方法を説明し、遺伝学の成果を応用したさまざまなバイオテクノロジーを紹介する。					
授業の一般目標					
遺伝学の基礎知識を理解し、バイオテクノロジーの原理を遺伝学的観点から考える態度を培う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 遺伝現象とその仕組みに関する基礎知識を身につける。					
思考・判断の観点: さまざまなバイオテクノロジーの原理を遺伝学の知識に基づいて説明できる。					
関心・意欲の観点: 身の回りのバイオテクノロジーとその進歩について関心を持ち、問題点やその解決法を議論できる。					
成績評価方法(総合)					
1. 授業内容の理解度をみる小テスト。2. 学習内容の応用を試す宿題。3. 期末試験。以上を、下記の観点・割合で評価する。なお、出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。					
教科書					
遺伝学の基礎 / 西尾剛 編著: 朝倉書店, 2006					
参考書					
遺伝学 / 沢村京一: サイエンス社, 2005					
遺伝学キーノート / P.C. ウィンターほか: シュプリンガー・フェアラーク東京, 2003					
遺伝学 / 中村千春: 化学同人, 2007					
メッセージ					
連絡先					
koba-jun@yanaguchi-u.ac.jp					
農学部 328 号室					
オフィスアワー					
木曜日 17:00-19:00					

開設期	前期	曜日時限	火5~7,木5~7	時間割コード	1071101005
開設科目名	基礎農場実習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤間 充, 荒木 英樹			区分	
授業の概要					
附属農場において、農作業の実習を行う。					
授業の一般目標					
附属農場において、生物の生育段階と環境の変化に対応した基本的農業技術(春~夏季間)を生産現場で体験・習得し、講義による知識の体験的理解を深める。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 教室内で教授される作物学、園芸学、植物病理学、昆虫学、土壌学、畜産学など農学の各分野の基礎理論と実際の農業の現場を関係づける。					
思考・判断の観点: 現場で起きている事象について、学問的根拠に基づき対策を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 農業の現場の様々な現象について討議できる。					
態度の観点: 必要な作業に積極的に参加できる。					
成績評価方法(総合)					
レポート、実習への参加態度、出席を総合して評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
実習は附属農場で行う。					
連絡先					
連絡先: 農学部附属農場					
メールアドレス: mtoma@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
火、木曜日 11:50-12:50					

開設期	前期	曜日時限	金 1~2	時間割コード	1071101006
開設科目名	作物学			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	高橋 肇			区分	
授業の概要					
<p>作物は、農業における栽培・収穫の対象であり、作物生産は、農業のもっとも基本的な目的の一つといえる。作物生産は、作物の特性を十分に理解し、気象や土壌のような環境条件はもとより、社会条件や経営条件をも含めて考え合わせるにより、期待に応えられるような成果をあげることができる。本授業では、代表となる5つの作物(イネ、コムギ、トモロコシ、ダイズ、ジャガイモ)を例に、作物に共通する特性と作物によって異なる特性に注目しながら作物とは何かということを学び、さらに作物生産について学ぶ。</p>					
授業の一般目標					
<p>農学における作物学の役割を学び、栽培、育種への応用を図る能力を身につけることを目標とする。</p>					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1. すべての作物が共通に有する特性を理解する					
2. 作物の種によって異なる違いを理解する。					
思考・判断の観点: 1. 作物の各器官の形態形成特性の違いが群落での物質生産力にどのような違いをもたらすであろうかを推量することができる。					
2. 作物の収量を収量構成要素あるいは収穫指数により解析することができる。					
3. 作物の種あるいは品種の生育特性に応じた栽培方法の違いを判断できる。					
関心・意欲の観点: 1. テストで理解が不足していたことが明らかとなった学習事項について、再学習することで知識を確かなものとする。					
態度の観点: 1. 一年を通じて地道にコツコツと学び続けることができる。					
2. 前回の授業を復習して、新たな学習に備えることができる。					
成績評価方法(総合)					
<p>成績は毎回の授業開始前に15分間実施する小テスト(7点満点×13回=91点)と期末試験(9点満点)との合計点によって評価する。小テストでは、間違った設問について正しく修正して提出すれば各回のテストが完全に修正されたことを確認したうえで減点された分の半分の得点を与える。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
<p>小テストは、前週の講義内容から出題する。講義時間中にヒント(問題文と解答への手引き)を与えるので、注意深く授業を聞くこと。</p> <p><再提出の解答方法></p> <p>間違った設問についても、正しく修正されれば各回のテストが完全に修正された段階で減点された分の半分の得点を与える。解答は答案の裏面に行うこととし、どの問題を解答したかがわかるよう問題番号を記し、記述問題では自身で横20文字のマス目を作成して、穴埋め問題では単語を書き込む枠と番号を作成して、その中に正解を書き込むこと。なお、再々提出は、別紙に正解・不正解に関わらずその回の小テストの問題文、解答文を含めたすべてをまるごと記述して提出する。なお、再提出はプリントに記載された内容を正しく理解してもらうことを目的とすることから、プリント中の正解部分を正確に書き写したことを確認して正解とする。</p>					
連絡先					
<p>農学部 128 室、内線 5840、E-mail: tadashit@yamaguchi-u.ac.jp</p>					
オフィスアワー					
<p>月～金曜日 7:00～8:00 月・火・木・金曜日 12:00～12:30</p>					

開設期	前期	曜日時限	水3~4	時間割コード	1071101007
開設科目名	基礎土壌学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	進藤 晴夫			区分	
授業の概要					
土壌の概念, 生成, 構成, 理化学性, 生物性など基礎的事項を解説する。					
授業の一般目標					
植物を支えてこれに水分や養分を供給するとともに, 地球の環境浄化に重要な役割を果たしている土壌について理解を深めることを目標とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
前期試験の結果, 出席状況, レポートの内容などを総合して評価する。					
教科書					
参考書					
土壌通論 / 高井康雄, 三好 洋 : 朝倉書店, 1977					
土壌学概論 / 犬伏和之, 安西徹郎編; 梅宮善章〔ほか〕著: 朝倉書店, 2001					
新土壌学 / 久馬一剛〔ほか〕: 朝倉書店, 1984					
土壌地理学 / 浅海重夫編: 古今書院, 2001					
メッセージ					
くり返し, くり返し, くり返し考える。					
連絡先					
農学部 326 号室					
アドレス: shindo@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月3~4	時間割コード	1071101008
開設科目名	基礎園芸学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	山内 直樹, 執行 正義			区分	
授業の概要					
<p>最近の園芸ブームや健康志向により、園芸植物(果物、野菜、花)に対する関心は高まる一方である。しかし、一つの園芸植物を商品として市場に供給するためには、多種多様な試験・研究が必要である。したがって、園芸学は基礎から応用まで幅広い研究分野を包括する学問として成り立っている。本講義では、できる限り多くの園芸植物を紹介し、園芸学の基礎となる諸事項、すなわち、園芸作物(果樹、野菜、花)の分類、形態、成長、機能性内容成分、収穫後生理などを概説していく。</p>					
授業の一般目標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 園芸学の基本的な事項について理解するとともに、園芸学の各領域の概要と課題を理解する。 2. 現代農業がかかえる問題について関心を持ち、主体的に考えることができる。 					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点:園芸学の各領域の概要と課題を理解する。</p> <p>思考・判断の観点:授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べるができる。</p> <p>関心・意欲の観点:園芸に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。</p> <p>態度の観点:日常生活の中で園芸生産の問題について主体的に考えることができる。</p>					
成績評価方法(総合)					
(1)授業の中で小テスト、授業内レポートを数回行う。(2)最後に試験を実施する。なお、出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。					
教科書					
参考書					
園芸通論 / 高野泰吉:朝倉書店, 1991					
園芸学概論 / 斎藤隆ほか:文永堂出版, 1998					
園芸学入門 / 田中宏:川島書店, 1992					
園芸学用語集・作物名編 / 園芸学会編:養賢堂, 2005					
園芸種苗生産学 / 今西英雄ら:朝倉書店, 1997					
メッセージ					
講義中の私語は厳禁します。真剣に学ぼうとしている方の迷惑になります。					
連絡先					
執行正義: shigy@yamaguchi-u.ac.jp 山内直樹: yamauchi@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 農学部本館南棟 330 号室					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金 3～4	時間割コード	1071101009
開設科目名	植物育種学			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	執行 正義			区分	
授業の概要					
農学における育種技術に関する基礎的知見について概説する。					
授業の一般目標					
(1) 高等植物を中心とした遺伝や育種に関する具体的事例を理解する。					
(2) 自然生態系および遺伝子の多様性と農業生産における画一性の必要性を認識して地球環境と食料生産の抱える今日的な問題に対する関心をもち、主体的に考えることができる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 育種学分野の各領域の概要と課題を理解する。					
思考・判断の観点: 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べるができる。					
関心・意欲の観点: 植物育種に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。					
態度の観点: 日常生活の中で植物育種の問題について主体的に考えることができる。					
成績評価方法(総合)					
評価は定期試験の成績を重視して行います。小テストやレポートも課しますので必ず対応するようにしてください。出席は欠格条件とする場合があります。毎回、きちんと出席してください。					
教科書					
参考書					
植物育種原理 / 藤巻宏: 養賢堂, 2003					
植物遺伝育種学 / 武田和義: 裳華房, 1992					
植物育種学 / 鶴飼保雄: 東京大学出版会, 2003					
植物の育種学(第3版) / 日向康吉: 朝倉書店, 1999					
植物育種学各論 / 日向康吉・西尾剛: 文永堂, 2003					
メッセージ					
植物育種学は農学系科目の集大成です。他の農業生産系の科目もまんべんなく勉強しておくこと。					
連絡先					
E-mail: shigyo@yamaguchi-u.ac.jp					
研究室の場所: 農学部執行研究室(農学部本館南棟 330 号室)					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火1~2	時間割コード	1071101010
開設科目名	栽培学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	高橋 肇			区分	
授業の概要					
<p>栽培とは、作物の種あるいは品種がもつ遺伝子とこれらを取りまく環境とを制御して、人間が望むような収穫を得る手段をいう。作物の収穫物の量(収量)や質(品質)は、すべて生育期間を通じて変化する栽培環境と、これに反応する作物のもつ遺伝子の働きとによって決定される。本講義では、相互に関わりあうこれら遺伝子と環境との関係と、これらを制御する栽培技術を学ぶとともに、作物栽培が地球の生態系に及ぼしてきた影響をふりかえりながら、今後、環境に負担をかけない持続的な作物栽培のあり方について学ぶ。</p>					
授業の一般目標					
<p>農学の基礎となる作物の科学と作物を取りまく環境についての科学を再確認し、これらを組み合わせた応用科学としての栽培技術を学ぶ。講義は、栽培学の定義と全容を学び、品種論、環境論、栽培技術論の順に学んでいく。さらに、作物栽培がどのように地球環境に影響を及ぼしてきたかを理解し、持続可能な農業のあり方を考える力を身につける。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 1. 作物の成立を品種レベルで理解する 2. 気象、土壌、生物といった栽培環境が作物に及ぼす影響を理解する。 3. 作物栽培が地球環境に及ぼす影響を理解する。</p> <p>思考・判断の観点: 1. 農業の現場での栽培技術がどのような理論のもとに実践されているのかを総合的に判断できる。 2. 与えられた環境でどのような作物栽培が可能であるかを考え・判断できる。 3. 持続的農業、環境保全型農業のあり方を考え・判断できる。</p> <p>関心・意欲の観点: 1. テストで理解が不足していたことが明らかとなった学習事項について、再学習することで知識を確かなものとする。</p> <p>態度の観点: 1. 一年を通じて地道にコツコツと学び続けることができる。 2. 前回の授業を復習して、新たな学習に備えることができる。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>成績は毎回の授業開始前に15分間実施する小テスト(7点満点×13回=91点)と期末試験(9点満点)との合計点によって評価する。小テストでは、間違った設問について正しく修正して提出すれば各回のテストが完全に修正されたことを確認したうえで減点された分の半分の得点を与える。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
<p>小テストは、前週の講義内容から出題する。講義時間中にヒント(問題文と解答への手引き)を与えるので、注意深く授業を聞くこと。 <再提出の解答方法> 間違った設問についても、正しく修正されれば各回のテストが完全に修正された段階で減点された分の半分の得点を与える。解答は答案の裏面に行くこととし、どの問題を解答したかがわかるよう問題番号を記し、記述問題では自身で横20文字のマスを作成して、穴埋め問題では単語を書き込む枠と番号を作成して、その中に正解を書き込むこと。なお、再々提出は、別紙に正解・不正解に関わらずその回の小テストの問題文、解答文を含めたすべてをまるごと記述して提出する。なお、再提出はプリントに記載された内容を正しく理解してもらうことを目的とすることから、プリント中の正解部分を正確に書き写したことを確認して正解とする。</p>					
連絡先					
<p>内線 5840, 農学部 128 室, E-mail: tadashit@yamaguchi-u.ac.jp</p>					
オフィスアワー					
<p>月～金曜日 7:00～8:00 月・火・木・金曜日 12:00～12:30</p>					

開設期	前期	曜日時限	金 3～4	時間割コード	1071101011
開設科目名	動物栄養生理学			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	角川 博哉			区分	
授業の概要					
自然界には、植物・動物・菌の三つの生物群があり、有機的な相互関係によって生物社会が構成され、地球規模で壮大な物質循環を行う地球生態系というシステムを発達させた。本授業では様々な動物取り上げ、独自の栄養吸収法と、それにとまう生理や生態などを学ぶ。					
授業の一般目標					
反芻動物をはじめとする草食動物、野生動物も含む単胃動物を取り上げ、独自の栄養吸収法と、それにとまう生理生態など巧妙な生体の仕組みを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 飼料からいかに生命活動の源にあるエネルギーや栄養素を摂取し利用し生きているかをどこまで理解し習得したか					
思考・判断の観点: 生理学や栄養学などの知識を基に、様々な動物の共通点や相違点を思考し理解する					
関心・意欲の観点: 飼料を含む環境と動物との関係、様々な動物の共通点や相違点に関心をもつこと					
態度の観点: 動物の体の外や中で何が起きているのか、また人間との関わり合いに関心をもつ					
技能・表現の観点: 生理学や栄養学などの知識を基に動物毎の特徴を説明できるようにする					
成績評価方法(総合)					
期末試験で成績を評価する。成績には出席を加味する。					
教科書					
動物の栄養 / 唐澤豊: 文永堂出版, 2001					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火1~2	時間割コード	1071101012
開設科目名	環境物理学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	鈴木 賢士			区分	
授業の概要					
人間を取り巻く環境の諸現象を物理学の視点から記述し、理解する。また、環境科学に対して問題の科学的側面や、その解決に向けた取り組みの中で科学が果たす重要な役割について認識する。					
授業の一般目標					
日常体験する自然現象や科学技術の基礎に物理学があることを理解し、物理学的な考え方の有効性と物理学の面白さに興味を持ち、さらに物理学を応用する能力を養成する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 物理学の基礎的な法則や考え方が環境とそこに生じる問題の理解にどのように役立つかを理解できる。					
技能・表現の観点: 具体的な演習問題を解くことができ、それを実際の現象に応用できる。					
成績評価方法(総合)					
定期試験					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
E-mail: kenjis @yamaguchi-u.ac.jp					
内線 5834					
オフィスアワー					
在室中随時					

開設期	前期	曜日時限	木3~4	時間割コード	1071101013
開設科目名	植物病原菌学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	田中 秀平			区分	
授業の概要					
主として植物病原菌類(カビ)の形態、繁殖、栄養、生理・生態学的特性、および分類学の概要について解説する。					
授業の一般目標					
農作物(植物)の病気、とくに菌類(カビ)による植物の病気の診断に必要な微生物学の基礎知識の修得を目的とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 植物病原性菌類(カビ)の微生物としての基本的な特徴と分類体系の概要が理解できる。					
関心・意欲の観点: 植物の病原菌について学ぶことを通じて、微生物と農業の関わりについて関心を持つことができる。					
成績評価方法(総合)					
基礎的な科目であるので微生物学の基本的な考え方の理解と知識の修得を重視し、期末テストの成績80%、毎時間の質問表(関心度評価)の記述内容や出席状況および授業外レポートで20%を評価する。					
教科書					
参考書					
植物病理学 / 大木 理 著:東京化学同人, 2007					
植物医科学(上) / 難波成任 監修:養賢堂, 2008					
メッセージ					
配付したプリントは各自ファイルし、講義には毎回必ず持参すること。					
連絡先					
居室:農学部3階331号室					
オフィスアワー					
毎週月曜日 12:00-18:00					

開設期	前期	曜日時限	月3~4	時間割コード	1071101014
開設科目名	生産土壌学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	進藤 晴夫			区分	
授業の概要					
我が国における水田、畑、施設土壌の特性を解説するとともに、不良土壌の改良対策、肥料、さらに土壌保全について講述する。					
授業の一般目標					
作物生産の立場から農耕地土壌の理解を深めることを目標とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
前期試験の結果、出席状況、レポートの内容などを総合して評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
応用面を身に付ける。					
連絡先					
農学部 326 号室 アドレス:shindo@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金 1~2	時間割コード	1071101015
開設科目名	昆虫管理・生態学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	竹松 葉子			区分	
授業の概要					
<p>昆虫は、我々人間社会とは切っても切り離せない関係にある。ある時は農作物を食い荒らし病気を媒介する害虫となり、またある時は絹や蜂蜜のように我々に資源を与え、自然生態系を再生するという重要な働きを持つ。昆虫を上手に管理するためには、昆虫の多様性および生態についてよく理解しなければならない。本講義では、昆虫の生活史における様々な適応戦略の基礎的な事項及び害虫防除に関する解説を行う。</p>					
授業の一般目標					
<p>昆虫の生活様式がいかに多様であるかを知り、それぞれの適応戦略や害虫防除法の基礎的な事項について理解する。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 昆虫の適応戦略の理論や様々な害虫防除法を説明し、例を示すことができる。</p> <p>関心・意欲の観点: 昆虫の多様性への興味を持ち、面白さを知る。様々な害虫防除法を知ること、環境配慮型の害虫防除に関心を持つ。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>出席 40%、期末試験 60% で評価する。なお、欠席が 4 回以上の者は単位を与えない。</p>					
教科書					
<p>応用昆虫学の基礎 / 中筋房夫 他: 朝倉書店, 2000</p>					
参考書					
メッセージ					
<p>初回授業には、上記教科書を持参すること。</p>					
連絡先					
<p>takematu@yamaguchi-u.ac.jp</p>					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月1~2	時間割コード	1071101016
開設科目名	地域経営管理学			単位	
対象学生				学年	~
担当教員	糸原 義人			区分	
授業の概要					
<p>わが国の農村は昭和36年の農業基本法制定以来、農産物の選択的拡大が標榜される一方、限らない農産物貿易の自由化により、疲弊を続けている。農村の維持・再生はわが国の景観・環境保全、国土保全等に必要なものであるが、高齢化、後継者不足が続き、農産物価格の下落が続く農村では、従来の枠組みでは、その維持・存続は難しい。地域管理学は、特に都市部よりも農村部に焦点を当て、従来の自然発生的な地域行政システムに代えて、意図的、目的的な地域管理システムを考えることで、農村の維持・再生を捉え直そうとするものである。</p>					
授業の一般目標					
<p>地域の維持再生を求める場合、組織の力が必要である。そのために、特に授業で理解してもらいたいことは組織形成の原理と組織管理の方法である。また、管理内容は絶えず変化する必要があるが、その原因と組織変化の動きを同時に理解して頂きたい。こうした組織と組織行動の仕組みが革新的に変化するとき、地域の活性化が促される。</p>					
授業の到達目標					
知識・理解の観点:					
1. 組織化の必要性、組織形成の原理について理解する。					
2. 組織概念、組織化後の組織管理について理解する。					
3. 地域構造の理解					
4. 地域組織と地域管理の必要性について理解する。					
思考・判断の観点:					
1. 地域づくりの中で、組織化、地域管理の必要性を指摘できる。					
関心・意欲の観点:					
1. 常に農山村の現状と課題に関心を持ち、中山間地や活性化に意欲を持つ。					
成績評価方法(総合)					
成績は、期末試験7割、授業期間中の宿題2割、出席1割の割合で配点する。なお、出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。					
教科書					
参考書					
社会学の基礎知識 / 塩原勉他: 有斐閣ブックス, 1978					
地域活性化と計画 / 河村能夫他: 明文書房, 1994					
メッセージ					
継続は力です。授業に出席し、多くの知識、情報を身につけて下さい。					
連絡先					
gbb_50@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
部屋にいる時はいつでも。					

開設期	前期	曜日時限	木1~2	時間割コード	1071101017
開設科目名	農業経営学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	宇佐見 晃一			区分	
授業の概要					
わが国の農業経営の特徴(現状と課題)、農業経営の管理について説明します。					
授業の一般目標					
農業経営を捉えるのに必須な基礎的概念を理解します。農業経営管理に利用できる簿記の仕組みを理化学習し、経営分析手法を習得します。あわせて、これからの農業経営の方向性を考えるのに役立つ企業形態について理解します。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 農家経済、農業経営、地域農業、農業法人、複式簿記等の概念および仕組みを説明できる。					
思考・判断の観点: わが国の農村および農業の変化を考察し、これからの農村地域と農業経営について自分で考えて述べる力を養える。					
関心・意欲の観点: 生活者としての農村や農業とのかかわりに関心をもつ。					
技能・表現の観点: 簡単な経営分析を行なえる。検定試験簿記3級に必要な知識を習得できる。					
成績評価方法(総合)					
中間試験と期末試験を実施する。授業の時に演習をレポートとして提出する。試験とレポートを含めて、下記の観点・割合で評価する。なお、出席が所定の回数に満たない者(出席回数が80%以下)には単位を与えない。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
この「農業経営学」の履修を契機に、簿記検定試験に挑戦してください。簿記3級を目標に置きましょう。					
連絡先					
e-mail: usami329@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
研究室: 農学部南棟2階 236号室 オフィスアワー: 火曜日 13:00~15:00					

開設期	前期	曜日時限	水1~2	時間割コード	1071101018
開設科目名	基礎測量学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	深田 三夫			区分	
授業の概要					
測量の基礎理論と方法について概説する。基礎理論では観測データの誤差の処理方法を学ぶ。また測定方法は測量器械の構造と原理について学ぶ。					
授業の一般目標					
測量の基礎理論と方法について概説する。基礎理論では観測データの誤差の処理方法を学ぶ。また測定方法は測量器械の構造と原理について学ぶ。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 測量の原理を理解する。					
思考・判断の観点: 測定の限界について考えることができる。					
成績評価方法(総合)					
テストの成績, 出席で判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
mfukada@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101019
開設科目名	地域環境情報科学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	荊木 康臣			区分	
授業の概要					
農業、食料生産、地域環境に関する問題及び課題について理解を深めることを目的とする。関連分野の近隣企業や試験研究機関などの関係者を講師に招き、業務の内容・課題・成果等について講義の形で話を聞くほか、必要に応じ現地見学を行う。					
授業の一般目標					
現場の諸問題や問題を理解するとともに、大学の専門教育において学んでいる内容の意義・意味について実感を持つ。また、将来の就職等の進路を考える参考とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: ・農業、食料生産、環境における問題点や課題を理解できる。					
・開発が進められつつある技術や新たに現場に導入された技術の理論や成果について認識を深めることができる。					
思考・判断の観点: ・日頃、大学で学んでいる専門教育の内容の意義・意味について実感を持つことができる。					
関心・意欲の観点: ・本授業で学んだことや感じたことを通じて、就職等の進路について考えることができる。					
成績評価方法(総合)					
授業内および授業外レポートにより評価する。講義(現地見学を含む)への全出席は欠格条件。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
集中講義の形で行い、現地見学も実施する。開講日を事前に掲示で知らせるので注意すること。					
連絡先					
荊木康臣 ibaraki@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101020
開設科目名	作物学実験			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	高橋 肇, 荒木 英樹			区分	
授業の概要					
<p>作物試験は作物の真の性質を見究めることを目的とし、作物が多収となるための条件あるいは必要とする品質を獲得するための条件に適した栽培方法の確立と品種の選定および育成を目標に行われる。近年、生産現場や生産者からの多様なニーズ、環境負荷の軽減を目的とした栽培体系への社会的なニーズ、などに対応するため、様々な栽培資材や栽培様式、特徴的な品種が開発されつつあり、その効果を正確に検定するうえでも作物試験法を習得することが求められる。本授業では、山口大学農学部附属農場の実験圃場で栽培するコムギを材料として、その生産特性、収量性を解析する作物試験法を学ぶ。</p>					
授業の一般目標					
<p>本実験では、統計学的な設計に基づく収量調査法を用いて、作物の栽培技術や新品種の能力を正確に評価・検定するために最低限必要な技能を身につけることを目的とする。さらに、作物学の講義とあわせて履修することで、作物の生産特性を理解した上で収量の成り立ちを調査することで、作物の真の性質や新たな栽培様式の効果を見究める目を養うことも目的とする。</p>					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1. 作物の生長解析法を学ぶ					
2. 作物の生長点観察法を学ぶ					
3. 作物の収量解析法を学ぶ					
4. 統計を用いたデータの検定法を学ぶ					
5. 実験成果を文章により報告する能力を身につける					
思考・判断の観点: 1. 作物の栽培技術や新品種の効果を評価する試験を設計できるようになる					
2. 実験結果から得られたデータをもとに作物の多収要因を考察できる能力を身につける					
関心・意欲の観点: 1. 農学の試験・研究に興味・関心をもつ。					
態度の観点: 1. 植物を試験栽培するとともに植物の生長にあわせてデータをとる姿勢を身につける。					
成績評価方法(総合)					
成績は、出席点(70%)とレポート点(30%)により評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
高橋 肇 内線 5840 農学部 128 室 E-mail: tadashit@yamaguchi-u.ac.jp					
荒木英樹 内線 5920 農学部附属農場 E-mail: ahide@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
高橋肇 月～金曜日 7:00～8:00 月・火・木・金曜日 12:00～12:30					
荒木英樹 火曜日、木曜日 16:00～					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101021
開設科目名	環境植物学実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	山本 晴彦, 荊木 康臣			区分	
授業の概要					
環境植物学実験では、作物個体群の生長解析法の習得、作物個体群の生産構造の測定、植物個体群・土壌の分光反射測定、被覆資材内での気温・湿度・光環境、植物葉温の測定、培養器の換気回数の測定、植物の蒸散速度計測、画像解析による葉面積推定などの測定、実験レポートの作成、パワーポイントによる実験発表を行う。					
授業の一般目標					
環境植物学実験では、気象環境と植物に関する基礎的な現象、原理・概念を理解し、実験を通してレポートの作成、パワーポイントによる実験発表の能力を身につける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 環境植物学実験において個別の実験内容を理解する。2. 実験レポートを作成できる。					
思考・判断の観点: 植物反応が気象環境により大きな影響を受けていることを実感する。					
関心・意欲の観点: 様々な植物反応を、気象環境から思考できるようにする。					
態度の観点: パワーポイントによる実験発表ができる。					
技能・表現の観点: 実験指導書で説明している測定機器について扱える。					
その他の観点: チームワークの方法と技術について、創意工夫を行う。					
成績評価方法(総合)					
(1)実験レポートの作成・提出を毎回実施する(合計90点満点)。(2)各自で学生実験をパワーポイントにより発表を実施する(10点満点)。以上を下記の観点・割合で評価する。なお、出席が所定の回数(2/3)に満たない者には単位を与えない。					
教科書					
参考書					
耕地環境の計測・制御―役立つ新しい解説書 / 山本晴彦ほか: 養賢堂, 2001 環境物理生物学 / 山本晴彦ほか: 森北出版, 2003					
メッセージ					
本来、実験は自らが計画して行うものであるが、時間的な制約があり、学生実験では与えられた問題について行わざるを得ない。とはいえ、実験の目的を十分に理解して、常に興味を持って、独創的な実験を行おうとする姿勢が必要である。すなわち、次のような事項を各自心がけることが研究を実施する上から望ましい。					
連絡先					
山本晴彦(5833)、荊木康臣(5864)					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101022
開設科目名	園芸学実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	山内 直樹, 執行 正義			区分	
授業の概要					
園芸作物における器官の形態的特徴の理解に関する実験, 異数体を利用して遺伝子および遺伝的マーカーの座乗染色体を決定する方法を理解する実験, 植物ホルモンの生理的役割に関する実験および園芸作物の品質に関する内容成分の分析などについて行う。					
授業の一般目標					
実験の原理を説明できる。実験操作, 実験レポートの書き方について修得できる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 園芸学に関する遺伝学的ならびに植物生理学的な思考が身につく。					
思考・判断の観点: 園芸学実験以外の園芸学分野の研究にも関心を持つようになる。					
関心・意欲の観点: 測定機器類の操作が可能となる。					
成績評価方法(総合)					
出席とレポートで判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
yamauchi@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
研究室: 農学部3階330号室 オフィスアワー: 金曜日 午後1時~5時					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101023
開設科目名	動物栄養学実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	細井 栄嗣			区分	
授業の概要					
飼料の栄養特性を適正に評価するためには、化学成分だけでは不十分であり、消化・吸収されやすさ、さらには生体内で必要とされる有効成分の多寡を考慮しなければならない。本実験では、飼料の栄養価を評価する上で、もっとも基本になる一般成分(6成分)の分析を修得する。					
授業の一般目標					
6成分の内容とその栄養学的意義を理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 飼料の分析法を原理・実施方法ともに理解する。器具・機器の扱い方に習熟する。動物の消化管の解剖学について理解する。					
思考・判断の観点: 分析結果から飼料の品質について考察できる。					
成績評価方法(総合)					
出席およびレポートにより評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
白衣を着用のこと。動物の解剖を予定しているので、適性がないと判断できる者は受講しないこと。					
連絡先					
居室:農学部1階126号室					
オフィスアワー					
随時					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101024
開設科目名	植物病学実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	田中 秀平, 伊藤 真一			区分	
授業の概要					
菌類病の罹病植物と病原菌の形態観察, および病原細菌の分離・培養と病原性試験を実習することにより, 植物病の基礎的な診断技術を習得する.					
授業の一般目標					
1) 菌類病の肉眼的観察と顕微鏡観察を通じて, 植物病原菌の形態的特徴を知る.					
2) 病原細菌の分離と培養を通じて, 基礎的な細菌操作技術を学ぶ.					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 植物病原菌の形態的特徴を説明できる.					
思考・判断の観点: 肉眼では見えない微生物の存在を実感できる.					
微生物が原因となる植物病について指摘できる.					
関心・意欲の観点: 植物病について興味を持つとともに, それらについて討論できる.					
態度の観点: 実験指導書を理解して実行できる.					
技能・表現の観点: 基礎的な微生物操作ができる.					
成績評価方法(総合)					
出席状況, 授業時間内レポート, 授業時間外レポートに基づき総合的に評価する.					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
田中: 農学部3F(331号室)					
伊藤: 農学部3F(332号室)					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101025
開設科目名	昆虫管理学実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	小林 淳, 竹松 葉子			区分	
授業の概要					
昆虫の管理及び利用において基本となる各種実験手法を身につけることを目的として、昆虫類の採集、分類、行動と分布の観察、組織観察、成分分析を行う。					
授業の一般目標					
実験を通じて、昆虫の特異性と多様性について学習し、また、昆虫の生活の仕組みについて理解する。昆虫学研究における基礎技術とレポートの書き方を身につける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 各実験の意義と原理を説明できる。					
思考・判断の観点: 結果を科学的かつ論理的に考察し、レポートにまとめることができる。					
関心・意欲の観点: 昆虫の特性に興味をもち、観察や実験の面白さを知る。					
成績評価方法(総合)					
出席とレポートを、下記の観点・割合で評価する。なお、2回欠席した時点で不可とする。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
koba-jun@yamaguchi-u.ac.jp 農学部 328 号室					
オフィスアワー					
木曜日 17:00-19:00					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101026
開設科目名	土壌学実験			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	進藤 晴夫, 藤間 充			区分	
授業の概要					
農耕地土壌の断面形態を観察するとともに、それらの理化学的諸性質を分析する。					
授業の一般目標					
土壌の理化学的諸性質を分析する際の技術を修得させるとともに、定量実験の基本操作を体得させることを目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席、実験レポートの内容、口頭発表会などを総合して評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
実験とは‘何か’を学ぶ。					
連絡先					
農学部 326 号室 アドレス:shindo@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101027
開設科目名	気象環境学実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	鈴木 賢士			区分	
授業の概要					
<p>大気中で起こるさまざまな自然現象が気象であるが、我々人類をはじめ、すべての生物はこのさまざまな現象を通じて関わりを持っている。自然現象を相手にする実験では、全く同一の現象を実験室内で取り扱うことは困難である。しかし、これら現象を自然科学の対象として理解し論じるためには、観測(測定)によってデータを収集し、事実を知り、それを証明する定量化を行う必要がある。本実験では、大気中で起こる自然現象を測定する技術と習得し、さらにその理解を深めるための実験を行う。</p>					
授業の一般目標					
観測およびデータ解析を通じて、現象を自然科学として理解する心を養い、その方法を習得することを目的とする。					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点:我々の生活を取り巻くさまざまな気象現象について、観測(測定)や室内再現実験などを通して理解することができる。</p> <p>思考・判断の観点:数学的手法を用いて得られたデータの解析を行い、それらの適切な可視化、さらには実験結果のプレゼンテーションができる。</p> <p>関心・意欲の観点:気象現象を身近な現象として関心を持つ。</p> <p>技能・表現の観点:実験器具や測定装置をそれらのセッティングからデータ収集までを通して適切に使用することができる。</p>					
成績評価方法(総合)					
レポートは全ての実験項目について提出すること。未提出レポートが1つでもある場合には、単位を認めない。また、特別な理由がなく欠席した場合も単位を認めない。詳しくはガイダンスで説明する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
E-mail: kenjis@yamaguchi-u.ac.jp					
内線 5834					
オフィスアワー					
在室中随時					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101028
開設科目名	地下水環境整備学実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	深田 三夫			区分	
授業の概要					
農業は水および土と密接に結びついている。また、農業地は生物に棲息場所を与えるとともに、それ自体が環境保全の役割を果たしている。ここでは、実験を通して水および土の基本的な物理性に関する理解を深め、および実験技術の取得を学ぶ。					
授業の一般目標					
講義で学んだ土と水の流れに関する知識を実験や現場調査を行うことによって確かめる。また、現場で応用するにはどのような工夫をしたらよいか考える。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
参加状況, レポートで評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101029
開設科目名	測量学実習			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	深田 三夫			区分	
授業の概要					
「基礎測量学」の講義で学んだ知識を現場において実践する。個々の測器の取り扱いに習熟し、それを応用した測量ができることを目標にする。さらに取得したデータを整理、誤差処理などの調整計算や図面作成ができるようになること。					
授業の一般目標					
測量は実技であり出席が最も重要である。さらに、測量は迅速かつ正確であることを要求される技術である。このため実習指導書や教科書を参考にし、使用する器具の構造をよく理解し、操作に熟練すること、および作業内容の十分な理解と合理的な作業計画をあらかじめ立案しておくことが肝心である。したがって、作業にかかる前に各班のスタッフは作業分担、作業進行計画などいわゆる段取りについて十分検討を行うこと。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
レポート、出席状況で評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101030
開設科目名	フィールド演習			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤間 充			区分	
授業の概要					
鳥取大学農学部フィールドサイエンスセンター教育研究林などにおいて、自然状態で成立した大山の自然林と、火入れや伐採という人為的攪乱を受けたあとに成立した蒜山の二次林を対象として調査を行い、人間活動と森林との関係を考察する。					
授業の一般目標					
講義・野外調査・演習によって樹木や森林の生態を知り、古くから人間活動が盛んだった中国・四国地域も森林についての理解を深めることを目標とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 森林管理法, 森林調査法について理解する。実習で得たデータの解析, 発表方法について修得できる。					
思考・判断の観点: 自然と人間の関わりについて, 森林を通して理解を深める。					
関心・意欲の観点: フィールド関連実習全般について関心を持つようになる。					
技能・表現の観点: 調査方法, データ解析方法の技術を修得できる。					
成績評価方法(総合)					
講義や実習への積極性, レポートやプレゼンテーションの内容などで総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101031
開設科目名	フィールド演習			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤間 充			区分	
授業の概要					
愛媛大学農学部附属農場で、施設見学、講演、実習、演習を行い、また、市場の見学や農家との交流も体験する。					
授業の一般目標					
毎日の食卓にのぼる果実について、その種類や栽培方法、品質管理、市場での流通の仕組みなど、様々な観点から理解を深めることを目標とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 果樹栽培、果実成分分析、市場流通について理解する。実習、実験で得たデータの解析、発表方法について修得できる。					
思考・判断の観点: 果樹の栽培技術、成分分析などに関する思考が身につく。					
関心・意欲の観点: フィールド関連実習全般について関心を持つようになる。					
技能・表現の観点: 成分分析方法、調査方法およびデータ解析方法の技術を修得できる。					
成績評価方法(総合)					
レポートによる評価					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101032
開設科目名	フィールド演習			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤間 充			区分	
授業の概要					
広島大学生物圏科学研究科附属瀬戸内圏フィールド科学教育センター竹原ステーションおよび練習船を利用し、生息する生物の採集方法、生物群集を観察および海洋生物の生態系について理解する。					
授業の一般目標					
瀬戸内海の海洋生物と環境の相互作用およびそれらと人間生活との関係についての基礎的知識を総合的に学び、体験することを目標とします。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 海洋生物と環境の相互作用について理解する。実習、観察で得たデータの解析、発表方法について修得できる。					
思考・判断の観点: 海洋生物の生息環境、生物群集の観察および生態系の機能などについての思考が身につく。					
関心・意欲の観点: フィールド関連実習全般について関心を持つようになる。					
技能・表現の観点: 海洋生物の観察方法、調査方法およびデータ解析方法の技術を修得できる。					
成績評価方法(総合)					
実験、実習中の取り組み姿勢、総合まとめでの発表内容					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101033
開設科目名	フィールド演習			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤間 充			区分	
授業の概要					
肉用牛の子牛生産から肥育に至るまで一貫生産を行っている岡山大学附属津高牧場を利用して、肉用牛の飼育・繁殖・衛生管理と草地管理に関する基礎的トレーニングを行う。					
授業の一般目標					
動物の生産フィールドにおける実践的技術の基礎について身に付ける。典型的な牧場の作業体系を経験することにより、講義で学んだ知識を実践で役立てる思考力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 肉用牛の飼育・繁殖・衛生管理と草地管理について理解する。実習で得たデータの解析, 発表方法について修得できる。					
思考・判断の観点: 家畜と人間の関わりについて, 実習を通して理解を深める。					
関心・意欲の観点: フィールド関連実習全般について関心を持つようになる。					
技能・表現の観点: 家畜の管理技術について習得するとともに, 検査方法について理解しそのデータについて発表できる。					
成績評価方法(総合)					
レポートによる評価					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月1~2	時間割コード	1071101034
開設科目名	生物化学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	内海 俊彦			区分	
授業の概要					
<p>生体の主要構成成分である炭水化物、蛋白質、脂質、核酸等の化学的特性について説明し、生体内における機能について最近のトピックスを例に挙げながら述べる。</p>					
授業の一般目標					
<p>生物機能科学科の専門科目を理解するために必要とされる「生物化学」の知識のうち、最も基礎となる「生体構成成分の構造と機能」の概要を理解することを目的とする。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 生体を構成する主要な成分の化学構造及びその機能を理解する。</p> <p>関心・意欲の観点: ライフサイエンスやバイオテクノロジー等に関する最近の知見に興味を持ち、分子レベルでそれらの知見を理解しようとする学習態度を身につける。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>中間試験、期末試験、及び出席を総合して評価する。</p>					
教科書					
<p>Biochemistry / Jeremy M. Berg, John L. Tymoczko, Lubert Stryer : New York : W.H. Freeman , 2002</p>					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					
<p>随時</p>					

開設期	前期	曜日時限	水3~4	時間割コード	1071101035
開設科目名	微生物学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	松下 一信			区分	
授業の概要					
微生物には構造的にも栄養生理学的にも異なる様々な種類のもの存在している。ここでは、これら微生物の多様性を、特にその栄養生理学的及び生命自然史的視点から、解説する。また、微生物進化の視点から Bacteria, Archaea, Eukarya の違いを明かにし、特にバクテリアの分類を進化、代謝、生態学の視点から解説する					
授業の一般目標					
微生物学の世界標準的な理解を求める。特に、今後の微生物機能化学、土壌微生物学、環境微生物学の基礎として、微生物学の系統分類学的(生命自然史的)及び栄養生理学的視点を習得させる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
下記に示すように判定する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木1~2	時間割コード	1071101036
開設科目名	有機化学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	小崎 紳一			区分	
授業の概要					
化学I・IIなどで学んだ基礎知識の確認を行うとともに、できるだけ数多くの有機化合物の性質とその反応例(アルカン、アルキン、アルケン、芳香族化合物など教科書の1から5章まで)をとりあげて具体的に解説する。教科書の残りの章は、後期開講の天然物有機化学・生物有機化学で扱う。					
授業の一般目標					
有機系化学(有機化学・生化学)の基礎知識・考え方を理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: アルカン、アルキン、アルケン、芳香族化合物などの性質が理解できる					
思考・判断の観点: 化学と人間のかかわりが判断できる。					
成績評価方法(総合)					
出席日数が足りている者について、中間試験と期末試験の成績で評価を行う。					
教科書					
マクマリー 有機化学概説 第6版 / マクマリー他:東京化学同人, 2007					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					
月曜 午後					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101037
開設科目名	分析化学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	岸野 拓男			区分	
授業の概要					
<p>分析化学において、滴定分析は一つの大きな分野をなす分析法である。本講義では、その濃度計算を通して化学反応における化学量論的關係を理解する。次に、酸塩基平衡や溶解平衡などをとりあげ、分析化学の基礎となる水溶液中におけるイオン平衡について解説する。まず、滴定分析や重量分析で用いられるモル計算や当量計算について述べ、ついで分離分析の基礎となる理論を化学平衡論に基づいて詳細に解説する。</p>					
授業の一般目標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. モル・当量計算および滴定分析における濃度計算ができるようになること。 2. 酸・塩基平衡では、酸・塩基水溶液のpH計算、種々の化学種の濃度計算、緩衝溶液のpH計算・調製などができること。 3. 溶解平衡では、共通イオン効果、溶解度のpH依存性、硫化水素を用いた各種金属イオンの分離などの計算ができること。 4. 酸化還元平衡では、酸化剤・還元剤を含む溶液の電位計算ができること。 					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 上記の化学計算ができる。</p> <p>思考・判断の観点: 上記の化学計算ができる。</p>					
成績評価方法(総合)					
中間テストおよび期末テストをそれぞれ1回ずつ実施し、これらの成績と出席状況を総合して評価する。					
教科書					
参考書					
定量分析化学 / 鳥居泰男・泰智三 訳: 培風館, 1982					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101038
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	進藤 晴夫			区分	
授業の概要					
作物、園芸、植物病害、昆虫、土壌などに関する外国語論文を紹介し討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書、学術論文を紹介、講読、輪読、などを行うとともに、内容について討論を行う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書、論文の内容について要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書、論文の内容について、重要な点、問題点などを指摘できる。					
関心・意欲の観点: 専門書、論文の内容について討論できる。					
態度の観点: 専門書、論文の内容についての議論に参加できる。					
成績評価方法(総合)					
発表内容、文献の理解度、討論への参加、出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101039
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	山内 直樹			区分	
授業の概要					
園芸学に関する外国語論文を紹介し討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書、学術論文を紹介、講読、輪読、などを行うとともに、内容について討論を行う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書、論文の内容について要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書、論文の内容について、重要な点、問題点などを指摘できる。					
関心・意欲の観点: 専門書、論文の内容について討議できる。					
態度の観点: 専門書、論文の内容についての議論に参加できる。					
成績評価方法(総合)					
発表内容、文献の理解度、討論への参加、出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
yamauchi@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
研究室: 農学部3階330号室					
オフィスアワー: 金曜日 午後1時~5時					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101040
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	伊藤 真一			区分	
授業の概要					
専門分野に係る外国語論文を紹介し討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書、学術論文を紹介、講読、輪読、などを行うとともに、内容について討論を行う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書、論文の内容について要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書、論文の内容について、重要な点、問題点などを指摘できる。					
関心・意欲の観点: 専門書、論文の内容について討議できる。					
態度の観点: 専門書、論文の内容についての議論に参加できる。					
成績評価方法(総合)					
発表内容、文献の理解度、討論への参加、出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101041
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	山本 晴彦			区分	
授業の概要					
作物、園芸、植物病害、昆虫、土壌などに関する外国語論文を紹介し討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書、学術論文を紹介、講読、輪読、などを行うとともに、内容について討論を行う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書、論文の内容について要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書、論文の内容について、重要な点、問題点などを指摘できる。					
関心・意欲の観点: 専門書、論文の内容について討議できる。					
態度の観点: 専門書、論文の内容についての議論に参加できる。					
成績評価方法(総合)					
発表内容、文献の理解度、討論への参加、出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101042
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	小林 淳			区分	
授業の概要					
作物、園芸、植物病害、昆虫、土壌などに関係する外国語論文を紹介し討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書、学術論文を紹介、講読、輪読、などを行うとともに、内容について討論を行う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書、論文の内容について要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書、論文の内容について、重要な点、問題点などを指摘できる。					
関心・意欲の観点: 専門書、論文の内容について討議できる。					
態度の観点: 専門書、論文の内容についての議論に参加できる。					
成績評価方法(総合)					
発表内容、文献の理解度、討論への参加、出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
koba-jun@yamaguchi-u.ac.jp 農学部 328 号室					
オフィスアワー					
木曜日 17:00 ~ 19:00					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101043
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	高橋 肇			区分	
授業の概要					
作物学に関する外国語論文や外国語教科書を紹介し、討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書や学術論文の講読や輪読を通して、卒業研究で必要となる英語読解力及び専門力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書や学術論文の内容について、要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書や学術論文の内容について、課題や方法論に係る問題点を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 学術研究の基本的枠組を理解し、卒業研究テーマの探索・決定に役立てる。					
成績評価方法(総合)					
テストの成績、授業態度・授業への参加度、出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
内線 5840, 農学部 128 室, E-mail: tadashit@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
月～金曜日 7:00～8:00 月・火・木・金曜日 12:00～12:30					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101044
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	田中 秀平			区分	
授業の概要					
作物, 園芸, 植物病害, 昆虫, 土壌などに関係する外国語論文を紹介し討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書, 学術論文を紹介, 講読, 輪読, などを行うとともに, 内容について討論を行う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書, 論文の内容について要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書, 論文の内容について, 重要な点, 問題点などを指摘できる。					
関心・意欲の観点: 専門書, 論文の内容について討議できる。					
態度の観点: 専門書, 論文の内容についての議論に参加できる。					
成績評価方法(総合)					
発表内容, 文献の理解度, 討論への参加, 出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101045
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	細井 栄嗣			区分	
授業の概要					
作物、園芸、植物病害、昆虫、土壌などに関する外国語論文を紹介し討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書、学術論文を紹介、講読、輪読、などを行うとともに、内容について討論を行う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書、論文の内容について要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書、論文の内容について、重要な点、問題点などを指摘できる。					
関心・意欲の観点: 専門書、論文の内容について討議できる。					
態度の観点: 専門書、論文の内容についての議論に参加できる。					
成績評価方法(総合)					
発表内容、文献の理解度、討論への参加、出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
細井栄嗣 居室:農学部1階 126号室					
オフィスアワー					
随時					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101046
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	執行 正義			区分	
授業の概要					
作物, 園芸, 植物病害, 昆虫, 土壌などに関係する外国語論文を紹介し討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書, 学術論文を紹介, 講読, 輪読, などを行うとともに, 内容について討論を行う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書や学術論文の内容について, 要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書や学術論文の内容について, 課題や方法論に係る問題点等を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 学術研究の基本的枠組を理解し, 卒業研究テーマの探索・決定に役立てる。					
態度の観点: 専門書, 論文の内容についての議論に参加できる。					
成績評価方法(総合)					
レポート, 授業態度・授業への参加度, 出席などを総合的に判断する。					
教科書					
Genetic Resources, Chromosome engineering & Crop Improvement: Vegetable Crops, Volum 3 / Ram J. Singh(ed.): CRC Press, 2006					
Hnad Book of Plant Breeding, Vol.2, Vegetables II / Jaime Prohens & Fernando Nuez (eds.): Springer, 2008					
Plant cytogenetics Second Edition / Ram J. Singh: CRC Press, 2003					
Allium Crop Science: Recent Advances / H.D. Rabinowitch & L.Currah: CABI Publishing, 2002					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
shigyo@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 農学部本館南棟 330 号室					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101047
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	竹松 葉子			区分	
授業の概要					
作物、園芸、植物病害、昆虫、土壌などに関係する外国語論文を紹介し討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書、学術論文を紹介、講読、輪読、などを行うとともに、内容について討論を行う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書、論文の内容について要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書、論文の内容について、重要な点、問題点などを指摘できる。					
関心・意欲の観点: 専門書、論文の内容について討議できる。					
態度の観点: 専門書、論文の内容についての議論に参加できる。					
成績評価方法(総合)					
発表内容、文献の理解度、討論への参加、出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
takematu@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101048
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	糸原 義人			区分	
授業の概要					
農業経済、経営、作物、園芸、植物病害、昆虫、土壌などに関する外国語論文を紹介し討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書、学術論文を紹介、講読、輪読、などを行うとともに、内容について討論を行う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書、論文の内容について要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書、論文の内容について、重要な点、問題点などを指摘できる。					
関心・意欲の観点: 専門書、論文の内容について討議できる。					
態度の観点: 専門書、論文の内容についての議論に参加できる。					
成績評価方法(総合)					
発表内容、文献の理解度、討論への参加、出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101049
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	深田 三夫			区分	
授業の概要					
農地保全に関する外国語論文や外国語教科書を紹介し、討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書や学術論文の講読や輪読を通して、卒業研究で必要となる英語読解力及び専門力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書や学術論文の内容について、要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書や学術論文の内容について、課題や方法論に係る問題点を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 学術研究の基本的枠組を理解し、卒業研究テーマの探索・決定に役立てる。					
成績評価方法(総合)					
テストの成績、授業態度・授業への参加度、出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101050
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	宇佐見 晃一			区分	
授業の概要					
農業経営学に関係する外国語論文を紹介し、討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書、学術論文を紹介、講読、輪読などを行うとともに、内容について討論を行う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書、論文の内容について要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書、論文の内容について、重要な点と問題点などを指摘できる。					
関心・意欲の観点: 専門書、論文の内容について討議できる。					
態度の観点: 専門書、論文の内容についての議論に参加できる。					
成績評価方法(総合)					
発表内容、文献の理解度、討論への参加、出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
usami329@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
火曜日 13:00 ~ 15:00 (宇佐見研究室 農学部 236 号室)					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101051
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	荊木 康臣			区分	
授業の概要					
植物学に関する外国語論文を紹介し討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書、学術論文を紹介、講読、輪読、などを行うとともに、内容について討論を行う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書、論文の内容について要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書、論文の内容について、重要な点、問題点などを指摘できる。					
関心・意欲の観点: 専門書、論文の内容について討議できる。					
態度の観点: 専門書、論文の内容についての議論に参加できる。					
成績評価方法(総合)					
発表内容、文献の理解度、討論への参加、出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
荊木康臣					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101052
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	鈴木 賢士			区分	
授業の概要					
作物, 園芸, 植物病害, 昆虫, 土壌, 気象などに関係する外国語論文を紹介し討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書, 学術論文を紹介, 講読, 輪読, などを行うとともに, 内容について討論を行う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書, 論文の内容について要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書, 論文の内容について, 重要な点, 問題点などを指摘できる。					
関心・意欲の観点: 専門書, 論文の内容について討議できる。					
態度の観点: 専門書, 論文の内容についての議論に参加できる。					
成績評価方法(総合)					
発表内容, 文献の理解度, 討論への参加, 出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
E-mail: kenjis @yamaguchi-u.ac.jp					
内線 5834					
オフィスアワー					
在室中(随時(総合研究棟205号室))					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101053
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤間 充			区分	
授業の概要					
作物, 園芸, 植物病害, 昆虫, 土壌などに関係する外国語論文を紹介し討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書, 学術論文を紹介, 講読, 輪読, などを行うとともに, 内容について討論を行う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書, 論文の内容について要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書, 論文の内容について, 重要な点, 問題点などを指摘できる。					
関心・意欲の観点: 専門書, 論文の内容について討議できる。					
態度の観点: 専門書, 論文の内容についての議論に参加できる。					
成績評価方法(総合)					
発表内容, 文献の理解度, 討論への参加, 出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071101054
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	荒木 英樹			区分	
授業の概要					
作物、園芸、植物病害、昆虫、土壌などに関係する外国語論文を紹介し討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書、学術論文を紹介、講読、輪読、などを行うとともに、内容について討論を行う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書、論文の内容について要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書、論文の内容について、重要な点、問題点などを指摘できる。					
関心・意欲の観点: 専門書、論文の内容について討議できる。					
態度の観点: 専門書、論文の内容についての議論に参加できる。					
成績評価方法(総合)					
発表内容、文献の理解度、討論への参加、出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102001
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	真野 純一			区分	
授業の概要					
欧米の大学で使用されている標準的テキスト(原著)や学術論文などを教材にして、英語を通して、生命科学の基礎知識を整理し、研究に関する見識を深める。また、国際会議の学術講演などで用いられる表現なども学習し、科学的コミュニケーションの手段として用いられる英語を学ぶ。					
授業の一般目標					
卒業研究などを実施するにあたって必要になる英語力と生化学分野の知識を身につけることを目標とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 科学論文が理解でき、論文(とくに卒業論文)を英語で書く。					
技能・表現の観点: 自分の考えを英語で表現する。					
成績評価方法(総合)					
成績評価方法(総合) 3人の教官がそれぞれ評価したものを合計して評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月1~2	時間割コード	1071102003
開設科目名	生物化学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	内海 俊彦			区分	
授業の概要					
<p>生体の主要構成成分である炭水化物、蛋白質、脂質、核酸等の化学的特性について説明し、生体内における機能について最近のトピックスを例に挙げながら述べる。</p>					
授業の一般目標					
<p>生物機能科学科の専門科目を理解するために必要とされる「生物化学」の知識のうち、最も基礎となる「生体構成成分の構造と機能」の概要を理解することを目的とする。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 生体を構成する主要な成分の化学構造及びその機能を理解する。</p> <p>関心・意欲の観点: ライフサイエンスやバイオテクノロジー等に関する最近の知見に興味を持ち、分子レベルでそれらの知見を理解しようとする学習態度を身につける。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>中間試験、期末試験、及び出席を総合して評価する。</p>					
教科書					
<p>Biochemistry / Jeremy M. Berg, John L. Tymoczko, Lubert Stryer : New York : W.H. Freeman , 2002</p>					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					
<p>随時</p>					

開設期	前期	曜日時限	金 1~2	時間割コード	1071102004
開設科目名	遺伝子工学			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	山田 守, 中井 彰			区分	
授業の概要					
<p>近年急速に発展した遺伝子工学技術は、生物を利用した新技術として様々な分野に利用されている。生物を場とすることから、基本的な生化学を理解する必要があり、特に、遺伝子操作のためのゲノム遺伝子の構造、遺伝情報の仕組、修復や組み換え等の基礎的な知識が必要となる。遺伝子や遺伝情報に関連する生化学について、続いて、生体内で起こる遺伝子組み換えや修復について、さらには遺伝子操作に使われる技術とその原理について解説する。</p>					
授業の一般目標					
<p>遺伝子工学の基本的原理や技術について理解し、遺伝子工学的な手法による研究について知ること目標とする。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 遺伝子工学の基礎的原理を理解する。 思考・判断の観点: 遺伝子工学的な技術の原理について考える。 関心・意欲の観点: 遺伝子工学的な手法による研究について知る。 態度の観点: 遅刻なしに出席し、集中して授業に参加する。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>定期試験と出席によって評価する。</p>					
教科書					
<p>Biochemistry, 6th ed. / Jeremy M. Berg, John L. Tymoczko, and Lubert Stryer, W. H. Freeman and Company, 2006</p>					
参考書					
<p>Biochemistry, 2nd ed. / D. Voet and J. G. Voet : John Wiley & Sons, Inc., 1999 Harper's Biochemistry, 25th ed. / R. K. Murray et al., Appleton & Lange, 2000</p>					
メッセージ					
<p>原著の教科書を用いるため特に予習が不可欠となる。12回と13回の講義内容は仮の予定である。</p>					
連絡先					
<p>083-933-5869</p>					
オフィスアワー					
<p>月曜日から金曜日までの 16:00 から 17:00(会議で不在の場合あり)</p>					

開設期	前期	曜日時限	月3~4	時間割コード	1071102005
開設科目名	食品栄養機能化学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	松富 直利, 阿座上 弘行			区分	
授業の概要					
<p>ヒトの健康と栄養が密接に関連していることを科学的に解明する。食品の生理機能調節特性、食物の摂取と免疫機能の関連、食餌性アレルギーの分子レベルでのメカニズムなど最新の情報を紹介する。また、肥満や生活習慣病などと食事との関連について分子レベルで明らかにする。</p>					
授業の一般目標					
<p>食品の研究は、栄養的特性や嗜好的特性の研究から生理機能調節特性への研究に進んできている。食品は、我々の身体の免疫系、内分泌系、神経系などのさまざまな生理機能に影響を与えて、健康の管理と維持に重要な役割をもつものと考えられてきた。それゆえ、生体と食品の両面からの研究が必要な分野で、今後開拓して行かねばならない夢多き分野であることの興味を引き起させる。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点:食品の持つ生理作用や生体機能の調節作用について習得する。ヒトの健康、生活習慣病予防の観点から、食品の機能を科学的に解析する。</p> <p>関心・意欲の観点:食品の生体調節機能が、免疫機能の強化、生活習慣病予防に強く関連していることの最新情報を紹介し、新しい機能性食品の創製への関心・意欲を高める。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>大学の講義は、スクーリング(対面講義)が基本と考える。それゆえ、まず出席すること。併せて、プレゼンテーション能力、学期末試験の成績で総合評価する。</p>					
教科書					
参考書					
<p>食品機能化学 / 中村 / 川岸 / 渡邊 / 大澤: 三共出版, 1990</p> <p>免疫-からだを護る不思議なしくみ- (第2版) / 矢田純一: 東京化学同人, 1996</p>					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木3~4	時間割コード	1071102006
開設科目名	食糧化学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	松富 直利			区分	
授業の概要					
食品の構成成分(水分、炭水化物、脂質、アミノ酸と蛋白質、ビタミンとミネラル)について解説し、食品の二次機能である、味の科学、かおりの科学、色の科学、食品の物性について概説する。さらに、食品の加工・保蔵中における品質形成と劣化を食品成分の化学的、生化学的变化から捉え、食品を複合成分系としての視点から分かりやすく説明する。					
授業の一般目標					
食品の成分と化学的・物理的特性との関係を習得する。食品の加工中における成分間相互作用を、品質、機能特性、栄養性の面から理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: すべての生物は、外部から栄養やエネルギーとなる物質を組織、細胞内に取り込んで自己の体構成成分を形成し、正常な生命機能を維持している。とくに、ヒトは長い進化の過程で、嗜好性を獲得し、食素材の調理、加工、保蔵に革命的な変化をもたらした。現代、科学技術の革新は、新しい食素材や加工食品の創製を可能にしている。					
関心・意欲の観点: 食品化学は、食糧のポストハーベスト(収穫後)から、ヒトの消化管の中へ入るまでの過程のすべてに関与している。この間に食の成分は様々な化学・生化学的变化を受け、品質の形成や劣化を受ける。これらの過程を理解するには、有機化学、生物学、生化学の基本知識を必要とするため、これらの学問への学習意欲につなげる。					
成績評価方法(総合)					
【全体】大学での授業は、スクーリング方法(対面講義)が原点と考える。それゆえ、出席することが基本である。毎週、復習と理解度をチェックするため小テストを実施する。併せて、学期末テストで、総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
食品の品質と成分間反応 / 並木満夫・松下雪郎:講談社, 1990					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水3~4	時間割コード	1071102007
開設科目名	微生物学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	松下 一信			区分	
授業の概要					
微生物には構造的にも栄養生理学的にも異なる様々な種類のもの存在している。ここでは、これら微生物の多様性を、特にその栄養生理学的及び生命自然史的視点から、解説する。また、微生物進化の視点から Bacteria, Archaea, Eukarya の違いを明かにし、特にバクテリアの分類を進化、代謝、生態学の視点から解説する					
授業の一般目標					
微生物学の世界標準的な理解を求める。特に、今後の微生物機能化学、土壌微生物学、環境微生物学の基礎として、微生物学の系統分類学的(生命自然史的)及び栄養生理学的視点を習得させる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
下記に示すように判定する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水1~2	時間割コード	1071102008
開設科目名	生物物理化学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	右田 たい子			区分	
授業の概要					
<p>生体分子が示す"集合体"としての現象は、物理化学的な諸理論に基づいて取り扱うことが可能である。この講義では、生体エネルギー変換や物質移動を扱う化学熱力学、化学平衡論、酵素反応の基礎となる反応速度論、膜輸送や電子伝達にかかわる酸化還元反応、分子集合体を扱う統計力学などの基礎を、実際の生化学系でみられる現象と関連させながら講義する。</p>					
授業の一般目標					
<p>生体現象の定量的な理解に必要な、熱力学・統計力学・反応速度論・膜輸送・電子移動反応の基礎を理解し、生化学で扱われているギブズ自由エネルギー変化を基本とする生体エネルギー論について理解できるようになること。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点:熱力学的諸量(内部エネルギー・エンタルピー・エントロピー・自由エネルギー等)について理解できる</p> <p>生体反応の速度論的取り扱いについて理解できる</p> <p>膜電位や膜輸送について理解できる</p> <p>生体エネルギー変換の基礎が理解できる</p> <p>思考・判断の観点:生命現象を物理・化学の理論によって取り扱うことができることを理解する</p> <p>関心・意欲の観点:生化学であつかう内容との関連が理解できる</p> <p>態度の観点:きちんと講義に出席し、内容を理解しようと努め、不明な点は進んで調査・独学し、その上でさらに理解を深めたい場合は、教員に積極的に質問する。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>知識・理解を測る定期試験、中間試験、を主とし、思考・判断を測る演習・レポートを従とする。</p>					
教科書					
<p>生物物理学の基礎 / 白浜啓四郎、杉原剛介、編著、井上両亨、柴田攻、山口武夫共著;三共出版,2007</p>					
参考書					
<p>Essential 細胞生物学 / B. Albert 他、中村桂子、松原謙一監訳;南江堂,2006</p> <p>ライフサイエンス基礎科学 / 青島均、右田たい子;化学同人,2008</p>					
メッセージ					
<p>この講義は、生化学の物理化学的な取り扱いの基礎であり、他の専門科目特に、2年後期開講の「酵素化学」とも密接に関連しているので、この科目とセットで連続して履修することが望ましい。最新の生科学分野の理解には欠かせない内容を含んでいる。</p>					
連絡先					
<p>ctmigita@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>研究室:農学部本館南4階420</p>					
オフィスアワー					
<p>水曜日 17:00-19:00</p>					

開設期	前期	曜日時限	木3~4	時間割コード	1071102009
開設科目名	環境遺伝生化学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	滝本 晃一			区分	
授業の概要					
<p>生命を取り巻く環境要因として、紫外線やその他の電磁波及び荷電粒子などの物理化学的性質の理解を深め、それをもとにして生物作用を理解する。さらに、生命の継続と遺伝的安定性の維持に重大な影響を及ぼす上記の環境要因が遺伝子に作用して損傷を与え続けていること、我々の細胞にある遺伝子修復というバックアップシステムが遺伝子の恒常性を維持し、生命が重大な危機に陥るのを防いでいる機構について解説する。ラジカルや活性酸素発生など化学反応と生物作用、遺伝子の損傷、遺伝子の修復、突然変異誘発の分子機構、個体への作用について論述する。</p>					
授業の一般目標					
<p>* 主として物理的環境要因の一般的特性を理解し応用的思考を養成する。</p> <p>* 地上生物に普遍的である紫外線の生物作用を理解し、生命の特異的反応を知るとともに生体防御にも役立つため、物理的基本特性から遺伝子への影響について理解する。</p> <p>* 生体内で常時発生している生物作用の著しい活性酸素の発生、生物影響、生体防御について知り、遺伝的影響にも結びつく遺伝子への作用を理解する。</p> <p>* 生命の基本的反応として遺伝子傷害、修復、突然変異についての知識をて生命現象の正しい理解をする。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点:1.放射線や紫外線あるいは電磁場などの環境要因を説明できる。</p> <p>2.様々な環境要因が普段の生活にどのように関わっているか、またどのように利用されているかを相互に関連づけ理解を深める。</p> <p>3.生命現象の基本である遺伝子と環境要因との相互作用から生命の環境対策の巧妙さを理解し自らの健康を評価する。</p> <p>思考・判断の観点:1.授業の内容は特別の事柄ではなく生活及び将来の研究活動と深く結びついているので得た知識をもとにしてある作業の成り立ちを類別し、さらに次に起こるであろう事柄を指摘予測できる。</p>					
成績評価方法(総合)					
主として期末試験で評価する。小テストも加味することがある。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木1~2	時間割コード	1071102010
開設科目名	有機化学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	小崎 紳一			区分	
授業の概要					
化学I・IIなどで学んだ基礎知識の確認を行うとともに、できるだけ数多くの有機化合物の性質とその反応例(アルカン、アルキン、アルケン、芳香族化合物など教科書の1から5章まで)をとりあげて具体的に解説する。教科書の残りの章は、後期開講の天然物有機化学・生物有機化学で扱う。					
授業の一般目標					
有機系化学(有機化学・生化学)の基礎知識・考え方を理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: アルカン、アルキン、アルケン、芳香族化合物などの性質が理解できる					
思考・判断の観点: 化学と人間のかかわりが判断できる。					
成績評価方法(総合)					
出席日数が足りている者について、中間試験と期末試験の成績で評価を行う。					
教科書					
マクマリー 有機化学概説 第6版 / マクマリー他:東京化学同人, 2007					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					
月曜 午後					

開設期	前期	曜日時限	木1~2	時間割コード	1071102011
開設科目名	機器分析化学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	赤壁 善彦			区分	
授業の概要					
スペクトルの理論的な点については、得られた結果を正確に解釈するのに必要な程度のことを述べるに止め、多数の有用な有機化合物のスペクトルデータを表や、チャート、図などで示し、スペクトルの解釈に重点を置いて解説する。					
授業の一般目標					
有機化合物の化学構造を MS、IR、H-NMR、 ¹³ C-NMR、UV スペクトルによって解析する基礎を系統的に身につける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 有機化合物のスペクトルから、その官能基や化学構造を説明できる。					
思考・判断の観点: 有機化合物のスペクトルの変化から、分子構造の変化を考えることができる。					
関心・意欲の観点: 生命科学から物質科学までの広い分子の世界に興味を持ち、その基礎となる化学構造解析法を積極的に学ぼうとする。					
態度の観点: 有機化合物の構造解析の基礎を系統的に身につけることによって、生命現象や新素材を分子レベルで見たり、考えたりすることができる重要な技術であることが分かる。					
技能・表現の観点: 有機化合物の構造解析の基礎を系統的に身につけることによって、実際の未知化合物の同定を行う際、専門用語をもちいて、的確な構造解析に関する記述ができ、その報告書を書くことができる。					
成績評価方法(総合)					
(1)ショートテスト(毎回実施)。 (2)期末試験の実施。 以上を下記の観点・割合で評価する。なお、出席が所定の回数に満たない者には、単位を与えない。					
教科書					
有機化合物のスペクトルによる同定法 / 荒木 峻ら:東京化学同人, 2006					
参考書					
メッセージ					
20分以上の遅刻は、出席とみなさない。					
連絡先					
農学部本館412室					
オフィスアワー					
月 - 金 13時 - 17時					

開設期	前期	曜日時限	火1~2	時間割コード	1071102012
開設科目名	植物生化学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	松井 健二, 真野 純一			区分	
授業の概要					
我々がその生命を完全に依存している植物は光合成、植物二次代謝産物等植物特有の生化学現象を遂行している。その理解は農学、食糧科学から薬学に至るまで広い分野の学問に必須である。本授業では人、動物、微生物の生化学を再確認しながら、光合成から一次代謝と二次代謝、植物ホルモン、分子遺伝学、遺伝子技術に至るまで植物固有の生化学を学ぶ。					
授業の一般目標					
植物の営む生理作用を分子レベルで理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 植物が持つ基本的な生理作用を知り、理解する。					
思考・判断の観点: 基本的な生理作用から植物の全体像を把握する。					
関心・意欲の観点: 積極的に、興味を持って学習する。					
態度の観点: 受講者として最低限のモラル。					
技能・表現の観点: 該当しない。					
その他の観点: 該当しない。					
成績評価方法(総合)					
植物生化学、生理学に関する基礎的な理解度を判断する。					
教科書					
植物生理学概論 / 桜井英博・柴岡弘郎・芦原坦・高橋易介・培風館, 2008					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
真野(吉田地区 RI センター)、松井(農学部南棟4階)					
オフィスアワー					
随時					

開設期	前期	曜日時限	水1~2	時間割コード	1071102013
開設科目名	土壌微生物学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	横山 和平			区分	
授業の概要					
代謝過程、増殖の特徴、土壌の物質循環における役割などを解説し、土壌微生物の特徴について理解する。					
授業の一般目標					
土壌微生物の生化学、生態学および物質循環を理解することを目標とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 微生物の代謝と生態について基本的な知識を得ること。					
思考・判断の観点: 土壌に於ける物質循環を微生物の代謝や生態とリンクさせ理解する。					
その他の観点: 出席					
成績評価方法(総合)					
出席および中間試験、期末試験					
教科書					
参考書					
メッセージ					
関連科目:基礎土壌学、微生物学、生化学、情報生物学に関する科目					
連絡先					
火曜日 17時から 17時半 農学部 418					
オフィスアワー					
火曜日 17時から 17時半					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102014
開設科目名	水産物利用化学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	花岡 研一			区分	
授業の概要					
水産生物については、それらに含まれる各種成分に関し、これまで食品化学的、生物化学的さらには食品衛生的に様々な研究がなされてきた。本講義では、それらの成果と共に、食糧としての水産生物を明らかにする。					
授業の一般目標					
水産物に含まれる、三大栄養素をはじめとする種々の栄養成分について理解すると同時に、水産物に関わる加工法や食中毒について理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 水産食糧資源について説明できる。 魚類筋肉組織について説明できる。 魚介類や海藻の一般成分あるいは各栄養素について説明できる。 魚介類や海藻の色素について説明できる。 魚介類の呈味成分について説明できる。 水産物による食中毒について説明できる。 水産物の加工原理について説明できる。 魚介類の低温貯蔵法について説明できる。					
成績評価方法(総合)					
集中講義の最後に、試験を行って成績評価を行います。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
山口県下関市永田本町2丁目7-1 水産大学校 食品科学科 TEL:083-286-5111 (513)					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金7~8	時間割コード	1071102015
開設科目名	情報処理概論			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	川添 容宏			区分	
授業の概要					
コンピュータ、情報処理システムのハードウェア、ソフトウェア、情報通信システム、ネットワーク、Webの活用等についての基本概念について講義を行う。					
授業の一般目標					
(1)断片的な知識だけでは捉えにくい新しい概念を相互関連付けて理解を深め、情報処理についての体系的な知識獲得を目指す。					
(2)問題解決の手段として、コンピュータの役割を重視し、積極的な活用を心がける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 情報処理技術の全体像を正しい知識を基にコンピュータと関連させて説明できる。					
数多くの新しい概念をそれぞれ相互関連させ説明できる。					
思考・判断の観点: コンピュータが人間の思考を支援するための道具であることを指摘できる。また、それを正しく理解していないと人間の思考を助けてはくれないことを確信できること。					
情報処理の目的がどこにあり、そのためには的確なシステムの選択、組み合わせをして最適なシステムを構築しなくてはならないことが指摘できる。					
関心・意欲の観点: コンピュータのハードウェア、ソフトウェアについて議論ができ、情報処理システムによる大雑把なソリューションを提示できる。					
ホームネットワークなどの個人用のネットワーク構築や運用に積極的に取り組むとともに積極的なWeb活用ができるか。					
態度の観点: 情報処理技術の進展及びその活用に積極的に関わることができる。					
技能・表現の観点: 思考の展開や概念の理解に情報処理技術を活用することができる。					
情報処理システムを活用して問題解決に当たることができる。					
成績評価方法(総合)					
コンピュータのハードウェアに関する部分についてはレポート課題とし、評価の20%を割り当てる。出席状況は評価の10%とする。					
論述形式の期末試験に残り70%の評価					
教科書					
参考書					
メッセージ					
関心、意欲の大切さを強調します。					
関心、意欲がわからない人には面接やメール交換で支援したいと思います。					
連絡先					
Web ページからメールを下さい。					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102016
開設科目名	分析化学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	岸野 拓男			区分	
授業の概要					
<p>分析化学において、滴定分析は一つの大きな分野をなす分析法である。本講義では、その濃度計算を通して化学反応における化学量論的關係を理解する。次に、酸塩基平衡や溶解平衡などをとりあげ、分析化学の基礎となる水溶液中におけるイオン平衡について解説する。まず、滴定分析や重量分析で用いられるモル計算や当量計算について述べ、ついで分離分析の基礎となる理論を化学平衡論に基づいて詳細に解説する。</p>					
授業の一般目標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. モル・当量計算および滴定分析における濃度計算ができるようになること。 2. 酸・塩基平衡では、酸・塩基水溶液のpH計算、種々の化学種の濃度計算、緩衝溶液のpH計算・調製などができること。 3. 溶解平衡では、共通イオン効果、溶解度のpH依存性、硫化水素を用いた各種金属イオンの分離などの計算ができること。 4. 酸化還元平衡では、酸化剤・還元剤を含む溶液の電位計算ができること。 					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 上記の化学計算ができる。</p> <p>思考・判断の観点: 上記の化学計算ができる。</p>					
成績評価方法(総合)					
中間テストおよび期末テストをそれぞれ1回ずつ実施し、これらの成績と出席状況を総合して評価する。					
教科書					
参考書					
定量分析化学 / 鳥居泰男・泰智三 訳: 培風館, 1982					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102017
開設科目名	物理学概論			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	守田 治			区分	
授業の概要					
人類を取りまく環境のうち、特に地球大気に関わる諸問題の理解を深めることを目的とする。またそれらの問題に対して、物理学がどのように適用されるのかを講義する。詳細な内容は、生命進化と地球大気進化、放射平衡温度と温室効果、二酸化炭素増大と地球温暖化、1次元気候モデル、フロンガスによるオゾン層破壊、気候変動とその要因となっている。					
授業の一般目標					
地球環境に起こっている様々な問題に関する理解を深め、その中で物理学の基礎を学ぶことを目的とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 地球環境問題について理解を深め、そのために必要な物理学の基礎を習得する。					
思考・判断の観点: 環境と生命活動の深いかかわりについて学び、私たちの文明のありようを考察する。					
関心・意欲の観点: 地球環境に関心を持っている人は数多くいると思うが、その詳細に関する知識は深くないように思われる。講義を通して、環境問題の実態を深く学んでほしい。					
態度の観点: 夏期休暇中に集中講義形式で行うので、全時間出席が困難な場合も出てくると思われるが、できる限り出席して新しい知見を習得してほしい。					
技能・表現の観点: 地球環境問題に物理学を適用する過程を通して、物理学や物理数学の基礎の一端を学ぶ。					
成績評価方法(総合)					
出席状況と各講義時間の中で科す小試験によって評価する。					
教科書					
参考書					
オゾン消失 / 川平浩二 牧野行雄: 読売新聞社, 1989					
エデンの恐竜 / カール・セーガン(長野敬訳), : 秀潤社, 1978					
An Introduction to Dynamic Meteorology / James R. Holton: Academic Press, 1992					
メッセージ					
地球環境を学ぶためには、数学・物理学・化学・生物学・地質学・農学などの幅広い知識が要求されます。その中で、地球環境問題に主として物理学がどのように適用されるのかを講義します。物理が嫌いな人も、物理学が適用できる新たな視点を知って、物理が好きになってくれるのではないかと期待しています。					
連絡先					
九州大学大学院理学研究院地球惑星科学分野 morita@weather.geo.kyushu-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102018
開設科目名	細胞生化学実験			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	内海 俊彦			区分	
授業の概要					
タンパク質の構造と機能を解析する手段として、培養高等動物細胞を用いた遺伝子発現法を習得する。					
授業の一般目標					
タンパク質の構造と機能の解析においてタンパク質発現系の確立は極めて重要である。本実験では、生理活性タンパク質の機能解析に多用される培養高等動物細胞を用いたタンパク質発現法について学ぶ。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: タンパク質の構造と機能の解析に必須となる培養高等動物細胞を用いたタンパク質発現法、ならびに発現タンパク質の検出法について理解する。					
関心・意欲の観点: 細胞の構造と機能に関する関心や興味を喚起する。					
成績評価方法(総合)					
試験(小テスト)、レポート、実験態度、出席により総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					
随時					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102019
開設科目名	遺伝子工学実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	山田 守			区分	
授業の概要					
<p>遺伝子工学に必要な基本的実験を行うとともに、急速に蓄積されている生命(遺伝子)情報の利用や解析についてその基本的方法を習得する。また、基本的実験結果についてグループでまとめ発表することによってこの研究分野の理解を深める。</p>					
授業の一般目標					
<p>生命情報の実験的解析およびデータベース上の生命情報の利用について理解する。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点:生命情報の実験的解析およびデータベース上の生命情報の利用について理解する。</p> <p>思考・判断の観点:今後さらに広がる生命情報の活用について理解する。</p> <p>関心・意欲の観点:生命情報に対する関心を高める。</p> <p>態度の観点:集中して資料の変化などを観察する。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>実験結果の発表、レポートおよび出席を評価する。</p>					
教科書					
参考書					
<p>Biochemistry, 6th ed / Jeremy M. Berg, John L. Tymoczko, and Lubert Stryer: W. H. Freeman and Company , 2006</p>					
メッセージ					
<p>オリエンテーション等で履修上の注意や実験実施方法及び時期が示される。</p>					
連絡先					
<p>083-933-5869</p>					
オフィスアワー					
<p>月曜日から金曜日までの 16:00 から 17:00(会議等で不在の場合あり)</p>					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102020
開設科目名	生物物理化学実験			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	右田 たい子			区分	
授業の概要					
<p>生体反応の物理化学的手法による解析法の実践について学ぶ。生化学分野の研究で用いられる分光学的手法のうち、紫外可視分光光度法(UV-VIS)、蛍光分光法、電子スピン共鳴法(EPR)、核磁気共鳴法(NMR)を、タンパク構造、生理活性種の帰属、などに応用する。また、電気化学的測定により、生体電子伝達系の酸化還元電位の測定法を学ぶ。</p>					
授業の一般目標					
<p>UV-VIS, 蛍光, EPR, NMR 分光法, 電気化学測定の原理が理解できる。 分光法を生体物質の解析と生体反応への利用法が具体的なテーマを実践することで理解できる</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 1.チオール定量試薬を用いたタンパク中のSH基の定量法の原理が理解できる。 2.電子伝達タンパクの酸化還元をに UV-VIS 法で観測できることを理解できる。 3.ヘムタンパクについて、配位子の結合定数が UV-VIS 法で求められることが理解できる。 4.常磁性物質の存在と種類が、EPR 法で確認できることが理解できる。 5.NMR 法によって分子中の水素原子核の存在形態と数が決定できることが理解できる。 6.生体関連物質の蛍光スペクトルを測定し、タンパク質や抗体など帰属や定量ができる。 7.蛍光分光高度法の原理と測定法を理解し、生化学分野で多用されている理由が理解できる。</p> <p>思考・判断の観点: 精度の高い実験データを得るための要点を見出せる。 実測データをもとに、それぞれの分光法の原理に基づいて、ふさわしい結論が導ける。</p> <p>関心・意欲の観点: できるだけ精度の高いデータを追求する。効率のよい取扱いを工夫する。</p> <p>態度の観点: 共同実験なので、グループ内での役割分担にしたがって、周りと協調して実験ができること。</p> <p>技能・表現の観点: 正確ですばい実験操作ができる。要点を押さえたレポートを作成できる。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>1. 実験書を正しく理解し、効率的に実験を進めることができる。 2. 正確で結果の再現性の高い実験を行うことができる。 3. グループの中で協調しながら積極的にテーマを遂行できる。 4. 実験結果をわかりやすくまとめ、得られた結果を深く考察できる。</p>					
教科書					
参考書					
有機化合物のスペクトルによる同定法—MS, IR, NMR の併用— / Silverstein 他荒木・益子・山本・鎌田訳: 東京化学同人, 2006					
メッセージ					
「機器分析化学」の講義内容と関連が深い。実験原理をよく理解することが必要である。					
連絡先					
ctmigita@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 農学部本館南 420					
オフィスアワー					
金曜日 17:00-19:00					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102021
開設科目名	生体反応制御学実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	古賀 大三			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102022
開設科目名	環境遺伝生化学実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	滝本 晃一			区分	
授業の概要					
DNAの抽出、精製、酵素処理、電気泳動などについてすでに基礎実験で行った事柄をさらに発展的に実施習得する。また、DNA修復の重要性を修復欠損大腸菌を用いて実際に調べ、また突然変異誘発との関連をみる。					
授業の一般目標					
DNAの扱いや遺伝子工学の基礎技術に慣れる。遺伝子の傷害修復や突然変異誘発などをみることにより、遺伝の安定性機能の重要性を知る。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 生命現象に関わるそれぞれの事実を説明できる。					
思考・判断の観点: 実験を行うことにより生命現象の実証的評価ができる。					
態度の観点: グループでの実験で積極的かつ協同的に作業できる。					
成績評価方法(総合)					
レポートを中心に、実験終了後行う試験の成績と併せて評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102023
開設科目名	環境適応生理学実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	宮田 浩文			区分	
授業の概要					
神経と筋の基本的な構造と機能を理解するために、ラットの呼吸筋(diaphragm)とその支配神経(phrenic motoneuron)を取り上げ、電気的活動の記録、電気刺激による筋収縮記録、酵素組織化学的染色、生化学的酵素活性の測定などを行う。					
授業の一般目標					
筋細胞の機能特性、構造特性および代謝特性を調べる基本的方法の理解と、各特性を関連付け説明する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1. 筋細胞の機能特性、構造特性および代謝特性を調べる方法の原理を説明する。 2. それぞれの関連を説明する。					
思考・判断の観点: 1. 測定に含まれる誤差を理解したうえで結果を総括する。					
関心・意欲の観点: 1. 実験結果を身近な問題とリンクさせ討議できる。					
態度の観点: 1. 共同実験における自分の役割を理解し遂行する。					
技能・表現の観点: 1. 要点をおさえた簡潔なレポートを作成する。					
成績評価方法(総合)					
出席状況と最終レポートで評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
時間厳守					
連絡先					
hiro@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
月曜日午前中					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102024
開設科目名	有機化学実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	赤壁 善彦			区分	
授業の概要					
有機化学の基礎を修得するために、まず最小限の基礎原理を説明する。次に、それにもとずいて各種の有機反応を理解することによって、有機化学の基礎を確かなものにする。					
授業の一般目標					
有機化合物の結合や構造および反応を電子、分子軌道、立体化学などのごく限られた基礎原理から理解することによって、有機化学の基礎を系統的に身につける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 有機化合物の構造から、その性質や反応性を説明できる。					
思考・判断の観点: 有機物質や現象の変化を分子レベルで見たり、考えることができる。					
関心・意欲の観点: 生命科学から物質科学までの広い分子の世界に興味を持ち、その基礎を学ぼうとする。					
態度の観点: 有機化学は、ごく限られた基礎原理を理解すれば、その基礎を系統的に身につけることができることを実感する。また、それによって生命現象や新素材を分子レベルで見たり、考えたりすることができるなど面白いと感じるようになる。					
技能・表現の観点: 的確な専門用語を用いて、化学レポートが書けるようになる。					
成績評価方法(総合)					
出席およびレポート。なお、出席が所定の回数に満たない者には、単位を与えない。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
農学部4階 412号室					
オフィスアワー					
月 - 金曜日 15:00 - 17:00					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102025
開設科目名	天然物有機化学実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	松井 健二			区分	
授業の概要					
天然物質は多彩な生理機能を有しており、人類は有史以前からそれを利用してきた。今日ではこうした天然物質を生体から単離し、その構造を決定し、そうした情報をもとにして新たな、あるいはより強力な生理活性を有する誘導体を人為的に作り、利用している。こうした技法は農学、食品化学、薬学に至る広い範囲で日常的に利用されている。本実験ではこうした技法の基礎を学び、また、機器分析についても学ぶ。					
授業の一般目標					
1、生体からの天然有機化学物質の抽出に関する基本的技法を習得する。 2、単離した天然物を機器分析により解析する。 3、メタボロームの概念を習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 基本的な有機化学実験の手法をマスターする。					
思考・判断の観点: 有機化学実験のプランニングを行う能力をつける。得られた結果を適切に解釈する能力をつける。					
関心・意欲の観点: 積極的に実験を進める。					
態度の観点: 危険を伴うので、ルールに従って集中して実施する。					
技能・表現の観点: レポートで結果、考察を十分に表現する。					
成績評価方法(総合)					
実験態度と、レポートで評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
農学部南棟4階松井研究室					
オフィスアワー					
随時					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102026
開設科目名	土壌生化学実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	横山 和平, 藤井 克彦			区分	
授業の概要					
土壌の取り扱い、生物活性の測定法などを紹介し、将来、農業、環境などの分野で生かせる技術を紹介する。					
授業の一般目標					
土壌の取り扱い、生物活性の測定法などに習熟する					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 土壌の特徴及び微生物学的特徴について理解する。実験方法の原理を理解する。					
思考・判断の観点: 測定データの解析と理論的構築に習熟する。					
態度の観点: 主体的な取り組みの姿勢を確立する。					
技能・表現の観点: 正しい手法で実験できる。実験結果を分かりやすく発表できる。					
成績評価方法(総合)					
レポートの内容により成績を判定する。出席は必須					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102027
開設科目名	畜産物利用学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	岩田 祐之			区分	
授業の概要					
食肉の品質(性状),加工特性を生体における筋肉組織の構造と成分との関連について講義する。さらに,食品としての食肉に必要な要件,すなわち栄養的価値(生理的機能性),美味しさおよび安全性について講義する。					
授業の一般目標					
食肉加工のトータル・コントロール(品質・安全性)の概念について理解を深めることを目標とする					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 食肉の性状を筋肉組織学、筋肉生理学および筋収縮の分子論的観点から説明できるようになることを目標とする。					
食肉加工製品の製造原理を食品化学、食品物理学的に説明できるようになることを目標とする。					
食肉の栄養機能性および安全性に関心を示すようになることを目標とする。					
成績評価方法(総合)					
「全体」出席状況:20%、レポート、小テスト:20%、筆記試験:60%					
知識・理解度および関心度(質疑応答)を中心に評価する。					
教科書					
参考書					
肉の科学 / 沖谷明紘:朝倉書店,1995					
タンパク質の科学 / 鈴木敦士、渡部終五、中川弘毅:朝倉書店,1998					
畜肉とその加工 / 森田重広:建帛社,1982					
メッセージ					
戦後のわが国の平均寿命の驚異的な伸びは、医学・衛生学の進歩とともに、動物性タンパク質摂取量が適正に増加したことに起因している。このタンパク質摂取量の増加に最も貢献したのは食肉である。学生諸君には本講義を通じて食肉の重要性を学んでほしい。					
連絡先					
九州大学大学院農学研究院生物機能化学畜産化学研究室(092-642-2949)					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金 3～4	時間割コード	1071102028
開設科目名	公衆衛生学総論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	度会 雅久			区分	
授業の概要					
公衆衛生とは、人間集団を対象として、疾病の予防、健康の保持、増進ならびに福祉の向上をはかり、人に人としての肉体的・精神的・社会的機能を発揮させることを目的としている。このような公衆衛生学を獣医学的側面から衛生概念及び疾病を中心に概説する。					
授業の一般目標					
公衆衛生学の概念について習得するため、集団としての人の健康について考察し、これに関わる種々の因子について理解を深める。また、人と動物の共通感染症についても理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 公衆衛生学の概念について、獣医学的側面から説明できる。					
思考・判断の観点: 人獣共通感染症について類別できる。					
成績評価方法(総合)					
定期試験 = 80～100%未満					
小テスト / 授業内レポート = 20%未満					
出席 = 20%未満					
教科書					
獣医公衆衛生学第3版 / 高島郁夫, 熊谷進編: 文永堂出版, 2004					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
watarai@yamaguchi-u.ac.jp					
研究室: 農学部1階					
オフィスアワー					
随時					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102029
開設科目名	フィールド演習			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤間 充			区分	
授業の概要					
鳥取大学, 愛媛大学, 岡山大学および広島大学のフィールド関連施設において, 実習, 講義, 野外調査ならびに施設見学などを行い, 自然と環境, 生物の生態系, 栽培技術などへの理解を深める。実習先は以下の4箇所から1つを選択する。					
<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取大学農学部フィールドサイエンスセンター教育研究林 ・愛媛大学農学部附属農場 ・岡山大学農学部附属津高牧場 ・広島大学生物圏科学研究科附属瀬戸内圏フィールド科学教育センター竹原ステーション 					
授業の一般目標					
実習, 講義, 野外調査および施設見学を通して, 自然と人間との関わり, 生物生態系の重要性, 生物生産と私たちの生活との関わりについて理解することを目標とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 自然と人間との関わり, 生物生態系の重要性, 生物生産と私たちの生活との関わりについて理解する。実習, 実験で得たデータの解析, 発表方法について修得できる。					
思考・判断の観点: 森林と人間の関わり, 果樹の栽培技術と果実成分, 家畜生産管理, 海洋生物の生態などに関する思考が身につく。					
関心・意欲の観点: フィールド関連実習全般について関心を持つようになる。					
技能・表現の観点: 調査方法, 分析方法, データ解析方法および発表方法に関する技術が修得できる。					
成績評価方法(総合)					
講義, 実験, 実習中の取り組み姿勢およびレポート, プレゼンテーションの内容などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102030
開設科目名	生物有機化学実験			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	小崎 紳一			区分	
授業の概要					
ライフサイエンス分野の研究を行う上で習得する必要があると思われる実験技術の中で、主として化学的な手法をとりあげる。得られた結果を適切に解析して、考える訓練を行う。					
授業の一般目標					
ライフサイエンス分野の研究を行う上で必要な実験技術・データ処理法を学ぶ。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 有機化学反応のメカニズムやタンパク質の構造と機能相関などに関する基本事項を実験を通して理解できる。					
思考・判断の観点: 実験で得られる生データを解析し、深く考察できるようになる。					
成績評価方法(総合)					
レポートの内容で評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					
月曜日 午後					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102031
開設科目名	植物分子生理学実験			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	真野 純一			区分	
授業の概要					
植物生理学は植物の生きるしくみを解き明かす学問分野です。細胞のいとなみは細胞を構成する様々な分子のはたらきが統合された結果といえます。この授業では、光合成、ストレス防御など植物の機能を、分子のはたらきとして(すなわち化学的に)理解するにはどのような考え方でどのような実験技術を用いるかを学びます。					
授業の一般目標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞や試験管内でどのような現象が進行しているか、具体的に想像できるようになること。 2. アフィニティークロマトグラフィーの原理と実験技術を習得すること。 3. 実験データから試験管内で起こっている反応のメカニズムを推理すること。 4. 単離葉緑体および生葉の光合成測定の方法と実験技術を習得すること。 					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: タンパク質の取り扱いに関する一般的な注意点の理解					
クロマトグラフィーによるタンパク質精製法に関する知識・理解					
酸素電極を用いた光合成電子伝達測定の理解					
クロロフィル蛍光法による光合成測定の理解					
反応速度からターンオーバー数を計算できること					
思考・判断の観点: 観察対象としている物質が現在どのような状態にあるかを具体的に想像すること。					
種々の実験から得られる結果を整合性よく説明できること。					
関心・意欲の観点: グループで実験を行う際に、積極的に関わること。					
行っている実験のプロセスに集中していること。					
試料の状態を詳細に観察すること。					
態度の観点: グループで実験を行う際に、他のメンバーと積極的に情報交換を行うこと。					
技能・表現の観点: 観察した事実を的確に表現できること。					
実験結果の解釈を論理的に表現できること。					
成績評価方法(総合)					
出席: 欠格条件					
関心と態度: 50 点					
レポート: 50 点					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
総合科学実験センター アイソトープ分析施設					
mano@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
平日午後1時30分から午後5時					

開設期	前期	曜日時限	火1~2	時間割コード	1071102032
開設科目名	生物機能科学総論			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	内海 俊彦			区分	
授業の概要					
生物機能科学科で学習する領域や事柄について平易に紹介し、専門課程への動機付けを行う。					
授業の一般目標					
生物機能科学科で学習する領域や事柄について、理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 生物機能科学科で学習する領域や事柄について、理解する。					
思考・判断の観点: 生物機能科学科で学習する領域や事柄の基礎的事項について、有機的に関連付けて考えることができる。					
関心・意欲の観点: 生物機能科学科で学習する領域や事柄について、強い興味を持つ。					
態度の観点: 積極的な態度を示す。					
成績評価方法(総合)					
出席およびコメント・レポート提出を重視する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102033
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	内海 俊彦			区分	
授業の概要					
英語論文の輪読をととして専門分野における英語能力の向上をはかる。					
授業の一般目標					
最先端の学術論文を詳細に読み、理解することにより生命科学分野の研究者・技術者としての専門的知識を深めるとともに、英語論文の読解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席と授業態度、予習・復習状況等を総合的に評価する					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102034
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	山田 守			区分	
授業の概要					
生物の代謝一般に関する知識や最新技術の理解のために、英語能力は不可欠であり、そのための専門英語習得の機会となる。					
授業の一般目標					
最先端の学術論文を詳細に読み、理解することにより生命科学分野の研究者・技術者としての専門的知識を深めるとともに、英語論文の読解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席と授業態度、予習・復習状況等を総合的に評価する					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
083-933-5869					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102035
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	松富 直利			区分	
授業の概要					
なし					
授業の一般目標					
最先端の学術論文を詳細に読み、理解することにより生命科学分野の研究者・技術者としての専門的知識を深めるとともに、英語論文の読解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
なし					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102036
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	松下 一信			区分	
授業の概要					
最先端の学術論文を詳細に読み、理解することにより生命科学分野の研究者・技術者としての専門的知識を深めるとともに、英語論文の読解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目的とする。					
授業の一般目標					
英語論文の読解力、プレゼンテーション能力を高める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
発表内容で評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102037
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	右田 たい子			区分	
授業の概要					
<p>1. Stryer's Biochemistry fifth edition, Part I の輪読と演習問題の解答</p> <p>2. 著名な専門誌の論文の解説</p>					
授業の一般目標					
<p>最先端の学術論文を詳細に読み、理解することにより生命科学分野の研究者・技術者としての専門的知識を深めるとともに、英語論文の読解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目的とする。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 生化学の基礎を英語で理解できること。 専門用語を理解すること。</p> <p>思考・判断の観点: テーマを持った研究論文の構成と手法、結果、その解析が理解できること。</p> <p>関心・意欲の観点: 自身のテーマが、生化学の全体の中で、どのような位置を占めるかがわかること。 また、テーマに関連する論文を調べ、自分の研究がその分野のなかでどのように位置付けられるかを知ること。</p> <p>態度の観点: 遅刻、欠席をしないで、予習をきちんとし、グループの中で責任を果たしているか。</p>					
成績評価方法(総合)					
出席、態度、理解、発表の総合で評価する。					
教科書					
Biochemistry / M. Berg, J.L. Tymoczko, L. Stryer: Freeman, 2002					
参考書					
メッセージ					
生化学の実力と英語の実力が同時に向上できる機会である。					
連絡先					
ctmigita@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
随時					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102038
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	滝本 晃一			区分	
授業の概要					
専門書を毎回読み、訳し、その意味を考える。					
授業の一般目標					
専門的英語に慣れると共に、3年生までに学習した事柄を復習することによりさらに理解を深める。					
授業の到達目標					
思考・判断の観点: 学術論文が読めることを目指し、長い英文をできるだけ早く理解できるようにする。					
成績評価方法(総合)					
学習態度と意欲					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102039
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	小崎 紳一			区分	
授業の概要					
最先端の学術論文を詳細に読み、理解することにより生命科学分野の研究者・技術者としての専門的知識を深めるとともに、英語論文の読解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目指す。					
授業の一般目標					
正しく、英語と内容を理解し、それに基づいて考える力を養う。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
下記に定めた評価基準に従い評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102040
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	赤壁 善彦			区分	
授業の概要					
<p>学術論文を詳細に読み、理解することにより、有機化学分野の研究者・技術者としての専門的知識を深めるとともに、英語論文の読解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目的とする。</p>					
授業の一般目標					
<p>学術論文を詳細に読み、理解することにより、生体内反応および生物間相互作用に関わる生理活性物質の基礎の専門的知識を深めるとともに、英語論文の読解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目的とする。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点:有機化合物の化学構造から、その物質の生理活性や生成について説明できる。</p> <p>思考・判断の観点:あらゆる生物現象を分子レベルで考えることができる。</p> <p>関心・意欲の観点:生命科学を分子レベルで解釈するために、その基礎を深めようとする。</p> <p>態度の観点:有機化学は、生化学、生命科学の基礎で、その基礎原理を系統的に身につけると生命現象や新規生理活性物質を分子レベルで見たり、考えたりすることができるようになる。</p> <p>技能・表現の観点:有機化学を基礎として、物質を取り扱い、抽出、分離、精製作業、さらに物質変換を行えるようになる。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>文献の読解力, 説明力により評価する。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
<p>農学部本館412室</p>					
オフィスアワー					
<p>月 - 金 9 - 17時</p>					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102041
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	松井 健二			区分	
授業の概要					
履修者を3等分し、それぞれ真野教員、葉師教員、松井教員が順次担当する。基本的には各教員がプリントを配布する。そのプリントに従って十分な予習、復習をする必要がある。					
授業の一般目標					
一般的な科学論文が理解できること。 インターネットを駆使し、海外の情報を得ることができること。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
予習、復習の程度を評価する。実際に英語が読めるようになったかどうかを小テスト等で判断する。定期試験は実施しない。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102042
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	横山 和平			区分	
授業の概要					
科学分野の英語に対応する能力を養う。					
授業の一般目標					
最先端の学術論文を詳細に読み、理解することにより生命科学分野の研究者・技術者としての専門的知識を深めるとともに、英語論文の読解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目的とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 英語で提示された専門知識を理解する。					
思考・判断の観点: 英語で提示された考察や論理展開を理解する。					
成績評価方法(総合)					
出席及びプレゼンテーション					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102043
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	古賀 大三			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102044
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	宮田 浩文			区分	
授業の概要					
最先端の学術論文を詳細に読み、理解することにより生命科学分野の研究者・技術者としての専門的知識を深める。					
授業の一般目標					
最先端の学術論文を詳細に読み、理解することにより生命科学分野の研究者・技術者としての専門的知識を深めるとともに、英語論文の読解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席状況と各時間の提出資料で評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102045
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	真野 純一			区分	
授業の概要					
最近の学術論文を詳細に読み、理解し、内容を研究室のメンバーに紹介する。					
授業の一般目標					
最先端の学術論文を詳細に読み、理解することにより生命科学分野の研究者・技術者としての専門的知識を深めるとともに、英語論文の読解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目的とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 英語の読解力、生化学・分子生物学の基礎知識					
思考・判断の観点: 論理的思考。					
関心・意欲の観点: 最新の学術成果への興味と関心。					
態度の観点: 不明な点が解消するまで質問を続ける態度。					
成績評価方法(総合)					
発表準備および理解の程度を総合的に判定する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102046
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	阿座上 弘行			区分	
授業の概要					
最先端の学術論文を詳細に読み、理解することにより生命科学分野の研究者・技術者としての専門的知識を深めるとともに、英語論文の読解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目的とする。					
授業の一般目標					
最先端の学術論文を詳細に読み、理解することにより生命科学分野の研究者・技術者としての専門的知識を深めるとともに、英語論文の読解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
演習における技能や表現力と授業における知識・理解度を総合的に判断して評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102047
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	薬師 寿治			区分	
授業の概要					
最先端の学術論文などを詳細に読み、理解することにより専門的知識を深める。					
授業の一般目標					
最先端の学術論文を詳細に読み、理解することにより生命科学分野の研究者・技術者としての専門的知識を深めるとともに、英語論文の読解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
授業態度と授業への参加度を重視する。演習を課して評価に加える。出席は必須である。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071102048
開設科目名	専門英語			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤井 克彦			区分	
授業の概要					
最先端の学術論文を詳細に読み、理解することにより生命科学分野の研究者・技術者としての専門的知識を深める。					
授業の一般目標					
最先端の学術論文を詳細に読み、英語論文の読解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
授業態度、成績で総合的に判断					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					
随時					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071103001
開設科目名	獣医発生学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	上原 正人			区分	
授業の概要					
家畜の生殖系発生、排卵や受精を含む胚子前期、原腸胚形成などの形態形成、および組織と器官発生を解説する。					
授業の一般目標					
動物体の構造を正確に知ることは獣医学の基礎的、臨床的理解において極めて基本的な事項として重要である。動物の体の構造の理解には、静的構造の理解に加えて、機能、及び受精卵からはじまって加齢に至るまでの成長に伴う動的構造の変化を知ることも含まれる。発生学を理解することで、体の各構造の発生を知るだけでなく、各構造間の相互関係をより合理的に把握できるようにすることが目標である。また、体の構造には機能的観点から、あるいは空間的配置から見て理解しにくいものが多々あるが、それらの多くは発生学的に説明できるものが多いことから、解剖学的記載の理解にも必須である。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席率と試験結果による。					
教科書					
獣医発生学 / 谷口、木曾、佐藤監修:学窓社, 2008					
参考書					
メッセージ					
発生学は解剖学と同様にきわめてたくさんの専門用語が使われていますからこれを覚えるだけでもたいへんです。さらに発生学は刻々と変化する現象を理解しなければなりません。多数の用語に惑わされずに形態形成の流れを把握するようにしてください。					
連絡先					
鳥取大学農学部獣医解剖学教室 muehara@muses.tottori-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水5~7,木5~7	時間割コード	1071103002
開設科目名	獣医生理学実習			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	和田 直己, 森 大志			区分	
授業の概要					
実験動物の適切な取り扱い方を理解する。生きた個体、組織、細胞からの情報を記録する基礎的方法を理解、身につけることを目標とする。					
授業の一般目標					
機能の理解するための手法、考え方を学ぶ					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席、レポート、口頭試問で総合判断を行う。					
教科書					
生理学実験マニュアル, 獣医生理学, 生理化学教育懇談会編, 学窓社, 1998年					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金 1~2	時間割コード	1071103003
開設科目名	獣医生化学実習			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	山本 芳実			区分	
授業の概要					
タンパク質, 酵素, DNAという生体を構成する基本的な成分に関して, その生化学的な扱い方の基礎的な実習をおこなう。					
授業の一般目標					
生化学の主要な対象であるタンパク質, 酵素, DNAをあつかう基本的な手法を学ぶ。さらに, 定量的なデータのとり方, およびまとめ方を習熟する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1, 各テーマの実験の原理について説明出来る。2, 酵素反応速度論をはじめとする定量的実験手法を見につける。3, 技術作文が出来る。					
思考・判断の観点: 1, 生命科学研究における生化学的方法論を実感する。					
関心・意欲の観点: 1, 生化学的方法に興味を抱く。					
技能・表現の観点: 1, マイクロピペット操作をはじめとする基礎的技術に習熟する。 2, 実験で使う測定機器について扱える。					
その他の観点: 1, チームワークで実験結果をまとめていく創意工夫をおこなう。					
成績評価方法(総合)					
各自, 実習全体をまとめたレポートを提出する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
農学部 209 号室					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月1~2,水3~4	時間割コード	1071103004
開設科目名	獣医病理学総論			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	林 俊春			区分	
授業の概要					
動物の病気でみられる病変を大きく(1)受身の病変、(2)活動的病変、(3)循環障害、(4)免疫病理、(5)炎症、(6)腫瘍(7)奇形に分けて講義を行う。					
授業の一般目標					
国家試験をクリア出来る知識を習得させる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 病的な組織・臓器の変化を基礎科目との関連して理解し、知識を習得させる。					
思考・判断の観点: 病的変化を丸暗記するのではなく、多種多様な病的変化に応用可能な観察力をつけさせる。					
関心・意欲の観点: 基本的な病変がどのようなメカニズムによって生じると比較病理学的観点から講義を行う。					
態度の観点: 講義は連続性がある。すなわち、講義した内容を理解して、次の講義の理解に繋がるという基本姿勢を学ばせる。					
成績評価方法(総合)					
出席と期末試験を総合して判定。					
教科書					
動物病理学総論(第2版) / 日本獣医病理学会編:文永堂, 2001					
動物病理カラーアトラス / 日本獣医病理学会編:文永堂, 2007					
参考書					
メッセージ					
講義内容を講義毎に理解・記憶する事。					
連絡先					
083-933-5890					
オフィスアワー					
12:00 13:00					

開設期	前期	曜日時限	月5-7	時間割コード	1071103005
開設科目名	獣医寄生虫病学実習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	佐藤 宏			区分	
授業の概要					
動物寄生虫の形態および生態について標本や実際の材料を用いて観察または実験を行い、また獣医寄生虫病に関する基本的な臨床検査・診断技術について実習する。					
授業の一般目標					
1. 獣医分野において重要な寄生虫の形態や生態を、観察等を通じて理解を深める。 2. 獣医寄生虫病に関する基本的な臨床検査手技および診断技術を習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1. 獣医分野において重要な寄生虫の形態や生態を実際に観察する 2. 基本的な臨床検査手技および診断技術を取得する					
思考・判断の観点: 鑑別診断の考え方ができる					
関心・意欲の観点: 自主的かつ積極的に取り組む					
態度の観点: 自主的かつ積極的に取り組む					
技能・表現の観点: 専門用語を用いて口頭および文章で適切に病態を表現できる					
成績評価方法(総合)					
欠席は欠格条件					
教科書					
獣医寄生虫検査マニュアル / 今井壮一、神谷正男、平詔亨、茅根士郎編: 文永堂出版, 1997					
参考書					
獣医寄生虫検査マニュアル / 今井壮一、神谷正男、平詔亨、茅根士郎編: 文永堂出版, 1997					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火1~2	時間割コード	1071103006
開設科目名	獣医外科学総論			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	田浦 保穂			区分	
授業の概要					
動物外科疾患の診断法、損傷、創傷治癒および感染、外科侵襲に対する生体反応、輸液、麻酔法、外科手術の基礎知識、ショックと救急療法、化学療法と理学療法、腫瘍性疾患など、獣医外科の基礎について講述する。					
授業の一般目標					
主に、牛・馬・犬・猫等を対象とする動物の外科疾患の病態、診断法、治療法の基礎的分野について総合的に理解を深めることを目標とする。すなわち、動物外科疾患の診断法、損傷、創傷治癒および感染、外科侵襲に対する生体反応、輸液、麻酔法、外科手術の基礎知識、ショックと救急療法、化学療法と理学療法、腫瘍性疾患など、獣医外科の基礎について総論的に説明し、獣医外科各論への展開を考慮する。五感と科学的データ、動物の患者になった気持ちでの診察、胸ドキドキする診察。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1.獣医外科の基礎一般について説明できる。2.外科手術の基本について説明できる。3.基本的な外科療法について説明できる。4.外科診断の基本について説明できる。5.救急療法について説明できる。6.麻酔の基本について説明できる。7.外科侵襲の機構とその予防と治療について説明できる。8.腫瘍の診断治療の基礎について説明できる。					
思考・判断の観点: 1.さまざまな外科的侵襲における生体の病態的变化の発生機序を説明できる。2.さまざまな外科的侵襲における生体の病態的变化の診断に関して説明できる。3.さまざまな外科的侵襲における生体の病態的变化に対して基本的な対処法を説明できる。					
成績評価方法(総合)					
定期試験(中間試験と期末試験) = 欠格条件					
小テスト / 授業内レポート = 欠格条件					
宿題 / 授業外レポート = 欠格条件					
授業態度や授業への参加度 = 欠格条件					
受講者の発表(プレゼン)や授業内での製作作業(作品) = 20%未満					
出席 = 20%未満					
口述試験 = 20 ~ 40%					
教科書					
獣医外科手術 / 竹内啓[ほか]編: 講談社, 1994					
参考書					
メッセージ					
動物の症例に実際に自分が遭遇した時に、どうすべきか、シミュレーションをすべきです。また、手術の際には、飼主へのインフォームド・コンセントが重要になります。外科学は理論に裏づけされた行動を速やかにとる必要があります。一緒に勉強しましょう。					
連絡先					
E-mail ytaura@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 933-5928, 研究室 附属動物医療センター, オフィスアワー 随時					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金5-7	時間割コード	1071103007
開設科目名	獣医外科学実習			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	田浦 保穂, 中市 統三, 谷 健二, 板本 和仁			区分	
授業の概要					
犬と牛、あるいは動物モデルを中心に、動物の保定法、麻酔法、術後疼痛管理、消毒法、一般外科手術ならびに整形外科手術などの手技について実習を行う。					
授業の一般目標					
各種動物の保定法、麻酔法、術後疼痛管理、消毒法、一般外科手術ならびに整形外科手術などの手技について実習を行い、獣医外科学の診断や治療法について理解を深めることを目標とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
小テスト/授業内レポート = 欠格条件					
授業態度や授業への参加度 = 欠格条件					
受講者の発表(プレゼン)や授業内での製作作業(作品) = 欠格条件					
出席 = 欠格条件					
実習ノート作成 = 20%未満					
教科書					
獣医外科手術 / 竹内啓[ほか]編: 講談社, 1994					
参考書					
スラッター-小動物の外科手術 / Douglas Slatter 編 ; 高橋貢, 佐々木伸雄監訳: 文永堂出版, 2000					
主要症状を基礎にした牛の臨床 / 前出吉光・小岩政照監修: デーリマン, 2002					
メッセージ					
動物の症例に実際に自分が遭遇した時に、どうすべきか、シミュレーションを実習でできたら良いですね。また、手術の際には、飼主へのインフォームド・コンセントが重要になります。外科学は理論に裏づけされた行動を速やかな行動で示すことが重要です。一緒に勉強しましょう					
連絡先					
田浦保穂 : E-mail ytaura@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 933-5928, 研究室 農学部家畜病院, オフィスアワー 随時					
中市統三 : E-mail nakaichi@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 933-5898, 研究室 農学部家畜病院, オフィスアワー 随時					
宇根智 : E-mail une@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 933-5897, 研究室 農学部家畜病院, オフィスアワー 随時					
板本和仁 : E-mail kaz2356@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 933-5929, 研究室 農学部家畜病院, オフィスアワー 随時					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火3~4	時間割コード	1071103008
開設科目名	獣医繁殖学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	中尾 敏彦			区分	
授業の概要					
飼育動物の主要な生殖機能異常と繁殖障害について、発生率、原因、症状、診断、治療、および予防などを学ぶ。また、霊長類などの野生動物における生殖機能の特性を学ぶ。					
授業の一般目標					
産業動物および伴侶動物における主な繁殖障害および生殖機能異常の病態生理を理解し、診断と治療にかかわる実践的な方法を理解させる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
定期試験成績に基づいて評価する。					
教科書					
獣医繁殖学 第3版 / 浜名、中尾、津曲: 文永堂, 2006					
獣医繁殖の実践超音波診断 / 津曲、中尾: 学窓社, 2007					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月5-7	時間割コード	1071103009
開設科目名	獣医繁殖学 実習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤田 志歩, 中尾 敏彦			区分	
授業の概要					
産業動物の繁殖障害に対する診断および治療方法について学習する。					
授業の一般目標					
雌牛の生殖器官の構造および繁殖生理を理解し、繁殖障害に対する適切な診断および治療を行うための知識と技術を習得する。また、雌牛の受精卵移植をはじめとした繁殖管理技術について知識と技術を習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 雌牛の繁殖生理を理解した上で、繁殖障害の病態について理解する。					
思考・判断の観点: 雌牛の繁殖障害に対する診断と適切な治療方法の選択ができる。					
関心・意欲の観点: 動物をよく観察し、生理や病態、および手技に対する疑問を自ら探索し、解決する。					
態度の観点: グループ内で協力して作業を行う。作業およびディスカッションに積極的に参加する。					
技能・表現の観点: 雌牛の繁殖管理や繁殖障害に対する治療の手技を習得する。牛の繁殖生理や病態について正しく説明できる。					
成績評価方法(総合)					
出席および授業内に課すレポートを主な評価とする。					
教科書					
獣医繁殖学マニュアル第2版 / 獣医繁殖学教育協議会: 文永堂, 2007					
参考書					
獣医繁殖学第3版 / 浜名克己, 中尾敏彦, 津曲茂久: 文永堂, 2006					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071103010
開設科目名	家禽疾病学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	高瀬 公三			区分	
授業の概要					
鳥類、特に鶏に発生する諸疾病について、原因、臨床症状、発生状況(疫学)、予防並びに対応などを講義する。疾病は原因別に大別する。なお、鶏の解剖学的、生理学および免疫学的特徴を哺乳類と比べながら解説する。さらには養鶏産業の実態などについても触れる。					
授業の一般目標					
獣医師国家試験を充分クリアできるレベルまでの知識を習得させる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 国家試験の出題項目に答えられるか。					
思考・判断の観点: 基礎科目との関連で理解しているか。					
関心・意欲の観点: 臨床関連科目あるいは畜産業と有機的に関連づけて理解しているか。					
態度の観点: 講義に積極的に出席しているか。					
技能・表現の観点: 設問に的確に答えられるか。					
成績評価方法(総合)					
試験成績					
教科書					
カラーマニュアル鳥の病気 第6版 / 鶏病研究会 編: 鶏病研究会, 2006					
参考書					
メッセージ					
集中講義					
連絡先					
集中講義期間以外の連絡先: 鹿児島大学農学部獣医学科病態・予防獣医学講座微生物学分野 099-285-8724					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火5-6	時間割コード	1071103011
開設科目名	獣医放射線学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
放射線を獣医臨床において有効かつ安全に臨床応用するための基礎的知識について解説する。					
授業の一般目標					
まず物質や生体に対する放射線の化学作用や生物作用、放射線の生体への作用・有害作用などについて理解する。また放射線防護に関する基礎的な知識、関連法規を理解する。さらにX線発生装置、付属装置、X線撮影用器材、X線CTなどの基本的な構成などを理解する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
定期試験 = 70%、出席 = 25%、その他 = 5%					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金 1～2	時間割コード	1071103012
開設科目名	獣医放射線学			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	田浦 保穂, 中市 統三, 谷 健二, 板本 和仁			区分	
授業の概要					
<p>獣医臨床(小・大動物)における代表的な疾患を診断する上で必要なX線フィルム読影の知識、各疾患の代表的なX線像、超音波および各種断層撮影(MRI, CT 等)の応用について講述する。</p> <p>また腫瘍性疾患に対する放射線治療の基礎と応用についても講述する。</p> <p>核医学の概要、放射性医薬品、RIによる診断および治療について講述する。</p>					
授業の一般目標					
<p>獣医臨床(小・大動物)に必要なX線フィルム読影の知識、各疾患の代表的なX線像、超音波および各種断層撮影(MRI, CT 等)の応用、放射線治療の基礎と応用、核医学の概要、放射性医薬品、RIによる診断および治療について、理解力と応用力をつけることを目標とする。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 獣医臨床(小・大動物)に必要なX線フィルム読影の知識、各疾患の代表的なX線像、超音波および各種断層撮影(MRI, CT 等)の応用、放射線治療の基礎と応用、核医学の概要、放射性医薬品、RIによる診断および治療について、知識と理解力をつけることを到達目標とする。</p> <p>思考・判断の観点: 獣医臨床(小・大動物)に必要なX線フィルム読影の知識、各疾患の代表的なX線像、超音波および各種断層撮影(MRI, CT 等)の応用、放射線治療の基礎と応用、核医学の概要、放射性医薬品、RIによる診断および治療について、思考力や判断力をつけることを到達目標とする。</p> <p>関心・意欲の観点: 獣医臨床(小・大動物)に必要なX線フィルム読影の知識、各疾患の代表的なX線像、超音波および各種断層撮影(MRI, CT 等)の応用、放射線治療の基礎と応用、核医学の概要、放射性医薬品、RIによる診断および治療について、関心や意欲を持ち維持できるようにすることを到達目標とする。</p> <p>態度の観点: 獣医臨床(小・大動物)に必要なX線フィルム読影の知識、各疾患の代表的なX線像、超音波および各種断層撮影(MRI, CT 等)の応用、放射線治療の基礎と応用、核医学の概要、放射性医薬品、RIによる診断および治療について、真摯な授業態度を示すことを到達目標とする。</p> <p>技能・表現の観点: 獣医臨床(小・大動物)に必要なX線フィルム読影の知識、各疾患の代表的なX線像、超音波および各種断層撮影(MRI, CT 等)の応用、放射線治療の基礎と応用、核医学の概要、放射性医薬品、RIによる診断および治療について、技能をつけることを到達目標とする。</p> <p>その他の観点: 獣医臨床(小・大動物)に必要なX線フィルム読影の知識、各疾患の代表的なX線像、超音波および各種断層撮影(MRI, CT 等)の応用、放射線治療の基礎と応用、核医学の概要、放射性医薬品、RIによる診断および治療について、その他の能力をつけることを到達目標とする。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>出席状況と学期末試験等により総合的な成績評価を行う。田浦、中市が別々に期末試験を行う。それぞれの成績が60%以上を合格とし、成績はそれぞれの点数を1:1の割合で合計し、全体で評点する。</p> <p>定期試験(中間試験と期末試験) = 欠格条件 小テスト/授業内レポート = 欠格条件 宿題/授業外レポート = 欠格条件 授業態度や授業への参加度 = 欠格条件 出席 = 欠格条件</p>					

教科書

獣医臨床放射線学 / Donald E. Thrall 著 ; 菅沼常德, 中間實徳, 広瀬恒夫 訳: 文永堂, 1996
獣医放射線学(核医学) / 柴田 浩, 2000

参考書

獣医臨床放射線学 / Donald E. Thrall 著 ; 菅沼常德, 中間實徳, 広瀬恒夫 訳: 文永堂, 1996

メッセージ**連絡先**

E-mail, nakaichi@yamaguchi-u.ac.jp 電話, 933-5898

E-mail, ytaura@yamaguchi-u.ac.jp 電話, 933-5934

オフィスアワー, 金曜 16:00 ~ 17:30

オフィスアワー

田浦; いる時はいつでも

開設期	前期	曜日時限	水1~4,木1~4	時間割コード	1071103013
開設科目名	臨床実習			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	田浦 保穂, 中尾 敏彦, 中市 統三, 音井 威重, 奥田 優, 佐藤 宏, 谷 健二, 水野 拓也, 板本 和仁, 藤田 志歩, 角川 博哉			区分	
授業の概要					
実際の獣医臨床の場に参加し、患者を前にして、問診、診察、問題点の整理ならびに、検査の選択、診断、治療、予防活動といった一連の診療活動を実際に体験する。					
授業の一般目標					
1) 動物(コンパニオンアニマルおよび産業動物)の一般的診察の方法と、内科および外科的な疾患の診断・治療法を理解する。					
2) 論理的な診断・治療・予防のアプローチの考え方を習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: コンパニオンアニマルおよび産業動物の一般的診療の方法と、内科および外科的な疾患の診断や治療法の理解、論理的な診断・治療・予防のアプローチの考え方の習得を目的に、獣医師と共に、動物医療センターや農業共済組合家畜診療所の実際の患者および附属農場の実習牛での実習を行い、それらの知識や理解することを到達目標とする。					
思考・判断の観点: コンパニオンアニマルおよび産業動物の一般的診療の方法と、内科および外科的な疾患の診断や治療法の理解、論理的な診断・治療・予防のアプローチの考え方の習得を目的に、獣医師と共に、動物医療センターや農業共済組合家畜診療所の実際の患者および附属農場の実習牛での実習を行い、それらについての思考力や判断力をつけることを到達目標とする。					
関心・意欲の観点: コンパニオンアニマルおよび産業動物の一般的診療の方法と、内科および外科的な疾患の診断や治療法の理解、論理的な診断・治療・予防のアプローチの考え方の習得を目的に、獣医師と共に、動物医療センターや農業共済組合家畜診療所の実際の患者および附属農場の実習牛での実習を行い、それらについて関心意欲を示すことを到達目標とする。					
態度の観点: コンパニオンアニマルおよび産業動物の一般的診療の方法と、内科および外科的な疾患の診断や治療法の理解、論理的な診断・治療・予防のアプローチの考え方の習得を目的に、獣医師と共に、動物医療センターや農業共済組合家畜診療所の実際の患者および附属農場の実習牛での実習を行い、それらについての獣医倫理のもと、真摯な態度で診療することを到達目標とする。					
技能・表現の観点: コンパニオンアニマルおよび産業動物の一般的診療の方法と、内科および外科的な疾患の診断や治療法の理解、論理的な診断・治療・予防のアプローチの考え方の習得を目的に、獣医師と共に、動物医療センターや農業共済組合家畜診療所の実際の患者および附属農場の実習牛での実習を行い、それらについての基本的技能向上や飼主とのインフォームドコンセント等コミュニケーションのとり方等をつけることを到達目標とする。					
その他の観点: コンパニオンアニマルおよび産業動物の一般的診療の方法と、内科および外科的な疾患の診断や治療法の理解、論理的な診断・治療・予防のアプローチの考え方の習得を目的に、獣医師と共に、動物医療センターや農業共済組合家畜診療所の実際の患者および附属農場の実習牛での実習を行い、それらに必要と思われるその他の重要なことについて身に付けさせることを到達目標とする。					
成績評価方法(総合)					
宿題 / 授業外レポート = 欠格条件					
授業態度や授業への参加度 = 欠格条件					
受講者の発表(プレゼン)や授業内での製作作業(作品) = 欠格条件					
出席 = 欠格条件					
教科書					
参考書					
メッセージ					
5年生までに学習した内容の総まとめとして実際の患者を診察する。実習に先立ち、これまでの知識の総まとめが必要である。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金 3～4	時間割コード	1071103014
開設科目名	獣医公衆衛生学総論			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	度会 雅久			区分	
授業の概要					
公衆衛生とは、人間集団を対象として、疾病の予防、健康の保持、増進ならびに福祉の向上をはかり、人に人としての肉体的・精神的・社会的機能を発揮させることを目的としている。このような公衆衛生学を獣医学的側面から衛生概念及び疾病を中心に概説する。					
授業の一般目標					
公衆衛生学の概念について習得するため、集団としての人の健康について考察し、これに関わる種々の因子について理解を深める。また、人と動物の共通感染症についても理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 公衆衛生学の概念について、獣医学的側面から説明できる。					
思考・判断の観点: 人獣共通感染症について類別できる。					
成績評価方法(総合)					
定期試験 = 80～100%未満					
小テスト / 授業内レポート = 20%未満					
出席 = 20%未満					
教科書					
獣医公衆衛生学第3版 / 高島郁夫, 熊谷進編: 文永堂出版, 2004					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
watarai@yamaguchi-u.ac.jp					
研究室: 農学部1階					
オフィスアワー					
随時					

開設期	前期	曜日時限	火5-7	時間割コード	1071103015
開設科目名	獣医公衆衛生学実習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	度会 雅久			区分	
授業の概要					
基本的な公衆衛生学検査法を修得することを目的として、牛乳などの食品あるいは飼料について理化学的あるいは生物学的検査を実習する。これらを通じて公衆衛生管理あるいは検査の意義について学ぶ。					
授業の一般目標					
公衆衛生における食品衛生管理の意義を学ぶとともに、基本的な公衆衛生検査法に習熟する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 食品衛生管理の意義を説明できる。					
思考・判断の観点: 検査の判定ができる。					
態度の観点: 協調して実習に参加できる。					
技能・表現の観点: 実習で取り上げた検査ができる。					
成績評価方法(総合)					
小テスト / 授業内レポート 授業態度や授業への参加度 出席					
教科書					
参考書					
獣医公衆衛生学実習第2版 / 勝部泰次監修:学窓社, 2007					
メッセージ					
必ず白衣を着用すること。					
連絡先					
watarai@yamaguchi-u.ac.jp 研究室:農学部1階					
オフィスアワー					
随時					

開設期	前期	曜日時限	月3~4	時間割コード	1071103016
開設科目名	実験雑物理学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	村田 智昭			区分	
授業の概要					
実験雑物理学総論および各論、並びに技術的な最新情報について講義を行う。					
授業の一般目標					
国家試験の合格を最低限の目標、研究所等への就職時における技術的な基礎知識を得る。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 国家試験					
思考・判断の観点: 総合科目としての思考、判断。					
関心・意欲の観点: 講義中の質問。					
態度の観点: 出席。					
技能・表現の観点: 講義中の質問内容。					
成績評価方法(総合)					
出席、試験、等					
教科書					
参考書					
最新実験雑物理学 / 前島一淑、笠井憲雪編 : 朝倉書店, 1998					
メッセージ					
連絡先					
E-mail: ceb@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
原則、毎日、09:30-17:30 まずはメールで。					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071103017
開設科目名	専修獣医伝染病学			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	西垣 一男			区分	
授業の概要					
獣医の対象となる感染症に対して、疫学、病原体、臨床症状、病原体診断、病理診断、治療法、予防法を総合的に学ぶ。					
授業の一般目標					
小動物感染症に対して、正しい知識をもち、冷静な診断、的確な対応ができる獣医教育を目指す。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 小動物感染症に対する予防法・治療法・診断法を総合的に理解するとともに、個々の感染症についての理解を深める。					
思考・判断の観点: 新規に発生した伝染病に対して、正しく診断し、予防・治療できる思考力を高める。					
関心・意欲の観点: 新聞等で話題になっている伝染病に対して深い関心を持ち、正しく情報収集できる意欲を持つ。					
成績評価方法(総合)					
総論終了後の試験および各論終了後の試験で6割以上の成績をとったものは、それらの平均を成績とする。					
教科書					
動物の感染症(第二版) / 多数:近代出版,2006					
参考書					
獣医感染症カラーアトラス(第二版) / 多数:文永堂出版,1999					
メッセージ					
連絡先					
獣医学科感染免疫学研究室					
オフィスアワー					
いつでも					

開設期	前期	曜日時限	金 1~2	時間割コード	1071103018
開設科目名	畜産学概論			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	利部 聡, 角川 博哉			区分	
授業の概要					
学生参加型授業 対話形式の授業					
授業の一般目標					
畜産学の成り立ちを学ぶことから始め、日本の畜産・世界の畜産を概観する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 品種の特徴を家畜別に言える。					
思考・判断の観点: さまざまな立場から思考できること。					
関心・意欲の観点: 社会で起こった畜産関連の事件に関心を持つ					
成績評価方法(総合)					
出席・態度					
教科書					
参考書					
メッセージ					
:					
連絡先					
農学部211 933 - 5910					
オフィスアワー					
金曜 10 時 30 分					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071103019
開設科目名	家畜遺伝学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	都築 政起			区分	
授業の概要					
<p>家畜における、諸形質の遺伝現象を解説し、遺伝の仕組みについて、集団レベル、個体レベル、細胞レベル、分子レベルでの理解を深めることを目標とする。また、遺伝形質の捉えかたを、形態、代謝、分子多型の面から解説し、家畜のゲノム解析への理解を深める。さらに遺伝学の応用としての育種学についても触れる。</p>					
授業の一般目標					
<p>家畜を対象として、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) DNAの分子構造を理解する。 2) 染色体の構造ならびに染色体異常を理解する。 3) 減数分裂を理解し、遺伝の仕組みを理解する。 4) さまざまなメンデル型遺伝様式を理解する。 5) メンデル型以外の遺伝様式を理解する。 6) 古典的ならびに先進的育種法を理解する。 7) 家畜の各品種の特徴を理解する。 					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
試験結果により評価する。					
教科書					
参考書					
<p>新畜産ハンドブック / 扇元敬司: 講談社, 1995 動物遺伝育種学事典 / 動物遺伝育種学事典編集委員会編集: 朝倉書店, 2001 動物遺伝学 / 柏原孝夫, 河本馨, 館岡隆: 文永堂, 2000 鳥類学辞典 / 石居進 [ほか] 編集委員: 昭和堂, 2004</p>					
メッセージ					
<p>人類は、生物集団の多様性を観察し、利用し、文化を発展させて来ました。遺伝学の知識の集積と理解は、私たちの生活文化を、新たな視点から見直すことに通じます。</p>					
連絡先					
オフィスアワー					
1) 集中講義のため、開講中随時					

開設期	前期	曜日時限	火5-7	時間割コード	1071103020
開設科目名	畜産学実習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	利部 聡			区分	
授業の概要					
おもに付属農場で実習する。また、山口県畜産試験場などを見学する。					
授業の一般目標					
(1)獣医学を修めるものとして農業・畜産に関する知識を現場で身につける。 (2)乾草のそばでタバコを吸わない、草地にみだりに入らない等の農家・農地での「歩き方」を学ぶ。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 家畜が何を求めているか想像できること。 関心・意欲の観点: 安全・安心な畜産物を生産することに意欲的になること。 態度の観点: 辛い作業があるが、それから逃げず進んで経験すること。					
成績評価方法(総合)					
出席、実習態度で評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
作業は屋外が中心になるので、内容は天候に左右される。また、見学は相手方の都合もあるので予定通りにはならない。					
連絡先					
連絡先: 農学部北ウイング211号室、電話: 083-933-5910。					
オフィスアワー					
金曜日 11時から12時、その他在室時は随時。					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071103021
開設科目名	畜産物利用学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	岩田 祐之			区分	
授業の概要					
食肉の品質(性状),加工特性を生体における筋肉組織の構造と成分との関連について講義する。さらに,食品としての食肉に必要な要件,すなわち栄養的価値(生理的機能性),美味しさおよび安全性について講義する。					
授業の一般目標					
食肉加工のトータル・コントロール(品質・安全性)の概念について理解を深めることを目標とする					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 食肉の性状を筋肉組織学、筋肉生理学および筋収縮の分子論的観点から説明できるようになることを目標とする。					
食肉加工製品の製造原理を食品化学、食品物理学的に説明できるようになることを目標とする。					
食肉の栄養機能性および安全性に関心を示すようになることを目標とする。					
成績評価方法(総合)					
「全体」出席状況:20%、レポート、小テスト:20%、筆記試験:60%					
知識・理解度および関心度(質疑応答)を中心に評価する。					
教科書					
参考書					
肉の科学 / 沖谷明紘:朝倉書店,1995					
タンパク質の科学 / 鈴木敦士、渡部終五、中川弘毅:朝倉書店,1998					
畜肉とその加工 / 森田重広:建帛社,1982					
メッセージ					
戦後のわが国の平均寿命の驚異的な伸びは、医学・衛生学の進歩とともに、動物性タンパク質摂取量が適正に増加したことに起因している。このタンパク質摂取量の増加に最も貢献したのは食肉である。学生諸君には本講義を通じて食肉の重要性を学んでほしい。					
連絡先					
九州大学大学院農学研究院生物機能化学畜産化学研究室(092-642-2949)					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071103022
開設科目名	牧場実習			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	角川 博哉			区分	
授業の概要					
産業動物等の飼養管理や臨床繁殖について自ら体験実習することにより、教室や大学内実習では得られない体験や理解を深める。					
授業の一般目標					
産業動物等の飼養管理、人工授精や妊娠維持とその管理、分娩等について体験実習する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 動物飼育管理のための多様な着目点					
思考・判断の観点: 動物を様々な角度から観察できる視点。細分化された学問からの知識だけでなく、それを応用する思考や、実際の飼育体系の理解					
関心・意欲の観点: 本実習の目的を理解した積極的な実習先の選択と実習体験					
態度の観点: 動物を飼うことの難しさ、大変さ、上手くいった時の喜びを理解できているかどうか。レポート内容の質と量					
技能・表現の観点: 実際の飼育体系の技能と表現を、現場での知識や知恵もふまえて理解し説明できるようにする					
成績評価方法(総合)					
本実習の目的を理解した実習体験の内容と、レポート内容の質と量で成績を評価する。					
教科書					
参考書					
動物の栄養 / 唐澤豊: 文永堂出版, 2001					
家畜飼育の基礎 / 阿部亮: 農産漁村文化協会, 2008					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木3~4	時間割コード	1071103023
開設科目名	生物統計学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	岩田 祐之			区分	
授業の概要					
基本的な統計的知識を習得し, 統計的数値の取扱法, 検定の原理, 差の検定法, さらに回帰と相関について学ぶ.					
授業の一般目標					
初歩的な生物統計学を学び, 統計的手法を用いてデータ解析できるようになること.					
授業の到達目標					
思考・判断の観点: 統計学的思考ができる.					
関心・意欲の観点: 自習により演習問題を解く.					
成績評価方法(総合)					
宿題: 授業外レポート 80%					
出席 20%					
教科書					
バイオサイエンスの統計学 / 市原清志: 南江堂, 1990					
参考書					
統計的方法 / スネテガー: 岩波書店, 1968					
メッセージ					
連絡先					
hiwata@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071103024
開設科目名	生物化学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	山崎 岳			区分	
授業の概要					
この講義は2年次の「生化学」の内容を受け、まずその復習とヌクレオチドの代謝、生体膜について講義する。ついで細胞間の情報伝達系である内分泌系に付いて基礎的な分子機構を解説し、その実例をやや詳しく学ぶ。 さらに細胞を形作る細胞骨格や筋肉の分子機構、細胞外マトリックスなどについて概説する。					
授業の一般目標					
細胞内の代謝についての的確に理解することを目標とし、すでにくつかの講義で断片的に学習した内容を体系的に再配列し、より深く理解する。 内分泌に関する基礎的な理解を深め、多細胞生物における代謝の調節機構と関連付けて、その異常である疾患の本質を理解する。さらに細胞の構造、形成、分裂の制御などの分子レベルでの理解を目指す					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 膨大な生化学の領域のアウトラインを理解し、将来どのような専門領域に従事してもその分子機構のディテールを学び取れるよう、最も基本的な知識をしっかりと身に付ける。					
思考・判断の観点: 細胞の中で起きている代謝反応の分子レベルでの理解に基づき、その変化や異常に接したときに本質を見抜いて適切な判断と対応が取れるような能力を身に付ける。					
関心・意欲の観点: 自分の体内、動物の体内で起きている様々な現象を分子レベルで説明することを常に心がける。					
成績評価方法(総合)					
講義終了後に課題を課す。その回答(レポート)を採点し、成績を評価する。					
教科書					
ヴォート基礎生化学第二版 / Voet 他:東京化学同人, 2007					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
広島大学 大学院 総合科学研究科 東広島市鏡山 1 - 7 - 1 tel 082-424-6527 fax 082-424-0759 e-mail takey@hiroshima-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	集中	時間割コード	1071103025
開設科目名	フィールド演習			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤間 充			区分	
授業の概要					
鳥取大学, 愛媛大学, 岡山大学および広島大学のフィールド関連施設において, 実習, 講義, 野外調査ならびに施設見学などを行い, 自然と環境, 生物の生態系, 栽培技術などへの理解を深める。実習先は以下の4箇所から1つを選択する。					
<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取大学農学部フィールドサイエンスセンター教育研究林 ・愛媛大学農学部附属農場 ・岡山大学農学部附属津高牧場 ・広島大学生物圏科学研究科附属瀬戸内圏フィールド科学教育センター竹原ステーション 					
授業の一般目標					
実習, 講義, 野外調査および施設見学を通して, 自然と人間との関わり, 生物生態系の重要性, 生物生産と私たちの生活との関わりについて理解することを目標とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 自然と人間との関わり, 生物生態系の重要性, 生物生産と私たちの生活との関わりについて理解する。実習, 実験で得たデータの解析, 発表方法について修得できる。					
思考・判断の観点: 森林と人間の関わり, 果樹の栽培技術と果実成分, 家畜生産管理, 海洋生物の生態などに関する思考が身につく。					
関心・意欲の観点: フィールド関連実習全般について関心を持つようになる。					
技能・表現の観点: 調査方法, 分析方法, データ解析方法および発表方法に関する技術が修得できる。					
成績評価方法(総合)					
講義, 実験, 実習中の取り組み姿勢およびレポート, プレゼンテーションの内容などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火3~4	時間割コード	1072101001
開設科目名	農地環境整備学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	深田 三夫			区分	
授業の概要					
農地は食料生産の場である。講義では最初に農地保全の基礎となる土や水の動きに関する理論を述べる。次に降雨や表面流に対する土壌侵食の特性について述べ、さらに土壌侵食を最小限に食い止め農学的、工学的な保全法について述べる。また、演習としてPCによる演習を行う。					
授業の一般目標					
農地保全の基礎的な概念の把握と、保全のための農学的、工学的な手法を理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 農地を構成する土壌、あるいは栽培の基盤となる土壌を降雨による流出から守るための必要な理論と保全対策方法について理解し、知識を深める。					
思考・判断の観点: 講義で学んだことに対し、問題点を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 土壌保全の重要性について関心をもつ。					
成績評価方法(総合)					
テストの成績,出席で判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
mfukada@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火1~2	時間割コード	1072101003
開設科目名	生物資源環境科学総論			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	高橋 肇			区分	
授業の概要					
<p>農業は、生物を資源として利用し、与えられた環境条件のもとこれら資源生物を栽培・飼育して人間の生活を支える。農学は、この農業に係るすべてのことを総合的に学ぶ実学であり、作物・家畜とこれをとりまく環境についての科学を理解することにより、これらを組み合わせた栽培・飼育技術を学ぶことで、基礎となる農学の素養を身につけることができる。本講義では、農学で学ぶ各研究分野の導入として、農業の背景にある理論に触れ、農学の全容を把握する。</p>					
授業の一般目標					
<p>作物・家畜とこれをとりまく環境についての科学を理解し、これらを組み合わせた栽培・飼育技術を学ぶことで、2年次から始まる専門科目を受けるための基礎的素養を身につける。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 1. 作物・家畜の成立を品種レベルで理解する 2. 気象、土壌、生物といった栽培環境が作物に及ぼす影響を理解する。</p> <p>思考・判断の観点: 1. 農業の現場での栽培・飼育技術がどのような理論のもとに実践されているのかを総合的に判断できる。 2. 与えられた環境でどのような作物栽培・家畜飼育が可能であるかを考え、判断できる。</p> <p>関心・意欲の観点: 1. テストで理解が不足していたことが明らかとなった学習事項について、再学習することで知識を確かなものとする。</p> <p>態度の観点: 1. 一年を通じて地道にコツコツと学び続けることができる。 2. 前回の授業を復習して、新たな学習に備えることができる。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>前週までの講義内容を習得したかどうかを確認しながら、講義をすすめていく。このため、毎週 講義開始から5分間の小テスト(7点満点)を行い、これらと期末テストとの総合計点(100点満点)により成績を評価する。欠席・0点以外の答案には再提出により1/2の得点を与える。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
<p>小テストは、前週の講義内容から出題する。講義時間中にヒント(問題文と解答への手引き)を与えるので、注意深く授業を聞くこと。 <再提出の解答方法> 間違った設問についても、正しく修正されれば各回のテストが完全に修正された段階で減点された分の半分の得点を与える。解答は答案の裏面に行うこととし、どの問題を解答したかがわかるよう問題番号と解答枠を作成して、その中に正解を書き込むこと。なお、再々提出は、別紙に正解・不正解に関わらずその回の小テストの問題文、解答文を含めたすべてをまるごと記述して提出する。なお、再提出はプリントに記載された内容を正しく理解してもらうことを目的とすることから、プリント中の正解部分を正確に書き写したことを確認して正解とする。</p>					
連絡先					
<p>内線5840, 農学部128室, E-mail: tadashit@yamaguchi-u.ac.jp</p>					
オフィスアワー					
<p>月~金曜日 7:00~8:00 月・火・木・金曜日 12:00~12:30</p>					

開設期	後期	曜日時限	金 5-6	時間割コード	1072101004
開設科目名	生態学			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	細井 栄嗣			区分	
授業の概要					
生態学の基礎について講義する。					
授業の一般目標					
生物と環境の間の作用に関するさまざまな事象について、高年次における学習・研究に結びつくような基礎知識を身につける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: さまざまな生態学的概念について専門用語を用いて説明できる。					
思考・判断の観点: 農業や自然界での諸問題について生態学的概念を用いて考察できる。					
成績評価方法(総合)					
小テスト、期末試験によって評価する。出席が70%に満たない者は不可とする。					
教科書					
参考書					
生態学キーンノート / Mackenzie 他: シュプリンガー・フェアラーク東京, 2001					
生態学入門 / 日本生態学会(編): 東京化学同人, 2004					
生態学 / Begon 他: 京都大学学術出版会, 2003					
メッセージ					
指示がない限り授業中にパソコンや携帯電話を使用しないこと					
連絡先					
細井栄嗣 居室: 農学部1階 126 号室					
オフィスアワー					
随時					

開設期	後期	曜日時限	金 7～8	時間割コード	1072101005
開設科目名	応用情報処理学			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	荊木 康臣			区分	
授業の概要					
自然現象の理解を深めるために数理科学の基礎をコンピュータを利用して学ぶことで、高年次での学習・研究において役立つツールとしての情報処理に関する知識と技術の習得をめざす。					
授業の一般目標					
高年次における学習・研究で利用する情報処理知識および技術を身に付ける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1) 高年次における学習・研究で利用する情報処理知識を習得する。2) 単位の重要性を理解する。					
思考・判断の観点: 1) 与えられたデータに対し適切な解析法を選択できる。2) データを正しく評価できる。					
関心・意欲の観点: 自然現象のメカニズムを考えようとする姿勢を身につける。					
技能・表現の観点: 1) 表計算ソフトを利用して基本的なデータ解析を行うことができる。2) WWW を利用して学術的な情報を収集できる。					
成績評価方法(総合)					
出席と授業内レポート					
教科書					
参考書					
メッセージ					
ノートパソコンを必ず持参。毎回課される演習課題はメールで提出。					
連絡先					
ibaraki@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 総合研究棟 2 階 206 号室または農学部 1 階 131 号室					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木3~4	時間割コード	1072101006
開設科目名	農業経済学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	糸原 義人			区分	
授業の概要					
<p>経済を理解するためには、経済人の合理的仮定から出発する。生産者は利潤最大化を追求する経済主体であり、消費者は満足度最大化を目指す経済主体である。この仮説を基に、需要曲線、供給曲線を導き、市場メカニズム、貿易自由化の是非について解説を試みる。また、農業経済の時事情報についても時に応じて紹介する。</p>					
授業の一般目標					
<p>市場経済とは何か、その中で食料生産、食料消費がどのような原理・原則で行われるのか、また貿易の自由化が何故促進されるのか、こうした原理原則の理解を基本的な授業目標とする。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 1. 経済分析ツールとしての需要曲線と供給曲線の成立過程、その形状の意味を理解する。 2. 生産消費等の経済活動は価格を媒介として変動することを理解する。 3. 複雑な経済現象を、単純化してその本質を見る目を養う。</p> <p>思考・判断の観点: 1. 経済現象を需要曲線、供給曲線を使って説明できる。 2. 社会の動きを経済的な目で批評できること。</p> <p>関心・意欲の観点: 1. 現実の社会経済活動に関心を持ち、その原因を追求する意欲を持つこと。</p> <p>態度の観点: 1. 社会が急激にグローバル化しつつある中で、日本経済の正しいあり方を常に模索する態度を求める。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>1) 毎回出席を取り、評価する(10%)。 2) 適宜レポートを課し、評価する(20%)。 3) 定期試験を行う(70%)。</p>					
教科書					
参考書					
<p>農業経済学 / 土屋圭造: 東洋経済新報社, 1997 テキストブック経済学 / 大石泰彦他: 有斐閣, 1977</p>					
メッセージ					
<p>継続は力です。授業に出席し、多くの知識、情報を身につけて下さい。</p>					
連絡先					
<p>gbb_50@yamaguchi-u.ac.jp</p>					
オフィスアワー					
<p>部屋にいるときはいつでも。</p>					

開設期	後期	曜日時限	木1~2	時間割コード	1072101008
開設科目名	植物栄養・肥料学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤間 充			区分	
授業の概要					
植物の生長に必要な養分の概要とその吸収過程、肥料による養分の供給、肥料の種類、肥料による環境負荷について講義する。					
授業の一般目標					
植物は生長する過程において種々の養分を必要としている。特に人為的に管理された圃場において栽培する作物は、安定した収量を確保するために肥料として養分を供給することが不可欠である。現在の増加し続ける世界人口を養うために、肥料の重要性は今後更に増大していくものである。 本講義では、作物に必要な養分とその機能、作物による養分吸収過程などの植物の生理作用と、肥料による養分供給という作物生産の基盤となる技術について理解することを目標とする。さらに肥料による環境への負荷について理解し、近代農業の功罪と持続可能な農業生産について考察できることを期待する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 植物の養分の重要性およびその供給について理解する。					
思考・判断の観点: 作物生産に適切な施肥技術を判断できる。					
態度の観点: 復習及び自主学習を行なう。					
技能・表現の観点: 学習内容を的確に文章で表現できる					
成績評価方法(総合)					
授業中に行う小テスト、定期試験およびレポートにより、講義内容の理解度を総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
連絡先: 農学部附属農場 メールアドレス: mtoma@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
火、木曜日 11:50-12:50					

開設期	後期	曜日時限	火1~2	時間割コード	1072101009
開設科目名	応用昆虫学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	小林 淳			区分	
授業の概要					
地球上で最も繁栄している昆虫の環境適応能力を理解するために必要な基礎知識として、昆虫の遺伝学、生理・生化学および病理学を、分子レベルから個体・集団などのマクロなレベルまで包括的に説明し、それらの知識を応用した昆虫管理および昆虫利用技術を紹介する。					
授業の一般目標					
昆虫の遺伝学、生理・生化学、病原学に関する基礎知識を理解し、昆虫管理および昆虫利用の現状と課題に対する認識を深める。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 昆虫の遺伝現象、生理・生化学反応、病原微生物に関する基礎的な知識を身につける。					
思考・判断の観点: 昆虫の個体・集団レベルの現象の根底にある分子メカニズムを説明できる。					
関心・意欲の観点: 農業における昆虫管理および昆虫利用の現状に関心を持ち、問題点やその解決法を議論できる。					
成績評価方法(総合)					
1. 授業内容の理解度をみる小テスト。2. 学習内容の応用力を試す宿題。3. 期末試験。以上を、下記の観点・割合で評価する。なお、出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。					
教科書					
応用昆虫学の基礎 / 中筋房夫ほか: 朝倉書店, 2000					
参考書					
昆虫生理生態学 / 河野義明, 田付貞洋: 朝倉書店, 2007					
昆虫学大事典 / 三橋淳編: 朝倉書店, 2003					
新応用昆虫学 三訂版 / 斎藤哲夫ほか: 朝倉書店, 1998					
メッセージ					
連絡先					
koba-jun@yamaguchi-u.ac.jp					
農学部 328 号室					
オフィスアワー					
木曜日 17:00-19:00					

開設期	後期	曜日時限	水3～4	時間割コード	1072101010
開設科目名	植物病理学			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	伊藤 真一			区分	
授業の概要					
<p>植物病理学は、植物の病気の原因を探り、病気がおこるメカニズムや、病気の伝染方法を明らかにし、病気を防ぐさまざまな技術を研究することによって、作物生産の向上に寄与することを目的とする学問分野である。植物病理学が取り扱う範囲は極めて広く、関連する学問領域も基礎から応用まで多岐にわたる。このため、植物病理学は「植物の健康と生産性に関する総合科学」ともよばれる。この授業では、植物の病気に関する基礎的事項を中心に植物病理学の全体像を紹介する。</p>					
授業の一般目標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 植物病を引き起こす病原体に関する基礎知識を修得する。 2. 植物と病原体の相互関係に関する基礎知識を修得する。 3. 植物病の診断・予防・防除に関する基礎知識を修得する。 					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 1. 主な植物病原体について特徴を説明できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 病原体に対する植物の抵抗性について説明できる。 3. 病原体の感染様式について説明できる。 4. 植物病の診断・予防・防除について説明できる。 <p>思考・判断の観点: 植物病の原因と対策について、現状と問題点を指摘できる。</p> <p>関心・意欲の観点: 授業の内容でどの部分がわからないのか表明できる。</p>					
成績評価方法(総合)					
出席が所定回数に達しない場合は単位を与えない。レポートを課す場合がある。					
教科書					
参考書					
<p>最新植物病理学 / 奥田誠一ほか: 朝倉書店, 2004</p> <p>植物病理学 / 大木理: 東京化学同人</p>					
メッセージ					
連絡先					
<p>e-mail: shinsan@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>TEL: 083-933-5846</p>					
オフィスアワー					
332号室 木曜日 17:00-20:00					

開設期	後期	曜日時限	月1~2	時間割コード	1072101011
開設科目名	農業気象学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	山本 晴彦			区分	
授業の概要					
農作物あるいは植物と気象との関わりについて、気象学、微気象学、気候と農業生産、気象災害、気象情報の5つの項目に大別し、その概要を講義する。また、近年、問題となっている地球温暖化、ヒートアイランド現象などについても講義する。					
授業の一般目標					
1. 一般気象学の概要を理解する。2. 微気象学の概要を理解する。3. 気候と農業生産の概要を理解する。4. 気象災害を個別に理解する。5. 気象情報の概要を理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1. 一般気象学の概要を理解できる。					
2. 微気象学の概要を理解できる。					
3. 気候と農業生産の概要を理解できる。					
4. 気象災害を個別に理解できる。					
5. 気象情報の概要を理解できる。					
思考・判断の観点: 1. 地域の気候の違いを判断できる。					
2. 微気象学の概念を思考できる。					
3. 異常気象が農業生産に及ぼす影響を思考できる。					
4. 気象災害を個別に判断できる					
5. 気象情報の利活用が思考・判断できる。					
関心・意欲の観点: 1. 毎日の気象・季節の移り変わりに関心をもつ。					
2. 異常気象が農業生産に及ぼす影響について、関心をもつ。					
3. 世界各地で起こっている気象災害について関心をもつ。					
4. 日常生活で、気象情報の利活用について、関心をもつ。					
態度の観点: 1. 世界各地で起こっている気象災害についての問題点を感じる。					
2. 農業生産現場における気象災害の回避・減災技術の問題点を感じる。					
技能・表現の観点: 1. 農業生産現場における気象災害の発生状況を診断ができる。					
成績評価方法(総合)					
期末試験を実施する(100点満点)。以上を下記の観点・割合で評価する。なお、出席が所定の回数(2/3)に満たない者には単位を与えない。					
教科書					
参考書					
耕地環境の計測・制御―役立つ新しい解説書 / 山本晴彦ほか: 養賢堂, 2001					
環境物理生物学 / 山本晴彦ほか: 森北出版, 2003					
メッセージ					
授業に関する質問はメール(yamaharu@yamaguchi-u.ac.jp)でも受け付ける。					
連絡先					
山本晴彦(5833)					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水1~2	時間割コード	1072101012
開設科目名	農業水利学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	深田 三夫			区分	
授業の概要					
水が農業でどのように使われているかを概観し、農業生産における水利用に関する現象や問題について述べる。土の中や水利施設の水の動きに関する基本的法則とそれをつかさどる施設の構造や組織を中心として述べる。					
授業の一般目標					
水の動きを支配する基本法則を理解する。農業用利水施設の構造、水利システムを理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 水の動きを支配する基本法則を理解する。					
思考・判断の観点: 講義で学んだことに対し、問題点を指摘できる。					
関心・意欲の観点: かんがいや排水の重要性について関心をもつ。					
成績評価方法(総合)					
テストの成績, 出席で判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
mfukada@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金 3～4	時間割コード	1072101013
開設科目名	園芸学			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	山内 直樹, 執行 正義			区分	
授業の概要					
<p>果実・野菜はビタミン、無機質および機能性成分などの供給源として我々の食生活に欠かすことができない。また、物の豊かさよりも心の豊かさが強く求められる現代社会において、ゆとりと安らぎを与える花は日常生活に欠かすことができないものとなってきている。本講義では、野菜園芸、花き園芸、果樹園芸を網羅するかたちで、基礎から応用まで幅広く諸事項を解説する。</p>					
授業の一般目標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 野菜・花卉・果樹園芸学の基本的な事項について理解するとともに、園芸学の各領域の概要と課題を理解する。 2. 現代農業がかかえる問題について関心をもち、主体的に考えることができる。 					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 園芸学の各領域の概要と課題を理解する。</p> <p>思考・判断の観点: 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べるができる。</p> <p>関心・意欲の観点: 園芸に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。</p> <p>態度の観点: 日常生活の中で園芸生産の問題について主体的に考えることができる。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>期末テスト、小テストおよびレポートなどにより総合的に評価する。</p>					
教科書					
参考書					
<p>野菜園芸学 / 金浜耕基編: 文永堂出版, 2007</p> <p>園芸生理学 / 山木昭平編: 文永堂出版, 2007</p> <p>花卉園芸 / 今西英雄: 文永堂出版, 2000</p> <p>果樹園芸 / 志村 勲ら: 文永堂出版, 1999</p> <p>図説野菜新書 / 矢澤佳編著: 朝倉書店, 2003</p>					
メッセージ					
<p>講義中の私語は厳禁します。真剣に学ぼうとしている方の迷惑になります。</p>					
連絡先					
<p>shigy@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 農学部本館南棟 330 号室</p> <p>yamauchi@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 農学部本館南棟 330 号室</p>					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金 1～2	時間割コード	1072101014
開設科目名	環境計測学			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	山本 晴彦, 荊木 康臣			区分	
授業の概要					
植物の生育環境の基礎である気象環境の計測法、植物の光合成・蒸散作用、地上分光計測、リモートセンシング、地理情報システムについて学習する。					
授業の一般目標					
植物の生育環境の基礎である気象環境の計測法、植物の光合成・蒸散作用、地上分光計測、リモートセンシング、地理情報システムについて理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 気象環境の計測法、植物の光合成・蒸散作用、地上分光計測、リモートセンシング、地理情報システムを理解する。					
思考・判断の観点: 気象環境の計測法、植物の光合成・蒸散作用、地上分光計測、リモートセンシング、地理情報システムを用いて、思考・判断が出来る。					
関心・意欲の観点: 気象環境の計測法、植物の光合成・蒸散作用、地上分光計測、リモートセンシング、地理情報システムについての関心・意欲が増す。					
態度の観点: 気象環境の計測法、植物の光合成・蒸散作用、地上分光計測、リモートセンシング、地理情報システムについての興味が増す。					
技能・表現の観点: 気象環境の計測法、植物の光合成・蒸散作用、地上分光計測、リモートセンシング、地理情報システムを利活用することが出来る。					
成績評価方法(総合)					
期末テストの成績により評価する。1/3以上欠席した学生は、単位を認めない。					
教科書					
参考書					
耕地環境の計測・制御―役立つ新しい解説書 / 山本晴彦ほか: 養賢堂, 2001					
環境物理生物学 / 山本晴彦ほか: 森北出版, 2003					
メッセージ					
連絡先					
山本晴彦(5833)、荊木康臣(5864)					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火3~4	時間割コード	1072101015
開設科目名	農地保全学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	深田 三夫			区分	
授業の概要					
農地は食料生産の場である。講義では最初に農地保全の基礎となる土や水の動きに関する理論を述べる。次に降雨や表面流に対する土壌侵食の特性について述べ、さらに土壌侵食を最小限に抑止する農学的、工学的な保全法について述べる。また、演習としてPCによる演習を行う。					
授業の一般目標					
農地保全の基礎的な概念の把握と、保全のための農学的、工学的な手法を理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 農地を構成する土壌、あるいは栽培の基盤となる土壌を降雨による流出から守るための必要な理論と保全対策方法について理解し、知識を深める。					
思考・判断の観点: 講義で学んだことに対し、問題点を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 土壌保全の重要性について関心をもつ。					
成績評価方法(総合)					
テストの成績, 出席で判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
mfukada@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月3~4	時間割コード	1072101016
開設科目名	作物学汎論			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	丹野 研一			区分	
授業の概要					
イネをはじめとして麦類、マメ類、イモ類、雑穀、工芸作物、飼料作物にいたる様々な作物について、生理・生態的特性と栽培技術・利用法等を紹介する。イネと各作物の比較を通してそれぞれの特徴を概観する。					
授業の一般目標					
各種作物における生育、栽培、利用・加工などの特性を学び、理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 作物各種について生育、栽培、利用の特性を理解する。					
思考・判断の観点: 各作物の特性を知ることによって実際の栽培・利用に役立てることができる。					
関心・意欲の観点: 各作物の特性を理論的に把握することで、生産実体について関心を持つ。					
態度の観点: 農作物の生産と消費に関する諸問題について主体的に考えることができる。					
成績評価方法(総合)					
前週までの講義内容を習得したかどうかを確認しながら、講義をすすめてゆく。このため基本的に毎週、講義開始時に小テストを行い、これらと期末テストとの合計により成績を評価する。					
教科書					
参考書					
作物学()食用作物編 / 石井龍一ほか:文永堂出版					
作物学()工芸・飼料作物編 / 石井龍一ほか:文永堂出版					
メッセージ					
連絡先					
農学部 1F130 号室					
オフィスアワー					
水曜日 12:30-13:30					

開設期	後期	曜日時限	金 1~2	時間割コード	1072101017
開設科目名	家畜飼養管理学			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	角川 博哉			区分	
授業の概要					
家畜飼養の場では、エネルギー代謝に対する十分な理解の基に過肥や削瘦の無い健康的な管理をすることをはじめ、疾病を予防し生産性を高めるための広範囲な知識が求められる。また消費者から安全・安心な畜産物生産を強く求められている事も念頭におく必要がある。家畜飼養についての知識体系は、ペットや野生動物と接するための土台にもなる。					
授業の一般目標					
健康に様々な家畜を飼養し安全・安心な畜産物生産に導くための、共通の基本原則と共に、代表的な家畜毎の特徴や、大きく影響する環境等の要因を、体系的に学習する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 健康に様々な家畜を飼養し安全・安心な畜産物生産に導くための、共通の基本原則と共に、代表的な家畜毎の特徴や、大きく影響する環境等の要因を理解する。					
思考・判断の観点: 動物を様々な角度から観察できる視点、生理学や栄養学などの知識を基にした、科学的あるいは社会的に理にかなう飼育体系についての思考と判断					
関心・意欲の観点: 動物の体の外や中で何が起きているのか、また古くからの人間との関わり合いに関心をもち、将来への展開に関心をもつ					
態度の観点: 動物を飼うことの難しさ、大変さ、上手くいった時の喜びへの理解					
技能・表現の観点: 生理学や栄養学などの知識を基に、科学的あるいは社会的に理にかなう飼育体系の技能と表現を説明できるようにする					
成績評価方法(総合)					
期末試験で成績を評価する。成績には出席を加味する。					
教科書					
家畜飼育の基礎 / 阿部亮:農産漁村文化協会, 2008					
参考書					
動物の栄養 / 唐澤豊:文永堂出版, 2001					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木1~2	時間割コード	1072101018
開設科目名	植物病管理学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	田中 秀平			区分	
授業の概要					
農作物(植物)の病気の防除の基本的考え方と方法、およびイネをはじめとする主要作物の病害の特徴と診断法、発生生態、防除法について解説する。					
授業の一般目標					
各種農作物の主要病害の診断、発生生態および防除技術について基礎知識を修得することを目的とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 主要な農作物の病害について、図鑑等を参考にしながら症状に基づいた診断ができる。					
主要な農作物の病害について、発生の原因と条件および防除対策の概要を示すことができる。					
関心・意欲の観点: 農作物の病害の発生と防除対策の問題を通じて農家の状況、農業の在り方、食料の安全性、地球環境問題などに広く目を向け、関心を深める。					
成績評価方法(総合)					
定期試験において知識・理解・思考・判断、関心・意欲を重視(80%)、小テスト(出欠調査兼質問表)において関心・意欲を重視(10%)、授業外レポートにより思考・判断および関心・意欲を重視(10%)して全体の評価を行う。					
教科書					
参考書					
植物防疫講座一病害編一第3版 / 植物防疫講座 第3版編集委員会: 日本植物防疫協会, 1997					
植物病理学 / 大木 理 : 東京化学同人, 2007					
植物医科学 / 難波成任: 養賢堂, 2008					
だれでもできる果樹の病害虫防除ーラクして減農薬 / 田代暢哉: 農文協, 2007					
メッセージ					
毎回、講義の最後に質問表を提出させ、次回の講義の始めに質問に対する回答と解説をする。遅刻をしないこと。					
連絡先					
農学部 3F-331 号室 (TEL 933-5845)					
オフィスアワー					
毎週月曜日 午後 12:00-17:00					

開設期	後期	曜日時限	水1~2	時間割コード	1072101019
開設科目名	生物環境調節工学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	荊木 康臣			区分	
授業の概要					
環境制御型の植物生産システムの概要を、1)環境要因が植物の生育に及ぼす影響、2)植物の生育環境を制御する方法、3)植物に関する情報を取得する方法(植物の状態を観る手法)、4)植物生育環境に関する情報を取得する方法、という面から論じる。					
授業の一般目標					
環境制御型の植物生産システムの概要および環境要因の評価法と植物生育モニタリング手法の基礎を学ぶ。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1)光、温度、ガス環境の植物生育への影響を説明できる。2)栽培施設の種類とその特徴を説明できる。3)葉温測定に基づくストレス診断の原理を説明できる。4)クロロフィル蛍光による光合成能評価の原理が説明できる。5)光合成・蒸散速度の測定方法を理解する。6)生育モデルの基礎を理解する。					
思考・判断の観点: 1)植物生育環境における環境要因の評価に適切な単位を用いることができる。2)チャンバー法による植物のガス交換速度が計算できる。					
関心・意欲の観点: 1)単位の重要性を認識する。2)現象のモデル化に興味をもつ					
成績評価方法(総合)					
出席およびレポート					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
ibaraki@yamaguchi-u.ac.jp 研究室:総合研究棟2階206号室または農学部1階131号室					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	集中	時間割コード	1072101020
開設科目名	生物生産科学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	田中 秀平			区分	
授業の概要					
山口県農林水産部職員を講師に招き、山口県農業の現状と課題、農林行政の役割と業務、試験研究の課題と業務などについて講義を話を聞く、また、山口県農林総合技術センター(旧農業試験場)訪問し、試験研究の現場を見学し、取組みの状況や成果について説明を受ける。					
授業の一般目標					
山口県(及び日本の)農業の現状と課題や農林行政・試験研究の課題と業務内容について理解を深めるを通じ、日頃大学で学んでいる各授業科目の意義と意味を実感を伴って理解するとともに、進路選択(就職)の際の参考とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 山口県(及び日本の)農業の現状と課題や農林行政・試験研究の課題と業務内容の概要が理解できる。					
思考・判断の観点: 農林行政機関の職員の業務のやりがいや生産現場(農家)の要望や気持ちを想像することができる。					
関心・意欲の観点: 講義や説明の内容に関心を持ち、積極的に質問をしたり、自分の意見を述べることができる。					
成績評価方法(総合)					
原則として、全ての講義・見学に出席し、毎回レポートを提出すること(欠格条件)。出席(60%)、授業内レポート(10%)、授業外レポート(30%)。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
オリエンテーションで日程等を説明するので必ず出席すること。出席しない場合は受講者とみなさない。オリエンテーションの日程は事前に掲示で知らせる。					
連絡先					
農学部3F(331号室)TEL 933-5845					
オフィスアワー					
毎週月曜日 12:00-17:00					

開設期	後期	曜日時限	火5~7,木5~7	時間割コード	1072101021
開設科目名	実践農場実習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤間 充, 荒木 英樹			区分	
授業の概要					
2年生前期を対象に開講される基礎農場実習では、水稲や果樹の栽培管理を教材に農場での栽培管理に必要な基礎的な知識を培った。後期に開講される本実習では、農場での生産活動に必要なより実践的な技術について学び体験する。なお、本実習はより専門的かつ発展的・実践的な実習課題を提供するため、定員を最大25名程度とする。定員の決定については、前期の後半に受講希望を調査する					
授業の一般目標					
水田や果樹園での冬季管理を習得する。水稲や果樹に加え、冬作野菜や施設園芸など栽培する種目の枠を広げ、それらの栽培管理に関する原理と方法を習得する。農場で生産活動を行うために必要な土作り、病虫害管理、生産物の出荷・調整に関わる技術や知識を深めることにより、農場での生産活動全般を理解できるようになる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 実際の生産活動を経験することによって、作物学、園芸学、土壌学、植物病理学、昆虫学など講義で学習した内容への理解を深める					
思考・判断の観点: 講義で学習した内容が、どのような形で現場の技術に応用されているのかを考察する。					
関心・意欲の観点: 農業の現場の様々な現象について討議できる。					
態度の観点: 協働で作業を行う学生や農場職員と協調的に作業を行う。					
技能・表現の観点: 農場での生産活動に不可欠な基礎的技術を習得する。					
成績評価方法(総合)					
レポート、実習への参加態度、出席を総合して評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
実習は附属農場で行う。					
連絡先					
連絡先: 農学部附属農場					
メールアドレス: mtoma@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
火、木曜日 11:50-12:50					

開設期	後期	曜日時限	金 3～4	時間割コード	1072101022
開設科目名	細胞生化学			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	内海 俊彦			区分	
授業の概要					
細胞及び生体膜の構造と機能について概説し、細胞間及び細胞内情報伝達機構について最近のトピックスを例に挙げながら解説する。					
授業の一般目標					
近年のライフサイエンス分野の中心課題となっている「細胞情報伝達機構」に関する基礎知識を修得することを目的とし、「細胞」の起源、進化の概要を理解し、さらに、細胞および細胞膜の構造と機能の概要を理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 細胞、細胞膜の起源、進化の概要を理解する。 細胞、細胞膜の構造と機能の概要を理解する。					
関心・意欲の観点: ライフサイエンスに関連した最近のトピックスに関心を持ち、それを分子レベル、細胞レベルで理解する習慣をつける。					
成績評価方法(総合)					
出席および期末試験の成績を総合して評価する。					
教科書					
Biochemistry / Jeremy M. Berg, John L. Tymoczko, Lubert Stryer : New York : W.H. Freeman , 2002					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					
随時					

開設期	後期	曜日時限	月3~4	時間割コード	1072101023
開設科目名	情報生化学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	山田 守			区分	
授業の概要					
様々な生命現象の急速な解明によって、生化学は多岐にわたる各論的な知見が増加している。本授業では要点を絞って、生命の基本機構である複製、転写、翻訳等の生化学について概説する。					
授業の一般目標					
生化学分野で生物の情報に関わる細胞の複製、転写、翻訳について基本的な分子機構を理解し、修得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 細胞の複製、転写、翻訳過程を分子的に理解させる。					
思考・判断の観点: 遺伝情報と細胞活動を結びつける思考を構築する。					
関心・意欲の観点: 様々な細胞活動の中心となる遺伝情報に興味をもたせる。					
態度の観点: 遅刻なしに出席し、集中して授業に参加する。					
成績評価方法(総合)					
小テストおよび出席によって評価する。					
教科書					
Biochemistry, 6th ed. / Jeremy M. Berg, John L. Tymoczko, and Lubert Stryer, W. H. : W.H. Freeman and Company, 2006					
参考書					
Biochemistry, 2nd ed. / D. Voet and J. G. Voet : John Wiley & Sons, Inc., 1999					
Harper's Biochemistry, 25th ed. / R. K. Murray et al., : Appleton & Lange, 2000					
メッセージ					
原著の教科書を用いるため特に予習復習が不可欠となる。					
場合によって小テストを土曜日に行うことがある。なお、授業内レポートは実施しない。					
連絡先					
083-933-5869					
オフィスアワー					
月曜日から金曜日までの 16:00 から 17:00(会議で不在の場合あり)					

開設期	後期	曜日時限		時間割コード	1072101024
開設科目名	卒業論文			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	進藤 晴夫			区分	
授業の概要					
各研究分野において、具体的な研究課題に取り組み、結果を論文としてまとめるとともに、発表を行う。					
授業の一般目標					
実際の農学・生命科学の一端に触れ、研究課題の発掘、計画の立案、研究の進め方、研究結果の見方、考え方、論文作成や研究発表の方法を身に付ける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 既往の研究を調査し、自分のテーマと関係づける。					
研究テーマを進行するために必要な材料、方法を説明できる。					
思考・判断の観点: 自らが行った実験、調査の結果から、新たに得られた知見、問題点を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 研究結果に関して討議できる。					
態度の観点: 主体性を持って実験、調査を行う。					
技能・表現の観点: 研究結果に関するプレゼンテーションを行う。					
成績評価方法(総合)					
論文および発表内容などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限		時間割コード	1072101025
開設科目名	卒業論文			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	山内 直樹			区分	
授業の概要					
各研究分野において、具体的な研究課題に取り組み、結果を論文としてまとめるとともに、発表を行う。					
授業の一般目標					
実際の農学・生命科学の一端に触れ、研究課題の発掘、計画の立案、研究の進め方、研究結果の見方、考え方、論文作成や研究発表の方法を身に付ける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 既往の研究を調査し、自分のテーマと関係づける。					
研究テーマを遂行するために必要な材料、方法を説明出来る。					
思考・判断の観点: 自らが行った実験、調査の結果から、新たに得られた知見、問題点を指摘出来る。					
関心・意欲の観点: 研究結果に関して討議できる。					
態度の観点: 主体性を持って実験、調査を行う。					
技能・表現の観点: 研究結果に関するプレゼンテーションを行う。					
成績評価方法(総合)					
研究計画、研究内容、実験、研究発表など総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
yamauchi@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
研究室: 農学部3階330号室					
オフィスアワー: 金曜日 午後1時~5時					

開設期	後期	曜日時限		時間割コード	1072101026
開設科目名	卒業論文			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	伊藤 真一			区分	
授業の概要					
分子植物病理学分野の具体的な研究課題に取り組み、結果を論文としてまとめるとともに、発表を行う。					
授業の一般目標					
実際の農学・生命科学の一端に触れ、研究課題の発掘、計画の立案、研究の進め方、研究結果の見方、考え方、論文作成や研究発表の方法を身に付ける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 既往の研究を調査し、自分のテーマと関係づける。研究テーマを遂行するために必要な材料、方法を説明出来る。					
思考・判断の観点: 自らが行った実験、調査の結果から、新たに得られた知見、問題点を指摘出来る。					
関心・意欲の観点: 研究結果に関して討議できる。					
態度の観点: 主体性を持って実験、調査を行う。					
技能・表現の観点: 研究結果に関するプレゼンテーションを行う。					
成績評価方法(総合)					
研究計画を立案、遂行し、結果をまとめる過程、および口頭発表について、総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限		時間割コード	1072101027
開設科目名	卒業論文			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	山本 晴彦			区分	
授業の概要					
各研究分野において、具体的な研究課題に取り組み、結果を論文としてまとめるとともに、発表を行う。					
授業の一般目標					
実際の農学・生命科学の一端に触れ、研究課題の発掘、計画の立案、研究の進め方、研究結果の見方、考え方、論文作成や研究発表の方法を身に付ける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 既往の研究を調査し、自分のテーマと関係づける。					
研究テーマを遂行するために必要な材料、方法を説明出来る。					
思考・判断の観点: 自らが行った実験、調査の結果から、新たに得られた知見、問題点を指摘出来る。					
関心・意欲の観点: 研究結果に関して討議できる。					
態度の観点: 主体性を持って実験、調査を行う。					
技能・表現の観点: 研究結果に関するプレゼンテーションを行う。					
成績評価方法(総合)					
研究計画を立案、遂行し、結果を論文にまとめるとともに、口頭発表を行い、総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限		時間割コード	1072101028
開設科目名	卒業論文			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	小林 淳			区分	
授業の概要					
研究分野において、具体的な研究課題に取り組み、結果を論文としてまとめるとともに、発表を行う。					
授業の一般目標					
実際の農学・生命科学の一端に触れ、研究課題の発掘、計画の立案、研究の進め方、研究結果の見方、考え方、論文作成や研究発表の方法を身に付ける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 既往の研究を調査し、自分のテーマと関係づける。					
研究テーマを遂行するために必要な材料、方法を説明出来る。					
思考・判断の観点: 自らが行った実験、調査の結果から、新たに得られた知見、問題点を指摘出来る。					
関心・意欲の観点: 研究結果に関して討議できる。					
態度の観点: 主体性を持って実験、調査を行う。					
技能・表現の観点: 研究結果に関するプレゼンテーションを行う。					
成績評価方法(総合)					
研究計画立案、遂行、論文作成および口頭発表を総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
koba-jun@yamaguchi-u.ac.jp 農学部 328 号室					
オフィスアワー					
木曜日 17:00 19:00					

開設期	後期	曜日時限	時間割コード	1072101029
開設科目名	卒業論文		単位	6単位
対象学生			学年	~
担当教員	高橋 肇		区分	
授業の概要				
卒業論文では、教員の指導のもと作物学の最先端の研究を体験・担当する。授業では、研究テーマを検討するところから始まり、作物試験計画を設計し、圃場での作物試験を実施する。播種に始まり、圃場管理、収穫までの試験圃場の管理を担当しながら、サンプリング調査を通じて、圃場から作物のデータを収集する。採取したサンプルは、乾物重や葉面積、収量、収量構成要素を測定するとともに、化学分析により可溶性炭水化物含量や窒素含有率などを調査する。また、生育期間中、作物の生長点の変化を調査し、作物を観察することで、開花期や成熟期といった生育ステージを決定する。これらデータは、圃場調査終了後、集計して図や表に結果としてまとめる。さらに、得られた成果に関連する文献を調査し、これまでの研究背景に対して卒業論文研究で得られた成果がどのような位置付けにあるかを考えながら、成果に対し考察を加える。これら成果を文章にまとめることで、卒業論文を完成させる。				
授業の一般目標				
授業では、研究の立案にはじまり、圃場試験の実施、サンプリングと化学分析によるデータの採取、データ集計と関連文献の検索、成果の考察といった一連の研究を体験し、研究の成果を文書にまとめることを目指す。卒業論文を通じて、仕事の成果を文書にて報告することを体験する。				
授業の到達目標				
知識・理解の観点: 1. 立案、計画、実施、まとめといった一連の研究の進め方を体験する。 2. 研究成果を文書にて報告することを体験する。				
思考・判断の観点: 1. 卒論研究で得られた成果を解釈し、文書にて公表する。 2. 研究室の先輩による研究成果を引き継ぎ、新たな知見を加えて後輩へと受け渡す。				
関心・意欲の観点: 1. 担当教員の指導のもとで、自身で研究を立案、計画、実施、まとめて、文書にて報告する。				
態度の観点: 1. 卒業論文の完成・発表に向けて、コツコツと研究を積み重ねることができる。				
成績評価方法(総合)				
日々の積み重ねによりデータを収集して図表にまとめ、文章を執筆したことで卒業論文が完成しているか(80点)、卒業論文にまとめたことをプレゼンテーションにより公表できているか(20点)、について評価する。				
教科書				
参考書				
メッセージ				
連絡先				
内線 5840, 農学部 128 室, E-mail: tadashit@yamaguchi-u.ac.jp				
オフィスアワー				
月～金曜日 7:00～8:00 月・火・木・金曜日 12:00～12:30				

開設期	後期	曜日時限		時間割コード	1072101030
開設科目名	卒業論文			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	田中 秀平			区分	
授業の概要					
各研究分野において、具体的な研究課題に取り組み、結果を論文としてまとめるとともに、発表を行う。					
授業の一般目標					
実際の農学・生命科学の一端に触れ、研究課題の発掘、計画の立案、研究の進め方、研究結果の見方、考え方、論文作成や研究発表の方法を身に付ける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 既往の研究を調査し、自分のテーマと関係づける。					
研究テーマを遂行するために必要な材料、方法を説明出来る。					
思考・判断の観点: 自らが行った実験、調査の結果から、新たに得られた知見、問題点を指摘出来る。					
関心・意欲の観点: 研究結果に関して討議できる。					
態度の観点: 主体性を持って実験、調査を行う。					
技能・表現の観点: 研究結果に関するプレゼンテーションを行う。					
成績評価方法(総合)					
研究に対する姿勢、研究結果、論文のまとめ方などに基づきを総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
農学部 3F (331 号室)					
オフィスアワー					
毎週月曜日 12:00-17:00					

開設期	後期	曜日時限		時間割コード	1072101031
開設科目名	卒業論文			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	細井 栄嗣			区分	
授業の概要					
各研究分野において、具体的な研究課題に取り組み、結果を論文としてまとめるとともに、発表を行う。					
授業の一般目標					
実際の農学・生命科学の一端に触れ、研究課題の発掘、計画の立案、研究の進め方、研究結果の見方、考え方、論文作成や研究発表の方法を身に付ける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 既往の研究を調査し、自分のテーマと関係づける。					
研究テーマを遂行するために必要な材料、方法を説明出来る。					
思考・判断の観点: 自らが行った実験、調査の結果から、新たに得られた知見、問題点を指摘出来る。					
関心・意欲の観点: 研究結果に関して討議できる。					
態度の観点: 主体性を持って実験、調査を行う。					
技能・表現の観点: 研究結果に関するプレゼンテーションを行う。					
成績評価方法(総合)					
総合的な評価を行う					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
細井栄嗣 居室:農学部1階 126号室					
オフィスアワー					
随時					

開設期	後期	曜日時限		時間割コード	1072101032
開設科目名	卒業論文			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	執行 正義			区分	
授業の概要					
各研究分野において、具体的な研究課題に取り組み、結果を論文としてまとめるとともに、発表を行う。					
授業の一般目標					
実際の農学・生命科学の一端に触れ、研究課題の発掘、計画の立案、研究の進め方、研究結果の見方、考え方、論文作成や研究発表の方法を身に付ける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 既往の研究を調査し、自分のテーマと関係づける。 研究テーマを遂行するために必要な材料、方法を説明出来る。					
思考・判断の観点: 自らが行った実験、調査の結果から、新たに得られた知見、問題点を指摘出来る。					
関心・意欲の観点: 自らが行った実験、調査の結果から、新たに得られた知見、問題点を指摘出来る。					
態度の観点: 研究結果に関して討議できる。					
技能・表現の観点: 主体性を持って実験、調査を行う。					
その他の観点: 研究結果に関するプレゼンテーションを行う。					
成績評価方法(総合)					
論文の内容だけでなく、研究に取り組む姿勢や日頃の努力を総合的に判断して評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
E-mail: shigyo@yamaguchi-u.ac.jp 研究室の場所: 農学部執行研究室(農学部本館南棟 330号室)					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限		時間割コード	1072101033
開設科目名	卒業論文			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	竹松 葉子			区分	
授業の概要					
各研究分野において、具体的な研究課題に取り組み、結果を論文としてまとめるとともに、発表を行う。					
授業の一般目標					
実際の農学・生命科学の一端に触れ、研究課題の発掘、計画の立案、研究の進め方、研究結果の見方、考え方、論文作成や研究発表の方法を身に付ける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 既往の研究を調査し、自分のテーマと関係づける。 研究テーマを遂行するために必要な材料、方法を説明出来る。					
思考・判断の観点: 自らが行った実験、調査の結果から、新たに得られた知見、問題点を指摘出来る。					
関心・意欲の観点: 研究結果に関して討議できる。					
態度の観点: 主体性を持って実験、調査を行う。					
技能・表現の観点: 研究結果に関するプレゼンテーションを行う。					
成績評価方法(総合)					
研究の立案、遂行、結果のまとめ及び最終的な口頭発表により総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
takematu@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	時間割コード	1072101034
開設科目名	卒業論文		単位	6単位
対象学生			学年	~
担当教員	糸原 義人		区分	
授業の概要				
具体的な研究課題に取り組み、結果を論文としてまとめるとともに、発表を行う。				
授業の一般目標				
実際の農学・生命科学の一端に触れ、研究課題の発掘、計画の立案、研究の進め方、研究結果の見方、考え方、論文作成や研究発表の方法を身に付ける。				
授業の到達目標				
知識・理解の観点: 既往の研究を調査し、自分のテーマと関係づける。 研究テーマを遂行するために必要な材料、方法を説明出来る。				
思考・判断の観点: 自らが行った調査、データ収集の結果から、新たに得られた知見、問題点を指摘出来る。				
関心・意欲の観点: 研究結果に関して討議できる。				
態度の観点: 主体性を持って実験、調査を行う。				
技能・表現の観点: 研究結果に関するプレゼンテーションを行う。				
成績評価方法(総合)				
ゼミへの参加と調査・研究調査発表を重視する。				
教科書				
参考書				
メッセージ				
連絡先				
gbb_50@yamaguchi-u.ac.jp				
オフィスアワー				

開設期	後期	曜日時限		時間割コード	1072101035
開設科目名	卒業論文			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	深田 三夫			区分	
授業の概要					
農地保全分野を研究テーマとし、文献調査、実験あるいは調査研究を行って論文としてまとめる。					
授業の一般目標					
自分でテーマを選択し、問題を解決していくなかで調査方法、実験手法や論文としてまとめ、口頭発表する力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書や学術論文の内容について、要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書や学術論文の内容について、課題や方法論に係る問題点を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 卒業研究テーマの遂行と問題点が探索できるようになる。					
成績評価方法(総合)					
参加態度・参加度、出席、論文の内容などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限		時間割コード	1072101036
開設科目名	卒業論文			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	宇佐見 晃一			区分	
授業の概要					
農業経営学あるいは農業経済学等の研究分野において、具体的な研究課題に取り組み、結果を論文としてまとめるとともに、発表を行う。					
授業の一般目標					
実際の農学・生命科学の一端に触れ、研究課題の発掘、計画の立案、研究の進め方、研究結果の見方、考え方、論文作成や研究発表の方法を身に付ける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 既往の研究を調査し、自分のテーマと関係づける。 研究テーマを遂行するために必要な材料、方法を説明出来る。					
思考・判断の観点: 自らが行った実験、調査の結果から、新たに得られた知見、問題点を指摘出来る。					
関心・意欲の観点: 研究結果に関して討議できる。					
態度の観点: 主体性を持って実験、調査を行う。					
技能・表現の観点: 研究結果に関するプレゼンテーションを行う。					
成績評価方法(総合)					
卒業論文の内容、卒業論文発表、そして卒業論文作成過程での質疑応答等を総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
usami329@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
火曜日 13:00 ~ 15:00(農学部 236号室)					

開設期	後期	曜日時限		時間割コード	1072101037
開設科目名	卒業論文			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	荊木 康臣			区分	
授業の概要					
生物環境情報工学研究分野において、具体的な研究課題に取り組み、結果を論文としてまとめるとともに、発表を行う。					
授業の一般目標					
実際の農学・生命科学の一端に触れ、研究課題の発掘、計画の立案、研究の進め方、研究結果の見方、考え方、論文作成や研究発表の方法を身に付ける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 既往の研究を調査し、自分のテーマと関係づける。 研究テーマを遂行するために必要な材料、方法を説明出来る。					
思考・判断の観点: 自らが行った実験、調査の結果から、新たに得られた知見、問題点を指摘出来る。					
関心・意欲の観点: 研究結果に関して討議できる。					
態度の観点: 主体性を持って実験、調査を行う。					
技能・表現の観点: 研究結果に関するプレゼンテーションを行う。					
成績評価方法(総合)					
卒業研究への取り組み方、セミナーでの発表、卒論発表会での発表、提出されて卒業研究論文などを総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限		時間割コード	1072101038
開設科目名	卒業論文			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	鈴木 賢士			区分	
授業の概要					
各研究分野において、具体的な研究課題に取り組み、結果を論文としてまとめるとともに、発表を行う。					
授業の一般目標					
実際の農学・生命科学の一端に触れ、研究課題の発掘、計画の立案、研究の進め方、研究結果の見方、考え方、論文作成や研究発表の方法を身に付ける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 既往の研究を調査し、自分のテーマと関係づける。 研究テーマを遂行するために必要な材料、方法を説明出来る。					
思考・判断の観点: 自らが行った実験、調査の結果から、新たに得られた知見、問題点を指摘出来る。					
関心・意欲の観点: 研究結果に関して討議できる。					
態度の観点: 主体性を持って実験、調査を行う。					
技能・表現の観点: 研究結果に関するプレゼンテーションを行う。					
成績評価方法(総合)					
卒業研究への取り組みならびに卒業論文およびそのプレゼンテーションを評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
E-mail: kenjis @yamaguchi-u.ac.jp 内線 5834					
オフィスアワー					
在室中随時(総合研究棟 205 号室)					

開設期	後期	曜日時限		時間割コード	1072101039
開設科目名	卒業論文			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤間 充			区分	
授業の概要					
各研究分野において、具体的な研究課題に取り組み、結果を論文としてまとめるとともに、発表を行う。					
授業の一般目標					
実際の農学・生命科学の一端に触れ、研究課題の発掘、計画の立案、研究の進め方、研究結果の見方、考え方、論文作成や研究発表の方法を身に付ける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 既往の研究を調査し、自分のテーマと関係づける。					
研究テーマを遂行するために必要な材料、方法を説明出来る。					
思考・判断の観点: 自らが行った実験、調査の結果から、新たに得られた知見、問題点を指摘出来る。					
関心・意欲の観点: 研究結果に関して討議できる。					
態度の観点: 主体性を持って実験、調査を行う。					
技能・表現の観点: 研究結果に関するプレゼンテーションを行う。					
成績評価方法(総合)					
研究課題への取り組み、研究室での討論、論文、口頭発表を総合して判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限		時間割コード	1072101040
開設科目名	卒業論文			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	荒木 英樹			区分	
授業の概要					
各研究分野において、具体的な研究課題に取り組み、結果を論文としてまとめるとともに、発表を行う。					
授業の一般目標					
実際の農学・生命科学の一端に触れ、研究課題の発掘、計画の立案、研究の進め方、研究結果の見方、考え方、論文作成や研究発表の方法を身に付ける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 既往の研究を調査し、自分のテーマと関係づける。 研究テーマを遂行するために必要な材料、方法を説明出来る。					
思考・判断の観点: 自らが行った実験、調査の結果から、新たに得られた知見、問題点を指摘出来る。					
関心・意欲の観点: 研究結果に関して討議できる。					
態度の観点: 主体性を持って実験、調査を行う。					
技能・表現の観点: 研究結果に関するプレゼンテーションを行う。					
成績評価方法(総合)					
研究計画を立案の精度、水耕できた仕事内容、結果をまとめた論文の精度を評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	1072101041
開設科目名	科学英語			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	進藤 晴夫			区分	
授業の概要					
土壌科学に係る外国語論文や外国語教科書を紹介し、討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書や学術論文の講読や輪読を通して、卒業研究で必要となる英語読解力及び専門力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書や学術論文の内容について要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書や学術論文の内容について、課題や方法論に係わる問題点等を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 学術論文の基本的枠組みを理解し、卒業研究のテーマの探索・決定に役立てる。					
成績評価方法(総合)					
テストの成績、授業態度・授業への参加度、出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
農学部 326 号室 アドレス: shindo@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	1072101042
開設科目名	科学英語			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	山内 直樹			区分	
授業の概要					
園芸利用学に関係する外国語論文や外国語教科書を紹介し、討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書や学術論文の講読や輪読を通して、卒業研究で必要となる英語読解力及び専門力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書や学術論文の内容について、要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書や学術論文の内容について、課題や方法論に係る問題点を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 学術研究の基本的枠組を理解し、卒業研究テーマの探索・決定に役立てる。					
成績評価方法(総合)					
テストの成績、授業態度・授業への参加度、出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
yamauchi@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
研究室: 農学部本館3階 330号室					
オフィスアワー: 金曜日 午後1時~5時					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	1072101043
開設科目名	科学英語			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	伊藤 真一			区分	
授業の概要					
分子植物病理学に関する外国語論文や外国語教科書を紹介し、討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書や学術論文の講読や輪読を通して、卒業研究で必要となる英語読解力及び専門力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書や学術論文の内容について、要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書や学術論文の内容について、課題や方法論に係る問題点等を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 学術研究の基本的枠組を理解し、卒業研究テーマの探索・決定に役立てる。					
成績評価方法(総合)					
テストの成績、授業態度・授業への参加度、出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	1072101044
開設科目名	科学英語			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	山本 晴彦			区分	
授業の概要					
環境情報学に関係する外国語論文や外国語教科書を紹介し、討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書や学術論文の講読や輪読を通して、卒業研究で必要となる英語読解力及び専門力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書や学術論文の内容について、要約し説明できる					
思考・判断の観点: 専門書や学術論文の内容について、課題や方法論に係る問題点を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 学術研究の基本的枠組を理解し、卒業研究テーマの探索・決定に役立てる。					
成績評価方法(総合)					
テストの成績、授業態度・授業への参加度、出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	1072101045
開設科目名	科学英語			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	小林 淳			区分	
授業の概要					
分子昆虫学関係する外国語論文や外国語教科書を紹介し、討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書や学術論文の講読や輪読を通して、卒業研究で必要となる英語読解力及び専門力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書や学術論文の内容について、要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書や学術論文の内容について、課題や方法論に係る問題点等を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 学術研究の基本的枠組を理解し、卒業研究テーマの探索・決定に役立てる。					
成績評価方法(総合)					
テストの成績、授業態度・授業への参加度、出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
koba-jun@yamaguchi-u.ac.jp 農学部 328 号室					
オフィスアワー					
木曜日 17:00 19:00					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	1072101046
開設科目名	科学英語			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	高橋 肇			区分	
授業の概要					
作物学に関係する外国語論文や外国語教科書を紹介し、討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書や学術論文の講読や輪読を通して、卒業研究で必要となる英語読解力及び専門力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書や学術論文の内容について、要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書や学術論文の内容について、課題や方法論に係る問題点等を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 学術研究の基本的枠組を理解し、卒業研究テーマの探索・決定に役立てる。					
成績評価方法(総合)					
テストの成績、授業態度・授業への参加度、出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
内線5840, 農学部128室, E-mail: tadashit@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
月~金曜日 7:00~8:00 月・火・木・金曜日 12:00~12:30					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	1072101047
開設科目名	科学英語			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	田中 秀平			区分	
授業の概要					
植物病理学に関係する外国語論文や外国語教科書を紹介し、討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書や学術論文の講読や輪読を通して、卒業研究で必要となる英語読解力及び専門力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書や学術論文の内容について、要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書や学術論文の内容について、課題や方法論に係る問題点を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 学術研究の基本的枠組みを理解し、卒業研究テーマの探索・決定に役立てる。					
成績評価方法(総合)					
テストの成績、授業態度・授業の参加度、出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
農学部3F(331号室)					
オフィスアワー					
毎週月曜日 12:00-17:00					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	1072101048
開設科目名	科学英語			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	細井 栄嗣			区分	
授業の概要					
応用動物生態学分野に關係する外国語論文や外国語教科書を紹介し、討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書や学術論文の講読や輪読を通して、卒業研究で必要となる英語読解力及び専門力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書や学術論文の内容について、要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書や学術論文の内容について、課題や方法論に係る問題点等を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 学術研究の基本的枠組を理解し、卒業研究テーマの探索・決定に役立てる。					
成績評価方法(総合)					
テストの成績、授業態度・授業への参加度、出席などを総合的に判断する。					
教科書					
Mammalogy 4th edition / Vaughan 他: Saunders College Publishing, 2000					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
細井栄嗣 居室: 農学部1階 126号室					
オフィスアワー					
随時					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	1072101049
開設科目名	科学英語			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	執行 正義			区分	
授業の概要					
園芸学に関係する外国語論文や外国語教科書を紹介し、討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書や学術論文の講読や輪読を通して、卒業研究で必要となる英語読解力及び専門力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書や学術論文の内容について、要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書や学術論文の内容について、課題や方法論に係る問題点を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 学術研究の基本的枠組を理解し、卒業研究テーマの探索・決定に役立てる。					
成績評価方法(総合)					
テストの成績、授業態度・授業への参加度、出席などを総合的に判断する。					
教科書					
Horticultural Science Fourth Edition / Jules Janick: W.H. Freeman and Company, 2001					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
shigyo@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 農学部本館南棟 330 号室					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	1072101050
開設科目名	科学英語			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	竹松 葉子			区分	
授業の概要					
昆虫学分野に關係する外国語論文や教科書を紹介し、討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書や学術論文の講読や輪読を通して、卒業研究で必要となる英語読解力及び専門力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書や学術論文の内容について、要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書や学術論文の内容について、課題や方法論に係る問題点を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 学術論文の基礎的枠組を理解し、卒業研究テーマの探索・決定に役立てる。					
成績評価方法(総合)					
テストの成績、授業態度、授業への参加度、出席等を総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
takematu@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	1072101051
開設科目名	科学英語			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	糸原 義人			区分	
授業の概要					
地域経営管理学、農業経済学、農学一般に関する外国語論文や外国語教科書を紹介し、討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書や学術論文の講読や輪読を通して、卒業研究で必要となる英語読解力及び専門力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書や学術論文の内容について、要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書や学術論文の内容について、課題や方法論に係る問題点を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 学術研究の基本的枠組を理解し、卒業研究テーマの探索・決定に役立てる。					
成績評価方法(総合)					
テストの成績、授業態度・授業への参加度、出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	1072101052
開設科目名	科学英語			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	深田 三夫			区分	
授業の概要					
農地保全に関する外国語論文や外国語教科書を紹介し、討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書や学術論文の講読や輪読を通して、卒業研究で必要となる英語読解力及び専門力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書や学術論文の内容について、要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書や学術論文の内容について、課題や方法論に係る問題点等を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 学術研究の基本的枠組を理解し、卒業研究テーマの探索・決定に役立てる。					
成績評価方法(総合)					
テストの成績、授業態度・授業への参加度、出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	1072101053
開設科目名	科学英語			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	宇佐見 晃一			区分	
授業の概要					
農業経営学に關係する外国語論文や外国語教科書を紹介し、討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書や学術論文の講読や輪読を通して、卒業研究で必要となる英語読解力及び専門力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書や学術論文の内容について、要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書や学術論文の内容について、課題や方法論に係る問題点を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 学術研究の基本的枠組みを理解し、卒業研究テーマの探索・決定に役立てる。					
成績評価方法(総合)					
テストの成績、授業態度、授業への参加、出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
usami329@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
火曜日 13:00 ~ 15:00 (宇佐見研究室 農学部 236 号室)					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	1072101054
開設科目名	科学英語			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	荊木 康臣			区分	
授業の概要					
生物環境情報工学に関する外国語論文や外国語教科書を紹介し、討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書や学術論文の講読や輪読を通して、卒業研究で必要となる英語読解力及び専門力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書や学術論文の内容について、要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書や学術論文の内容について、課題や方法論に係る問題点を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 学術研究の基本的枠組を理解し、卒業研究テーマの探索・決定に役立てる。					
成績評価方法(総合)					
テストの成績、授業態度・授業への参加度、出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	1072101055
開設科目名	科学英語			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	鈴木 賢士			区分	
授業の概要					
大気環境学に関係する外国語論文や外国語教科書を紹介し、討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書や学術論文の講読や輪読を通して、卒業研究で必要となる英語読解力及び専門力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書や学術論文の内容について、要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書や学術論文の内容について、課題や方法論に係る問題点等を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 学術研究の基本的枠組を理解し、卒業研究テーマの探索・決定に役立てる。					
成績評価方法(総合)					
テストの成績、授業態度・授業への参加度、出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
E-mail: kenjis @yamaguchi-u.ac.jp					
内線 5834					
オフィスアワー					
在室中(随時(総合研究棟 205 号室))					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	1072101056
開設科目名	科学英語			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤間 充			区分	
授業の概要					
土壌科学に關係する外国語論文や外国語教科書を紹介し討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書や学術論文の購読や輪読を通して、卒業論文研究で必要となる英語読解力及び専門力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書や学術論文の内容について、要約し説明出来る。					
思考・判断の観点: 専門書や学術論文の内容について、課題や方法論に係る問題点を指摘出来る。					
関心・意欲の観点: 学術研究の基本的枠組を理解し、卒業研究テーマの探索・決定に役立てる。					
成績評価方法(総合)					
テストの成績、授業態度・授業への参加度、出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	1072101057
開設科目名	科学英語			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	荒木 英樹			区分	
授業の概要					
作物学に関する外国語論文や外国語教科書を紹介し、討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書や学術論文の講読や輪読を通して、卒業研究で必要となる英語読解力及び専門力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書や学術論文の内容について、要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書や学術論文の内容について、課題や方法論に係る問題点等を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 学術研究の基本的枠組を理解し、卒業研究テーマの探索・決定に役立てる。					
成績評価方法(総合)					
テストの成績、授業態度・授業への参加度、出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	1072101058
開設科目名	科学英語			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	丹野 研一			区分	
授業の概要					
農業および生命科学に関する外国語論文や外国語教科書を紹介し、討論する。					
授業の一般目標					
英語で書かれた専門書や学術論文の講読や輪読を通して、卒業研究で必要となる英語読解力及び専門力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書や学術論文の内容について、要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書や学術論文の内容について、課題や方法論に係る問題点等を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 学術研究の基本的枠組を理解し、卒業研究テーマの探索・決定に役立てる。					
成績評価方法(総合)					
テストの成績、授業態度・授業への参加度、出席などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金 3～4	時間割コード	1072102001
開設科目名	細胞生化学			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	内海 俊彦			区分	
授業の概要					
細胞及び生体膜の構造と機能について概説し、細胞間及び細胞内情報伝達機構について最近のトピックスを例に挙げながら解説する。					
授業の一般目標					
近年のライフサイエンス分野の中心課題となっている「細胞情報伝達機構」に関する基礎知識を修得することを目的とし、「細胞」の起源、進化の概要を理解し、さらに、細胞および細胞膜の構造と機能の概要を理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 細胞、細胞膜の起源、進化の概要を理解する。 細胞、細胞膜の構造と機能の概要を理解する。					
関心・意欲の観点: ライフサイエンスに関連した最近のトピックスに関心を持ち、それを分子レベル、細胞レベルで理解する習慣をつける。					
成績評価方法(総合)					
出席および期末試験の成績を総合して評価する。					
教科書					
Biochemistry / Jeremy M. Berg, John L. Tymoczko, Lubert Stryer: New York : W.H. Freeman , 2002					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					
随時					

開設期	後期	曜日時限	月3~4	時間割コード	1072102002
開設科目名	情報生化学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	山田 守			区分	
授業の概要					
様々な生命現象の急速な解明によって、生化学は多岐にわたる各論的な知見が増加している。本授業では要点を絞って、生命の基本機構である複製、転写、翻訳等の生化学について概説する。					
授業の一般目標					
生化学分野で生物の情報に関わる細胞の複製、転写、翻訳について基本的な分子機構を理解し、修得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 細胞の複製、転写、翻訳過程を分子的に理解させる。					
思考・判断の観点: 遺伝情報と細胞活動を結びつける思考を構築する。					
関心・意欲の観点: 様々な細胞活動の中心となる遺伝情報に興味をもたせる。					
態度の観点: 遅刻なしに出席し、集中して授業に参加する。					
成績評価方法(総合)					
小テストおよび出席によって評価する。					
教科書					
Biochemistry, 6th ed. / Jeremy M. Berg, John L. Tymoczko, and Lubert Stryer, W. H. : W.H. Freeman and Company, 2006					
参考書					
Biochemistry, 2nd ed. / D. Voet and J. G. Voet : John Wiley & Sons, Inc., 1999					
Harper's Biochemistry, 25th ed. / R. K. Murray et al., : Appleton & Lange, 2000					
メッセージ					
原著の教科書を用いるため特に予習復習が不可欠となる。					
場合によって小テストを土曜日に行うことがある。なお、授業内レポートは実施しない。					
連絡先					
083-933-5869					
オフィスアワー					
月曜日から金曜日までの 16:00 から 17:00(会議で不在の場合あり)					

開設期	後期	曜日時限	木3~4	時間割コード	1072102003
開設科目名	蛋白質工学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	阿座上 弘行			区分	
授業の概要					
<p>蛋白質構造構築の基本原理解、蛋白質の構造と機能の関連、細胞内における蛋白質の構造形成(フォールディング)の分子機構を明らかにする。こうした知識をもとにして、有用蛋白質の大腸菌、酵母、植物での発現、分泌の基本的原理を理解させ、遺伝子工学による蛋白質の機能改変のための分子設計について述べる。</p>					
授業の一般目標					
<p>蛋白質構造構築の基本原理解、蛋白質の構造と機能の関連、細胞内における蛋白質の構造形成(フォールディング)の分子機構を明らかにする。こうした知識をもとにして、有用蛋白質の大腸菌、酵母、植物での発現、分泌の基本的原理を理解させ、遺伝子工学による蛋白質の機能改変のための分子設計について述べる。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
3分の2以上出席した者のみを成績評価の対象とする。毎回の小テストの結果を考慮しながら、期末定期試験の結果で成績を評価する。					
教科書					
参考書					
タンパク質工学の基礎 / 松澤 洋: 東京化学同人, 2004					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金 1~2	時間割コード	1072102004
開設科目名	酵素化学			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	薬師 寿治			区分	
授業の概要					
酵素とはなにか？ 酵素の化学的性質や代謝との関わりについて触れる。酵素反応のメカニズムや反応速度論を基礎に、酵素反応の阻害剤や阻害機構、活性調節機構について紹介する。最後に私たちの暮らしと酵素の接点について紹介する。					
授業の一般目標					
酵素の化学的性質や代謝との関わりを理解し、酵素反応のメカニズムや反応速度論を基礎に、酵素反応の阻害剤や阻害機構、活性調節機構を理解する。特に、本講義で紹介する酵素や酵素反応の諸問題が、生命機能の発現や発現調節にどのように関わっているのかを理解することを目標とする。一方で、私たちの生活に酵素や酵素反応がどのように関わっているのかについても理解する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
基本的には期末試験の成績によって評価するが、講義への参加態度も評価に加える。出席は必須であるが、評価の対象にはしない。					
教科書					
Biochemistry 6th edition / Jeremy M. Berg, John L. Tymoczko, & Lubert Stryer: W. H. Freeman & Company, 2007					
参考書					
Brock Biology of Microorganisms 11th edition / Michael T. Madigan & John M. Martinko: Pearson Prentice Hall, 2006					
メッセージ					
「生物物理化学」を履修しておく事が望ましい。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水3~4	時間割コード	1072102005
開設科目名	微生物機能化学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	松下 一信			区分	
授業の概要					
微生物の機能、特にその細胞表層での機能(主に、細胞分裂、抗生物質作用、膜輸送、シグナル伝達機構、細菌運動性など)に関連した生化学的理解を最近の進歩を含めて説明するとともに、微生物機能の応用となる発酵産業およびバイオテクノロジー分野の発展につても説明する。					
授業の一般目標					
本授業内容に関連した分野の知識や研究成果を自らの手で調査し、理解できるようになることを目標としている。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
発表内容により評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水1~2	時間割コード	1072102006
開設科目名	生体反応制御学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	古賀 大三			区分	
授業の概要					
遺伝子発現からタンパク質合成及び適材適所への移動までと、その後分解に至るまでを学ぶ。さらに、種々の生命現象を例にとり生体反応制御について解説する。					
授業の一般目標					
生命現象を静的な物質だけで捉えるのではなく、動的に時間の流れで捉えることを目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席と2回のテストにより評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水1~2	時間割コード	1072102007
開設科目名	環境適応生理学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	宮田 浩文			区分	
授業の概要					
様々な刺激(環境の変化、生体行動の変化、等)に対する適応について論じる。特に、骨格筋とその支配神経(運動ニューロン)を取り上げ、神経と筋の基本的な構造と機能およびその可塑性を概説する。					
授業の一般目標					
行動の企画・発生に関わるニューロンと筋細胞の構造機能を理解し、自分の問題として細胞レベルの適応変化を理解できるようにする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1. 細胞の基本構造と機能を説明できる。 2. 細胞の適応変化を説明できる。					
思考・判断の観点: 1. 適応変化の過程と結果を推察できる。 2. 適応変化に必要な刺激を考察できる。					
関心・意欲の観点: 1. 身の回りの生物機能について感心を示す。					
態度の観点: 1. 分かっていないことに関する疑問を具体的に提示することができる。					
成績評価方法(総合)					
出席状況(授業中レポート)と最終試験で評価する。					
教科書					
参考書					
運動生理学 20 講(第2版) / 勝田茂編著:朝倉書店, 1999					
メッセージ					
遅刻、私語、飲食は厳禁					
連絡先					
hiro@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
月曜日午前中					

開設期	後期	曜日時限	金 3～4	時間割コード	1072102008
開設科目名	天然物有機化学			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	赤壁 善彦			区分	
授業の概要					
<p>生命は幾多の化学物質の上に成立している。生命現象を理解しようとするとき、分子どうしの反応性、分子の構造、性質に関する化学的基礎知識が不可欠である。本講義ではこうした観点から有機化学の基礎を簡潔に解析する。なお、本講義は「有機化学」に引き続いて開講されるものである。</p>					
授業の一般目標					
<p>有機化合物の結合や構造および反応を電子、分子軌道、立体化学などの基礎原理から有機化学反応を理解することによって、天然物有機化学の基礎を系統的に身につける。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 有機化合物の構造から、その性質や反応性を説明できる。</p> <p>思考・判断の観点: 天然有機物質の特性や生物現象を分子レベルで見たり、考えることができる。</p> <p>関心・意欲の観点: 生命科学から物質科学までの広い分子の世界に興味を持ち、その基礎を学ぼうとする。</p> <p>態度の観点: 天然物有機化学は、電子論や立体化学などの基礎原理を理解すれば、その基礎を系統的に身につけることができることを実感する。また、それによって生命現象を分子レベルで見たり、考えたりすることができるようになる。</p> <p>技能・表現の観点: 有機化合物の構造からその性質や反応性を理解し、正確な構造式、反応式が書け、的確な専門用語を用い、明快な説明ができる。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>(1) ショートテスト(毎回実施)。</p> <p>(2) 中間試験の実施。</p> <p>(3) 期末試験の実施。</p> <p>以上を下記の観点・割合で評価する。なお、出席が所定の回数に満たない者には、単位を与えない。</p>					
教科書					
<p>マクマリー有機化学概説 第6版 / "John McMurry [著]; 伊東椒, 児玉三明訳": 東京化学同人, 2007</p>					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
<p>農学部本館 412 室</p>					
オフィスアワー					
<p>月 - 金 13時 - 17時</p>					

開設期	後期	曜日時限	水3~4	時間割コード	1072102009
開設科目名	生物有機化学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	松井 健二			区分	
授業の概要					
<p>有機化学は生物現象全般を分子レベルで理解するのに必須の学問分野である。本講義では「マクマリーの有機化学概説」に準拠し、その中で特に生体反応に重要な有機化学の基礎を概説する。なお、本講義は天然物有機化学と合同で開講される。そのため本講義と天然物有機化学の両方を履修する必要がある。</p>					
授業の一般目標					
生体反応の基礎となる化学物質の構造、及びそれらの反応機構に関する理解を深める。					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 基本的な化学物質の構造を理解し、また生体反応に関連する化学反応の機構を理解する。</p> <p>思考・判断の観点: 生体の現象を有機化学の立場から理解しようとする。</p> <p>関心・意欲の観点: 練習問題、課題に積極的に取り組み、復習を十分に行う。</p> <p>態度の観点: 受講者として必要な最低限のモラルを養う。</p>					
成績評価方法(総合)					
授業修得度と、出席、小テスト、レポート、定期試験を総合的に評価する。					
教科書					
マクマリー有機化学概論 / John MacMurry, Eric Simanek: 東京化学同人, 2007					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
農学部南棟4階松井研究室					
オフィスアワー					
随時					

開設期	後期	曜日時限	月3~4	時間割コード	1072102010
開設科目名	環境微生物学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	横山 和平, 藤井 克彦			区分	
授業の概要					
微生物の生化学と生態学を理解し、微生物への人為的インパクトによって生じる環境汚染、逆に微生物の能力を利用した環境修復・浄化の原理を紹介する。					
授業の一般目標					
微生物機能を通じた環境への視点を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 環境中の微生物の動態とその基礎となる生化学的特徴についての知識を得る。					
思考・判断の観点: 個々の微生物の特徴と環境条件から、物質の動態を推察する洞察力を養う。					
成績評価方法(総合)					
出席及び期末テスト					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木1~2	時間割コード	1072102011
開設科目名	環境化学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤井 克彦			区分	
授業の概要					
本講義では、地球や環境問題を理解するための基礎知識を習得するとともに、今日懸念されているいくつかの環境問題をトピックとして挙げ、その発生メカニズムおよび現状等について考察する。					
授業の一般目標					
地球科学および環境問題に関する基礎的知識を習得する。 地球の性質および環境問題の発生機構を科学的知識に基づき理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 環境化学を習得する上で必要な知識・理解力					
思考・判断の観点: 環境化学一般に求められる思考・判断力の養成					
関心・意欲の観点: 環境化学に対する関心・学習意欲					
態度の観点: 環境問題に対する関心・学習意欲					
技能・表現の観点: 環境化学分野で用いられる技能・表現の理解					
成績評価方法(総合)					
授業態度(出欠状況)、試験の成績で評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					
随時					

開設期	後期	曜日時限	集中	時間割コード	1072102012
開設科目名	生物統計学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	中野 裕治			区分	
授業の概要					
データの整理の仕方、さまざまな統計値の求め方とその意味を学ぶ、統計値計算の基本的な演算技術を修得しながら、表計算ソフト Excel のテクニックを学び、生物学の具体的な例を題材にして、統計的推定および検定の基本的な解析方法を習得する。					
授業の一般目標					
1.具体的な生物データが与えられたとき、基本的な統計値の計算ができるようになること。 2.データの種類と目的に応じて適切な検定法を選択し、手順を踏んで検定し、その結果がデータにおいてどのような意味をもつのか解釈できる力を養うこと。 3.目標1,2を実践するために、Excel の基本操作を習得すること。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1.平均、分散、相関係数などの統計値を求め、その意味を理解できるようになる。 2.不確実な現象の構造を、現象の特徴を捉えることにより統計モデルとして表現できるようになる。 3.点推定、区間推定などの統計的推定や、正規検定をはじめさまざまな統計的検定の知識を身につける。					
思考・判断の観点: 純粋数学は 100%正しい論理を用いる。統計学は数学と異なる思考体系であり、経験法則から導かれる論理を含む。統計学を学ぶことで、不確実性にみちた生物データの理解について、より広い思考・判断力を身につけることができる。					
関心・意欲の観点: 授業では、生物統計学ではよく知られた例、たとえば「メンデルの法則」、「タバコと肺がんの因果関係」などを分析する。解析法を知ることにより、これまでに見過ごしてきた生物統計学などの不確実現象に対して関心が高まり、分析する意欲が高まると信じる。					
態度の観点: 統計学における経験法則を学ぶことで、自然界に対する認識が深まり、今後の思考過程、態度が変わると思う。					
技能・表現の観点: 生物の諸現象を確率モデルに表現することが一つの目的であるが、その課程において数学的な技能、データ処理の技術を修得できる。					
その他の観点: 統計学は科学の文法といわれる。将来、どの分野に進もうとも統計分析は必要になるが、本授業で習得した知識、技術が役立つものと考えている。					
成績評価方法(総合)					
出席を重視し、期間中2回程度小試験を行う。最後に行う試験のウェートを80%とする。					
教科書					
参考書					
バイオサイエンスの統計学：正しく活用するための実践理論 / 市原清志; 南江堂, 1990 生物統計学 / Robert R. Sokal, F. James Rohlf; 共立出版, 1983 医学研究のための統計的方法 / P.Armitage, G.Berry; サイエнтиスト, 2005					
メッセージ					
少なくとも、2回は小テストを実施しますので、出席してください。ノートパソコンは、必ず持参してください。					
連絡先					
y-nakano@biwako.shiga-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	集中	時間割コード	1072102013
開設科目名	食品衛生学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	中村 宗一郎			区分	
授業の概要					
<p>食中毒を防止し、健康で豊かな食生活を送るための理論と実践について論ずる。食品衛生法、食品の不可食化、食中毒の発生と予防、食品添加物、表示、HACCP、ホストハーベスト農薬、ダイオキシン、環境ホルモン、環境汚染、BSE、トレーサビリティ、遺伝子組み換え食品などについての情報を提供する。食品の安心・安全論について論じ、食の安全推進アクションプランに基づいた食品の安全保障について考える。新しいタイプの食品の開発及び食品汚染ならびにリスク管理の理論と実際についても解説する。</p>					
授業の一般目標					
<p>食中毒やヒトの健康を害する可能性を未然に防止するための食品のリスク管理、化学的手法及び生物学的手法による調査解析の実際について学び、また新しい食品や食品素材の評価基準や評価法についても学び、安心して安全な食品を確保するための最新かつ重要な知識を獲得する。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 安心して安全な食品を確保するための最新かつ重要な知識を獲得する。</p> <p>思考・判断の観点: 食中毒やヒトの健康を害する可能性を未然に防止するための食品のリスク管理ができるようになる。</p> <p>関心・意欲の観点: 食品衛生管理者あるいは食品衛生監視員になることを将来の職業選択の一つとすることができるようになる。</p> <p>態度の観点: 双方向授業を試みるので、授業への積極的な参加が求められる。</p> <p>技能・表現の観点: プレゼンテーションや小論文(クイズ形式)の提出を求めることもある。</p>					
成績評価方法(総合)					
レポート80点、出席その他(プレゼンテーションやクイズ)20点					
教科書					
参考書					
メッセージ					
市販の教科書は使用しない。					
連絡先					
snakamu@shinshu-u.ac.jp					
オフィスアワー					
質問などにはメールを使用してください。その際には、学籍番号、氏名を明記すること。					
snakamu@shinshu-u.ac.jp					

開設期	後期	曜日時限	集中	時間割コード	1072102014
開設科目名	蛋白質化学実験			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	阿座上 弘行			区分	
授業の概要					
<p>白質化学実験では、(1)蛋白質の分離精製、純度検定、分子量の測定の原理を理解すること、(2)蛋白質の立体構造解析の原理を理解すること、(3)蛋白質の構造安定性の熱力学的解析法を習得することを目標とする。また、フリーテーマでは蛋白質関連の研究テーマの一部を取り出し、興味あるものを選択し、実験を体験させる。</p>					
授業の一般目標					
<p>白質化学実験では、(1)蛋白質の分離精製、純度検定、分子量の測定の原理を理解すること、(2)蛋白質の立体構造解析の原理を理解すること、(3)蛋白質の構造安定性の熱力学的解析法を習得することを目標とする。また、フリーテーマでは蛋白質関連の研究テーマの一部を取り出し、興味あるものを選択し、実験を体験させる。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
授業に対する参加度を考慮しながら、レポートによって評価する					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	集中	時間割コード	1072102015
開設科目名	食糧化学実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	松富 直利			区分	
授業の概要					
食品の構成成分(炭水化物、脂質、蛋白質、ビタミン)を化学的定量分析する。さらに、デンプンに対するアミラーゼの作用機作、加工・保蔵中の脂質の変化を追跡し、食品化学の基礎知識を習得させる。					
授業の一般目標					
食品試料の化学的定量分析技術の習得、とくに滴定分析、比色分析、分光分析法の習得。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 食品分析を通じて、化学反応機構を理解する。また、食品の栄養評価を判断する。					
成績評価方法(総合)					
実験は、手を動かし、頭を働かせることが要求されるゆえ、出席が大前提です。 併せて、プレゼンテーションおよび実験レポートを精査し、総合して成績を評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
原理を理解しながら楽しく					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	集中	時間割コード	1072102016
開設科目名	応用微生物学実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	薬師 寿治			区分	
授業の概要					
微生物学実験で各自分離した微生物を用いて、それらの微生物の生理・生化学実験を行う。これは、分離された微生物の種類（例えば各種アミノ酸資化性菌、抗生物質耐性菌、好熱菌など）によって個々人が異なるテーマで実験をする。					
授業の一般目標					
微生物の単離、培養、同定方法について学ぶ。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
発表またはレポートにより成績評価を行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	集中	時間割コード	1072102017
開設科目名	微生物学実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	松下 一信			区分	
授業の概要					
自然界から特定の微生物を分離し、その純粋培養を行うとともに、それらの分離菌株の同定を行うとともに、分離菌株の生育曲線の作成及び生菌数の測定などを行う。分離する微生物は、引き続き行われる応用微生物学実験に対応して、年々異なり、一人一人が異なる微生物を分離することになる。					
授業の一般目標					
目的とする微生物を自然界より分離し、純粋培養できる能力、さらにそれらの分離菌を同定、生育させ、その生菌数を測定する能力を養う。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
実験の到達度から評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火1~2	時間割コード	1072102018
開設科目名	公衆衛生学各論			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	度会 雅久			区分	
授業の概要					
公衆衛生とは、人間集団を対象として、疾病の予防、健康の保持、増進ならびに福祉の向上をはかり、人に人としての肉体的・精神的・社会的機能を発揮させることを目的としている。このような公衆衛生学を獣医学的側面から食品衛生、環境衛生、動物の保護、管理と公衆衛生を中心に概説する。					
授業の一般目標					
公衆衛生各論では、主に動物由来の食品によって生じる疾病、すなわち、食品由来感染症、食中毒などについて理解し、その予防法について考える。また環境衛生では上・下水衛生、畜産環境について学ぶ。さらに動物の保護・管理の考え方について理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 食品衛生、環境衛生について説明できる。					
思考・判断の観点: 食品由来感染症および食中毒の予防について類別できる。					
成績評価方法(総合)					
定期試験					
宿題・授業外レポート					
出席					
教科書					
獣医公衆衛生学第3版 / 高島郁夫, 熊谷進編: 文永堂出版, 2004					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
watarai@yamaguchi-u.ac.jp					
研究室: 農学部1階					
オフィスアワー					
随時					

開設期	後期	曜日時限	月5-7	時間割コード	1072102019
開設科目名	生物機能科学基礎実験			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	内海 俊彦			区分	
授業の概要					
生物機能科学科の応用実験および卒業論文研究に必要とされる基礎的な実験手法、理論等について系統的に修得する。					
授業の一般目標					
実験を始めるあたりの準備、基本操作にはじまり、物理化学的手法、生化学的手法に至る実験の基礎を系統的に修得することを目的とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 応用実験および卒業論文研究に必要とされる基礎的な実験手法、理論等を修得する。					
関心・意欲の観点: 積極的に実験に取り組む姿勢を身につける。					
成績評価方法(総合)					
各実験の担当教官の評価、及び出席を総合し評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火1~2	時間割コード	1072102020
開設科目名	生物機能科学総論			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	内海 俊彦			区分	
授業の概要					
生物機能科学科で学習する領域や事柄について平易に紹介し、専門課程への動機付けを行う。					
授業の一般目標					
生物機能科学科で学習する領域や事柄について、理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 生物機能科学科で学習する領域や事柄について、理解する。					
思考・判断の観点: 生物機能科学科で学習する領域や事柄の基礎的事項について、有機的に関連付けて考えることができる。					
関心・意欲の観点: 生物機能科学科で学習する領域や事柄について、強い興味を持つ。					
態度の観点: 積極的な態度を示す。					
成績評価方法(総合)					
出席およびコメント・レポート提出を重視する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限		時間割コード	1072102021
開設科目名	卒業論文			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	内海 俊彦			区分	
授業の概要					
学生所属研究室の研究分野に関して特定のテーマを設定し、実験を行い、得られた結果を卒業論文としてまとめる。					
授業の一般目標					
生物機能科学分野の技術者、研究者としての基本的な素養を身につけることを目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
各講座の担当教官の定めた評価基準に従い評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限		時間割コード	1072102022
開設科目名	卒業論文			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	山田 守			区分	
授業の概要					
学生所属研究室の研究分野に関して特定のテーマを設定し、実験を行い、得られた結果を卒業論文としてまとめる。					
授業の一般目標					
生物機能科学分野の技術者、研究者としての基本的な素養を身につけることを目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
各講座の担当教官の定めた評価基準に従い評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
083-933-5869					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限		時間割コード	1072102023
開設科目名	卒業論文			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	松富 直利			区分	
授業の概要					
学生所属研究室の研究分野に関して特定のテーマを設定し、実験を行い、得られた結果を卒業論文としてまとめる。					
授業の一般目標					
生物機能科学分野の技術者、研究者としての基本的な素養を身につけることを目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
各講座の担当教官の定めた評価基準に従い評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限		時間割コード	1072102024
開設科目名	卒業論文			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	松下 一信			区分	
授業の概要					
研究室の研究分野に関して特定のテーマを設定し、実験を行い、得られた結果を卒業論文としてまとめる。					
授業の一般目標					
生物機能科学分野の技術者、研究者としての基本的な素養を身につけることを目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
卒論研究の内容および努力により評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限		時間割コード	1072102025
開設科目名	卒業論文			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	右田 たい子			区分	
授業の概要					
学生所属研究室の研究分野に関して特定のテーマを設定し、実験を行い、得られた結果を卒業論文としてまとめる。					
授業の一般目標					
生物機能科学分野の技術者、研究者としての基本的な素養を身につけることを目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
担当教官の定めた評価基準に従い評価する。 研究テーマに対する探求意欲、データ収集、目的の理解と実験計画の設定、実験の実施、結果の取得とその解析、結論の導出、全体を論文としてまとめる、の全体を通して総合評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
ctmigita@yamaguchi-u.ac.jp Phone & Fax: 083-933-5863					
オフィスアワー					
随時					

開設期	後期	曜日時限		時間割コード	1072102026
開設科目名	卒業論文			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	滝本 晃一			区分	
授業の概要					
入学以来受けた教育の集大成として、植物の遺伝子傷害や修復とその対応遺伝子に関する生理生化学的研究課題を与える。					
授業の一般目標					
未知の課題に取り組み、問題解決の能力や他人への解説能力を養う。					
授業の到達目標					
思考・判断の観点: 考える力をつける					
成績評価方法(総合)					
研究の進行度合いと研究に対する態度から総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限		時間割コード	1072102027
開設科目名	卒業論文			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	小崎 紳一			区分	
授業の概要					
学生所属研究室の研究分野に関して特定のテーマを設定し、実験を行い、得られた結果を卒業論文としてまとめる。					
授業の一般目標					
生物機能科学分野の技術者、研究者としての基本的な素養を身につけることを目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
各講座の担当教官の定めた評価基準に従い評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	時間割コード	1072102028
開設科目名	卒業論文		単位	6単位
対象学生			学年	~
担当教員	赤壁 善彦		区分	
授業の概要				
生体内反応および生物間相互作用の物質レベルでの解析とその応用利用について特定のテーマを設定し、自ら実験を行い、得られた結果を卒業論文としてまとめる。				
授業の一般目標				
有機化学を基本とし、生体内反応および生物間相互作用に関わる生理活性物質の基礎から応用(工業化)までを系統的に身につける。				
授業の到達目標				
知識・理解の観点: 有機化合物の化学構造から、その物質の生理活性や生成について説明できる。				
思考・判断の観点: あらゆる生物現象を分子レベルで考えることができる。				
関心・意欲の観点: 生命科学を分子レベルで解釈するために、その基礎を深めようとする。				
態度の観点: 有機化学は、生化学、生命科学の基礎で、その基礎原理を系統的に身につけると生命現象や新規生理活性物質を分子レベルで見たり、考えたりすることができるようになる。				
技能・表現の観点: 有機化学を基礎として、物質を取り扱い、抽出、分離、精製作業、さらに物質変換を行えるようになる。				
成績評価方法(総合)				
研究成果, 研究報告ならびに卒業論文によって評価を行う。				
教科書				
参考書				
メッセージ				
連絡先				
農学部本館412室				
オフィスアワー				
月 - 金 9 - 17時				

開設期	後期	曜日時限		時間割コード	1072102029
開設科目名	卒業論文			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	松井 健二			区分	
授業の概要					
学生所属研究室の研究分野に関して特定のテーマを設定し、実験を行い、得られた結果を卒業論文としてまとめる。					
授業の一般目標					
生物機能科学分野の技術者、研究者としての基本的な素養を身につけることを目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
各講座の担当教官の定めた評価基準に従い評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限		時間割コード	1072102030
開設科目名	卒業論文			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	横山 和平			区分	
授業の概要					
学生所属研究室の研究分野に関して特定のテーマを設定し、実験を行い、得られた結果を卒業論文としてまとめる。					
授業の一般目標					
生物機能科学分野の技術者、研究者としての基本的な素養を身につけることを目的とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 必要な基礎的事項の理解及び体系化。					
思考・判断の観点: 実験結果の考察、関連分野のレビュー。					
関心・意欲の観点: 自ら関連文献を読破する。					
態度の観点: 日常的に研究に取り組む。					
技能・表現の観点: 日本語表記、実験手法の習熟。					
成績評価方法(総合)					
各講座の担当教官の定めた評価基準に従い評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限		時間割コード	1072102031
開設科目名	卒業論文			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	古賀 大三			区分	
授業の概要					
酵素の遺伝子解析、酵素の精製、酵素の性質解析、酵素反応解析、酵素の農業分野における応用利用などの先端的研究を行う。					
授業の一般目標					
実証的研究をととして、研究法を学ばせる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限		時間割コード	1072102032
開設科目名	卒業論文			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	宮田 浩文			区分	
授業の概要					
学生所属研究室の研究分野に関して特定のテーマを設定し、実験を行い、得られた結果を卒業論文としてまとめる。					
授業の一般目標					
生物機能科学分野の技術者、研究者としての基本的な素養を身につけることを目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席状況と最終提出論文で評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
時間厳守					
連絡先					
hiro@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
月曜日午前中					

開設期	後期	曜日時限		時間割コード	1072102033
開設科目名	卒業論文			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	真野 純一			区分	
授業の概要					
学生所属研究室の研究分野に関して特定のテーマを設定し、実験を行い、得られた結果を卒業論文としてまとめる。					
授業の一般目標					
生物機能科学分野の技術者、研究者としての基本的な素養を身につけることを目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
各講座の担当教官の定めた評価基準に従い評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限		時間割コード	1072102034
開設科目名	卒業論文			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	阿座上 弘行			区分	
授業の概要					
学生所属研究室の研究分野に関して特定のテーマを設定し、実験を行い、得られた結果を卒業論文としてまとめる。					
授業の一般目標					
生物機能科学分野の技術者、研究者としての基本的な素養を身につけることを目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
演習での思考力、意欲と作成した卒業論文での知識・理解・表現力を併せて評価する					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限		時間割コード	1072102035
開設科目名	卒業論文			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	薬師 寿治			区分	
授業の概要					
研究室の研究分野に関して特定のテーマを設定し、実験を行い、得られた結果を卒業論文としてまとめる。					
授業の一般目標					
生物機能科学分野の技術者、研究者としての基本的な素養を身につけることを目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
授業態度と授業への参加度を重視する。プレゼンや演習を課して評価に加える。出席は必須である。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限		時間割コード	1072102036
開設科目名	卒業論文			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤井 克彦			区分	
授業の概要					
学生所属研究室の研究分野に関して特定のテーマを設定し、実験を行い、得られた結果を卒業論文としてまとめる。					
授業の一般目標					
生物機能科学分野の技術者、研究者としての基本的な素養を身につけることを目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
授業態度、研究の進捗状況、卒業論文の内容、および卒業研究成果発表会の内容を基に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					
随時					

開設期	後期	曜日時限	水5-7,木5-7	時間割コード	1072103001
開設科目名	獣医組織学実習			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	本道 栄一, 利部 聡			区分	
授業の概要					
種々の細胞から構成された機能的な構造である組織の形態を自らの眼で習得することを目標とする。組織の一般的形態を光学顕微鏡的に観察する。					
授業の一般目標					
種々の細胞から構成された機能的な構造である組織の形態を自らの眼で習得することを目標とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
定期試験(中間試験と期末試験) = 40 ~ 60%					
小テスト / 授業内レポート = 20%未満					
出席 = 40 ~ 60%					
教科書					
獣医組織学改訂第3版 / 日本獣医解剖学会編: 学窓社, 2006					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月3~4	時間割コード	1072103002
開設科目名	毒性学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	佐藤 晃一			区分	
授業の概要					
<p>薬のみならず全ての化学物質は、大量の投与により必ず毒性を示します。そして、これらの化学物質が起こす毒性は、それぞれ決まった形で表れます。授業では、まず毒性学とは何かについて学んでもらいます。その後、様々な毒性について、その発生機構を生理的な反応を基礎として学んでいきます。最後に、毒性の有無を明らかにする毒性試験について学習します。授業の間には、その時々々のトピックとなる薬理学・毒性学に関する話題を提供していきます。</p>					
授業の一般目標					
<p>獣医師として知っておくべき毒性学における知識を学ぶ。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 国家試験出題基準に基づく項目に関して、十分な知識を得る。 関心・意欲の観点: 毒性学の知識をもとに、世の中の環境汚染、薬害、新規治療薬などの問題への興味を持つ。 態度の観点: 自ら興味を持って、集中して授業に臨む。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>定期試験の結果を主に評価します。また、授業態度や授業への参加度を加味します。なお、出席は欠格事項として扱います。</p>					
教科書					
<p>獣医毒性学 / 獣医毒性学・養賢堂出版, 2000</p>					
参考書					
メッセージ					
<p>毒性学は獣医師にとって非常に重要な職域の一つです。また、毒性学としては国家試験の出題数としては少ないですが、関連する項目は多分野にわたり出題されます。だからこそ授業の時にできる限り覚えて、国試勉強での労力を少なくしましょう。</p>					
連絡先					
<p>佐藤晃一・農学部 106 号室</p>					
オフィスアワー					
<p>いつでも可</p>					

開設期	後期	曜日時限	木5-7	時間割コード	1072103003
開設科目名	獣医薬理学・毒性学実習			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	佐藤 晃一			区分	
授業の概要					
<p>獣医薬理学で習った知識を生かし、個体、器官および細胞レベルで実験することで薬物の作用機序、体内動態および毒性等についての理解を深める。あらかじめ次回実習のシラバスを配布するので予習をおこなう。実習は班単位で行う。実習後はレポートを提出し、復習を行う。</p>					
授業の一般目標					
<p>授業で学習した薬の作用点を、組織および個体レベルで確認するとともに、薬理・毒性学実験に必要な基礎的手技を習得する。さらに、薬理学的思考方法を学習する。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 獣医薬理学の講義内容を理解しているか 思考・判断の観点: 論理的に実験結果を考察できるか 関心・意欲の観点: 意欲を持って実習に取り組んでいるか。 態度の観点: 積極的に作業に取り組んでいるか。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>出席状況を重視する。実習態度・レポートの内容も加味する。必要に応じて、小テストを実施する。</p>					
教科書					
<p>薬理学・毒性学実験 3版 / 比較薬理学毒性学会: 文永堂出版, 2008</p>					
参考書					
メッセージ					
<p>頭で理解した薬物の作用を、実際に体感できる実習です。</p>					
連絡先					
<p>佐藤晃一・農学部106号室</p>					
オフィスアワー					
<p>いつでも可</p>					

開設期	後期	曜日時限	月5~7	時間割コード	1072103004
開設科目名	獣医繁殖学 実習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤田 志歩, 中尾 敏彦			区分	
授業の概要					
牛、豚などの生殖器の解剖と配偶子の形態観察を行う。また、動物の繁殖管理における基本的な検査手技を体験学習するとともに、現地研修を行う。					
授業の一般目標					
動物種による生殖器の形態の相違を認識するとともに、生殖器に対する生殖関連ホルモンの作用機序について理解する。さらに、これらに基づいた繁殖機能検査の仕組みを理解する。繁殖管理において基本となる生殖器の機能検査および精子・卵子の取り扱いと性状検査の手技を習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 動物種による生殖器の形態の相違を理解する。生殖関連ホルモンの作用機序について理解する。配偶子形成および受精の生理メカニズムについて理解する。					
思考・判断の観点: 繁殖機能検査の基礎となる正常な生殖器構造や生理メカニズムについて理解する。					
関心・意欲の観点: 自ら疑問を探索し、解決する。					
態度の観点: グループ内で協力して作業を行う。作業およびディスカッションに積極的に参加する。					
技能・表現の観点: さまざまな手法による繁殖機能検査手技を習得する。検査結果について正しく説明できる。					
成績評価方法(総合)					
出席および授業内に課すレポートを主な評価とする。					
教科書					
獣医繁殖学マニュアル第2版 / 獣医繁殖学教育協議会:文永堂, 2007					
参考書					
獣医繁殖学第3版 / 浜名克己, 中尾敏彦, 津曲茂久:文永堂, 2006					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火5-7	時間割コード	1072103005
開設科目名	獣医放射線学 実習			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	田浦 保穂			区分	
授業の概要					
<p>基本的なX線写真の撮影法、各種造影法や特殊撮影法、獣医領域における代表的な疾患のX線所見とその読影について実習を行う。さらに内視鏡、超音波検査法、関節鏡、腹腔鏡検査の実習を行う。</p>					
授業の一般目標					
<p>基本的なX線写真の撮影法、各種造影法や特殊撮影法、獣医領域における代表的な疾患のX線所見とその読影、さらに内視鏡、超音波検査法、関節鏡、腹腔鏡検査の実習を行い、獣医放射線学の基礎的理解を深めることを目標とする。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 基本的なX線写真の撮影法、各種造影法や特殊撮影法、獣医領域における代表的な疾患のX線所見とその読影、さらに内視鏡、超音波検査法、関節鏡、腹腔鏡検査の実習を行い、獣医放射線学の基礎的知識と理解を深めることを到達目標とする。</p> <p>思考・判断の観点: 基本的なX線写真の撮影法、各種造影法や特殊撮影法、獣医領域における代表的な疾患のX線所見とその読影、さらに内視鏡、超音波検査法、関節鏡、腹腔鏡検査の実習を行い、獣医放射線学の基礎的思考と診断力をつけることを到達目標とする。</p> <p>関心・意欲の観点: 基本的なX線写真の撮影法、各種造影法や特殊撮影法、獣医領域における代表的な疾患のX線所見とその読影、さらに内視鏡、超音波検査法、関節鏡、腹腔鏡検査の実習を行い、獣医放射線学の基礎的事項について関心や意欲を示すことを到達目標とする。</p> <p>態度の観点: 基本的なX線写真の撮影法、各種造影法や特殊撮影法、獣医領域における代表的な疾患のX線所見とその読影、さらに内視鏡、超音波検査法、関節鏡、腹腔鏡検査の実習を行い、獣医放射線学の基礎的事項に関して、真摯な態度で接することを到達目標とする。</p> <p>技能・表現の観点: 基本的なX線写真の撮影法、各種造影法や特殊撮影法、獣医領域における代表的な疾患のX線所見とその読影、さらに内視鏡、超音波検査法、関節鏡、腹腔鏡検査の実習を行い、獣医放射線学の基礎的技術や説明能力をつけることを到達目標とする。</p> <p>その他の観点: 基本的なX線写真の撮影法、各種造影法や特殊撮影法、獣医領域における代表的な疾患のX線所見とその読影、さらに内視鏡、超音波検査法、関節鏡、腹腔鏡検査の実習を行い、獣医放射線学の基礎的事項に関して、その他必要想定される事柄についても実習する。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>定期試験(中間試験と期末試験) = 欠格条件 小テスト/授業内レポート = 欠格条件 宿題/授業外レポート = 欠格条件 授業態度や授業への参加度 = 欠格条件 出席 = 欠格条件 フィルム読影試験 = 欠格条件</p>					
教科書					
<p>獣医臨床放射線学 / Donald E. Thrall 著 ; 菅沼常德, 中間實徳, 広瀬恒夫 訳: 文永堂, 1996</p>					
参考書					
<p>獣医臨床放射線学 / Donald E. Thrall 著 ; 菅沼常德, 中間實徳, 広瀬恒夫 訳: 文永堂, 1996</p>					
メッセージ					
<p>X線取り扱い者のための講習会受講およびガラスバッジが必要</p>					
連絡先					
<p>ytaura@yamaguchi-u.ac.jp 電話 933-5928, 5934</p>					

オフィスアワー

いる時はいつでも

開設期	後期	曜日時限	火8-9	時間割コード	1072103006
開設科目名	獣医放射線学 実習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	田浦 保穂, 中市 統三, 谷 健二, 板本 和仁			区分	
授業の概要					
農学部附属動物医療センターに設置されている、X線装置や、X線CTや核磁気共鳴画像診断装置を用いた実際の撮影法や診断法などの実習のほかに、医学部放射線関連施設についても見学実習し、最終的には総合画像診断と放射線治療の実習も行う。					
授業の一般目標					
X線CTや核磁気共鳴画像診断法などについても実習し、最終的には総合画像診断と放射線治療の実習も行き、獣医放射線学の基礎と応用に関する理解を深めることを目標とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: X線CTや核磁気共鳴画像診断法などについても実習し、最終的には総合画像診断と放射線治療の実習も行き、獣医放射線学の基礎と応用に関する知識や理解を深めることを到達目標とする。					
思考・判断の観点: X線CTや核磁気共鳴画像診断法などについても実習し、最終的には総合画像診断と放射線治療の実習も行き、獣医放射線学の基礎と応用に関する思考や判断力を深めることを到達目標とする。					
関心・意欲の観点: X線CTや核磁気共鳴画像診断法などについても実習し、最終的には総合画像診断と放射線治療の実習も行き、獣医放射線学の基礎と応用に関する関心や意欲を深めることを到達目標とする。					
態度の観点: X線CTや核磁気共鳴画像診断法などについても実習し、最終的には総合画像診断と放射線治療の実習も行き、獣医放射線学の基礎と応用に関して真摯な態度で実習することを到達目標とする。					
技能・表現の観点: X線CTや核磁気共鳴画像診断法などについても実習し、最終的には総合画像診断と放射線治療の実習も行き、獣医放射線学の基礎と応用に関する技能や表現を深めることを到達目標とする。					
その他の観点: X線CTや核磁気共鳴画像診断法などについても実習し、最終的には総合画像診断と放射線治療の実習も行き、獣医放射線学の基礎と応用に関するその他の必要な事項についても努力することを到達目標とする。					
成績評価方法(総合)					
定期試験(中間試験と期末試験) = 欠格条件					
小テスト / 授業内レポート = 欠格条件					
宿題 / 授業外レポート = 欠格条件					
授業態度や授業への参加度 = 欠格条件					
出席 = 欠格条件					
フィルム読影試験 = 欠格条件					
教科書					
獣医臨床放射線学 / Donald E. Thrall 著 ; 菅沼常德, 中間實徳, 広瀬恒夫 訳: 文永堂, 1996					
参考書					
獣医臨床放射線学 / Donald E. Thrall 著 ; 菅沼常德, 中間實徳, 広瀬恒夫 訳: 文永堂, 1996					
メッセージ					
X線取り扱い者のための講習会受講およびガラスバッジが必要					
連絡先					
nakaichi@yamaguchi-u.ac.jp 電話, 933-5898					
オフィスアワー, 金曜 16:00 ~ 17:30					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火5-7	時間割コード	1072103007
開設科目名	獣医衛生学実習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	岩田 祐之, 加藤 大智			区分	
授業の概要					
一般的な衛生試験法に習熟することを目的として, 基本的な化学的測定原理および実験手技を水質検査を通じて実習する。また, 併せて実際的な水質の検査, 汚水処理, 浄水方法についても学ぶ。					
授業の一般目標					
獣医衛生学の中でも重要な環境衛生における水質検査の意義を学ぶとともに, 測定手技の習得を目標とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
小テスト/ 授業内レポート = 20 ~ 40%					
授業態度や授業への参加度 = 20 ~ 40%					
出席 = 40 ~ 60%					
教科書					
常用衛生試験法と解説 / 日本薬学会編: 南山堂, 1996					
参考書					
獣医衛生学, 鎌田信一他編, 文永堂, 2005					
獣医公衆衛生学第3版, 高島郁夫他編, 2004					
メッセージ					
連絡先					
岩田祐之 : E-mail hiwata@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 5899					
加藤大智 : E-mail katoh@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 5900					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火1~2	時間割コード	1072103008
開設科目名	獣医公衆衛生学各論			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	度会 雅久			区分	
授業の概要					
公衆衛生とは、人間集団を対象として、疾病の予防、健康の保持、増進ならびに福祉の向上をはかり、人に人としての肉体的・精神的・社会的機能を発揮させることを目的としている。このような公衆衛生学を獣医学的側面から食品衛生、環境衛生、動物の保護、管理と公衆衛生を中心に概説する。					
授業の一般目標					
公衆衛生各論では、主に動物由来の食品によって生じる疾病、すなわち、食品由来感染症、食中毒などについて理解し、その予防法について考える。また環境衛生では上・下水衛生、畜産環境について学ぶ。さらに動物の保護・管理の考え方について理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 食品衛生、環境衛生について説明できる。					
思考・判断の観点: 食品由来感染症および食中毒の予防について類別できる。					
成績評価方法(総合)					
定期試験 宿題・授業外レポート 出席					
教科書					
獣医公衆衛生学第3版 / 高島郁夫, 熊谷進編: 文永堂出版, 2004					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
watarai@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 農学部1階					
オフィスアワー					
随時					

開設期	後期	曜日時限	月5~7	時間割コード	1072103009
開設科目名	実験動物学実習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	村田 智昭			区分	
授業の概要					
実験動物学における基礎的な飼育管理、実験手技および剖検、等の習得を目的。					
授業の一般目標					
実験動物学における基礎的な飼育管理、実験手技および剖検、等の習得を目的。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 講義、等で得た知識との融合。					
思考・判断の観点: 自分で実習(実験)を進められるか。					
関心・意欲の観点: 質問					
態度の観点: 出席。					
技能・表現の観点: 口頭試問					
その他の観点: 口頭試問					
成績評価方法(総合)					
出席、口頭試問					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
E-mail:ceb@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
原則:毎日、09:30-17:30 まずはメールで連絡すること。					

開設期	後期	曜日時限	水5-8	時間割コード	1072103010
開設科目名	魚病学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	高橋 幸則			区分	
授業の概要					
魚類の形態、生理、免疫機構などの基本的事項を講述するとともに、魚類のウイルス病、細菌病、寄生虫病およびその他の疾病について、その病因、症状、病理、診断法ならびに予防・治療法などを解説する。					
授業の一般目標					
魚病の診断および対策について、適切な判断が下せるように、疾病別の病理学的特徴から病因の特定に至る魚病診断法と予防・治療法に関する基本的知識を習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 疾病別の病因と病理学的特徴に関する知識を習得するとともに、変温動物である魚類の、哺乳動物とは異なる生理や免疫機構について理解する。					
思考・判断の観点: 試験の解答が論理的で、しかもあらゆる観点からとらえて論じられている。					
関心・意欲の観点: 授業中によく質問し、レポートも多くの文献・資料をもとにまとめられている。					
技能・表現の観点: 誤字・脱字がなく、適切な専門用語を用いて論理的にまとめている。					
成績評価方法(総合)					
期末試験によって知識の修得度、理解度、思考・判断力を評価(100%)する。					
教科書					
参考書					
改訂・魚病学概論 / 小川和夫・室賀清邦・恒星社厚生閣, 2008					
魚病学 / 畑井喜司雄・宗宮弘明・渡辺翼・学窓社, 1998					
新・魚病図鑑 / 畑井喜司雄・小川和夫・緑書房, 2006					
メッセージ					
連絡先					
下関市永田本町2-7-1 水産大学校(TEL:0832-86-5111)					
オフィスアワー					
授業日の講義終了後					

開設期	後期	曜日時限	金 3～4	時間割コード	1072103011
開設科目名	獣医畜産法規			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	山下 武彦			区分	
授業の概要					
農林、厚生、環境部門における獣医師関連諸法を解説					
授業の一般目標					
獣医事・薬事法規、家畜衛生行政法規、公衆衛生行政法規等、獣医畜産関係の主要法規について、その基本理念と獣医師の役割(義務)を理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 獣医畜産関係の主要法規を説明できる。					
思考・判断の観点: 主要法規の基本理念と獣医師の役割(獣医倫理と獣医師の義務)について述べるができる。					
関心・意欲の観点: 獣医師としての社会的な役割に関心を持つことができる。					
態度の観点: 日常生活の中で獣医師の役割について主体的に考えることができる。					
成績評価方法(総合)					
出席と最終試験で評価する。					
なお、出席が所定の回数に満たない者(60%未満)には単位を与えない。					
教科書					
獣医畜産六法平成 21 年版 / 日本獣医師会編集: 新日本法規出版, 2008					
参考書					
獣医学概論 / 池本卯典, 小方宗次編: 文永堂出版, 2007					
メッセージ					
教科書を必ず購入すること。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月3~4	時間割コード	1072103012
開設科目名	専修獣医解剖学			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	木曾 康郎			区分	
授業の概要					
最近のホットな話題をピックアップし、その解説と今後の展望に関して、討論を行い、 独創的なアイデアを培うことを目標とする。話題に関する情報は前もって提供し、それ を元に各自勉強してもらい、各自の意見・考えを授業時間中に発表してもらおう。					
授業の一般目標					
最近のホットな話題をピックアップし、その解説と今後の展望に関して、討論を行い、 独創的なアイデアを培うことを目標とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席, 発表を重んじる。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木1~2	時間割コード	1072103013
開設科目名	専修獣医生理学			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	和田 直己			区分	
授業の概要					
特に獣医神経生理学を講義する。					
授業の一般目標					
運動の制御を理解する					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 運動制御の全体像を説明できる。					
思考・判断の観点: 脊椎動物の種による運動の違いについて考察する。					
成績評価方法(総合)					
運動をいかに詳細に語れるかにより判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火3~4	時間割コード	1072103014
開設科目名	専修獣医薬理学			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
獣医薬理学の重要項目を体系的に整理した後、最新の薬理学における成果について概説する。					
授業の一般目標					
3年生 前・後期-4年生 前期の「獣医薬理学」において学んだ薬物の知識を臨床の場で適切に応用できるようにする。最新の薬理学のトピックスについても理解できる能力を身につける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 疾病動物の治療に用いる薬物の主作用と副作用を適切に説明できる。 複数の薬物の相互作用を説明できる。					
思考・判断の観点: 疾病動物の治療において、適切な薬物を選択し投与できる。					
関心・意欲の観点: 薬物の生体への作用と作用機構について常に関心をもつ。					
成績評価方法(総合)					
出席					
教科書					
New 薬理学 / 田中 千賀子ら: 南江堂, 2002					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木3~4	時間割コード	1072103015
開設科目名	専修獣医病理学			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	森本 将弘			区分	
授業の概要					
産業動物・伴侶動物・実験動物等の細菌性・ウイルス性・真菌性・寄生虫性疾患について、講義を行う。					
授業の一般目標					
国家試験の病理関係の実地問題をクリアできる知識を身につけさせる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: スライドを提示して質疑応答する。					
思考・判断の観点: スライドを提示して質疑応答する。					
関心・意欲の観点: 出席しているかどうか。					
技能・表現の観点: スライドを提示して質疑応答する。					
成績評価方法(総合)					
出席者に質疑応答することにより、理解力・判断力・意欲を総合的に評価する。					
教科書					
動物病理学総論 / 日本獣医病理学会:文永堂, 2001					
動物病理学各論 / 日本獣医病理学会:文永堂, 2006					
動物病理カラーアトラス / 動物病理カラーアトラス:文永堂, 2007					
参考書					
メッセージ					
その時々に関心となっている疾病を中心に講義すると同時に総復習を兼ねる。					
連絡先					
5892					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火1~2	時間割コード	1072103016
開設科目名	専修獣医微生物学免疫学			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
時々話題を課題として講義する。感染症の研究法について講義する。					
授業の一般目標					
感染症について理解を深める					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水1~2	時間割コード	1072103017
開設科目名	専修獣医内科学			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	奥田 優, 水野 拓也			区分	
授業の概要					
4、5年次に学習した獣医内科学の総まとめ的な講義である。実際の臨床例を中心に、検査データの読み取りを行い、問題点を探り、次にどのような検査、治療が必要かを考えることを通して、内科的な診断・治療の進め方を学ぶ。					
授業の一般目標					
内科的な診断・治療の考え方を習得すること					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 病態、治療および予防法について説明できるようになること(インフォームド・コンセント)					
思考・判断の観点: 症状および身体検査所見から考えられる疾病をあげることができ(鑑別診断リストの作成)、またどのように診断治療を進めていくか(診断治療計画の立案)を企画することができる					
関心・意欲の観点: 自主的かつ積極的であること					
態度の観点: 自主的かつ積極的であること					
技能・表現の観点: 患者の状態を論理的に専門用語を用いて適切に表現できる。また病態、診断、治療計画を(飼主に説明するように)わかりやすく説明することができる。					
成績評価方法(総合)					
出席重視					
教科書					
獣医内科学 / 日本獣医内科学アカデミー編: 文永堂出版, 2005					
参考書					
Small animal internal medicine / Richard W. Nelson, C. Guillermo Couto: Mosby, 2003					
メッセージ					
連絡先					
奥田優(okudamu@yamaguchi-u.ac.jp)、水野拓也(mizutaku@yamaguchi-u.ac.jp)					
オフィスアワー					
木曜日 14:00-15:00					

開設期	後期	曜日時限	木5-6	時間割コード	1072103018
開設科目名	専修獣医外科学			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	田浦 保穂, 谷 健二			区分	
授業の概要					
<p>実際の獣医臨床においては、それぞれの疾患に関する正確かつ最新の知識に基づいた適切な対応が求められる。本講では高度化する小動物臨床に対応するために、臨床的に重要な疾患に対して行われている最新の診断・治療技術について、最近のトピックスを交えながらより現実的側面から講述する。また大動物では実際の症例について講義する。</p>					
授業の一般目標					
<p>高度化する小動物臨床に対応するために、臨床的に重要な疾患に対して行われている最新の診断・治療技術について、最近のトピックスを交えながらより現実的側面から、また大動物では実際の症例について講義を行い、獣医外科学の理解を深めることを目標とする。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点:高度化する小動物臨床に対応するために、臨床的に重要な疾患に対して行われている最新の診断・治療技術について、最近のトピックスを交えながらより現実的側面から、また大動物では実際の症例についての知識と理解を深めることを到達目標とする。</p> <p>思考・判断の観点:高度化する小動物臨床に対応するために、臨床的に重要な疾患に対して行われている最新の診断・治療技術について、最近のトピックスを交えながらより現実的側面から、また大動物では実際の症例についての思考や判断を深めることを到達目標とする。</p> <p>関心・意欲の観点:高度化する小動物臨床に対応するために、臨床的に重要な疾患に対して行われている最新の診断・治療技術について、最近関心や意欲を深めることを到達目標とする。</p> <p>態度の観点:高度化する小動物臨床に対応するために、臨床的に重要な疾患に対して行われている最新の診断・治療技術について、最近のトピックスを交えながらより現実的側面から、また大動物では実際の症例についての真摯な態度を深めることを到達目標とする。</p> <p>技能・表現の観点:高度化する小動物臨床に対応するために、臨床的に重要な疾患に対して行われている最新の診断・治療技術について、最近のトピックスを交えながらより現実的側面から、また大動物では実際の症例についての技術や表現を深めることを到達目標とする。</p> <p>その他の観点:高度化する小動物臨床に対応するために、臨床的に重要な疾患に対して行われている最新の診断・治療技術について、最近のトピックスを交えながらより現実的側面から、また大動物では実際の症例についてのコミュニケーション能力やインフォームドコンセントなど説明能力を深めることを到達目標とする。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>主に出席状況で成績評価する。</p> <p>授業態度や授業への参加度 = 欠格条件</p> <p>受講者の発表(プレゼン)や授業内での製作作業(作品) = 欠格条件</p> <p>出席 = 欠格条件</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
<p>外科学講座専攻生に関しては、日常の家畜病院の外来診療の中で、実際の症例を診ながら獣医外科学についての実習も行う。</p>					
連絡先					
<p>田浦保穂 : E-mail ytaura@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 933-5928, 研究室 農学部附属動物医療センター, オフィスアワー 随時</p>					
オフィスアワー					

いる時はいつでも

開設期	後期	曜日時限	火5-6	時間割コード	1072103019
開設科目名	専修獣医繁殖学			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	中尾 敏彦			区分	
授業の概要					
産業動物を中心に、主要な生殖器疾患と繁殖障害について、臨床例に基づいて、それぞれの病態と臨床的事項を学ぶ。					
授業の一般目標					
産業動物の生殖機能障害と繁殖障害の臨床に関する最新の実践的な知識を習得させる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
講義内容に関するレポートを課して、その内容によって評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木7~8	時間割コード	1072103020
開設科目名	専修獣医病態生理学			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
各臓器・代謝疾患の病態発生機序を解説する。すなわち、病気の成り立ち・経過・予後といった一連の病態変化を講義する。					
授業の一般目標					
疾病の発病機序、症状の発現機序、病勢の悪化機序などを理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 発病機序には免疫防御機序の破綻、臓器機能の不全、炎症反応による生体組織傷害などが複雑に関係して症状発現へと進行していく。この機序の理解は診断治療の理解へと直結するものである。					
成績評価方法(総合)					
試験により学習度を判定する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	1072103021
開設科目名	専修獣医放射線学			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
基礎放射線学および生化学、分子生物学、臨床画像診断学に関する総復習を行うとともに、これらの分野における最近のトピックを取り上げて概説する。					
授業の一般目標					
基礎放射線学や生化学、分子生物学の分野で、これまでの履修が不十分であったところを補うとともに、関連する最近のトピックにも触れる。さらに代表的な小動物の疾患におけるレントゲン画像の特徴について復習し、実践的な基本的読影力の向上を目指す。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席による。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金 3～4	時間割コード	1072103022
開設科目名	専修獣医衛生学			単位	1 単位
対象学生				学年	～
担当教員	岩田 祐之, 加藤 大智			区分	
授業の概要					
獣医衛生学に関連する最新の情報を専門ジャーナルの最新論文の講読・ビデオの視聴などにより学ぶ。					
授業の一般目標					
獣医衛生学に関する最新の知見について理解するとともに、新たな動向や問題点について討議しうる能力を養う。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
授業態度・授業への参加度 50%, 出席 50%					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
岩田祐之 hiwata@yamaguchi-u.ac.jp 加藤大智 kato@					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金 1~2	時間割コード	1072103023
開設科目名	専修獣医公衆衛生学			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	度会 雅久			区分	
授業の概要					
獣医公衆衛生学に関連する最新の情報を専門ジャーナルの最新論文の購読・ビデオの視聴などにより学ぶ。					
授業の一般目標					
獣医公衆衛生学の最新の情報を取得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 獣医公衆衛生学に関連する最新の情報と課題を説明できる。					
成績評価方法(総合)					
受講者の発表(プレゼンテーション) 出席					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
watarai@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 農学部1階					
オフィスアワー					
随時					

開設期	後期	曜日時限	金 1~2	時間割コード	1072103024
開設科目名	家畜飼養学			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	角川 博哉			区分	
授業の概要					
家畜飼養の場では、エネルギー代謝に対する十分な理解の基に過肥や削瘦の無い健康的な管理をすることをはじめ、疾病を予防し生産性を高めるための広範囲な知識が求められる。また消費者から安全・安心な畜産物生産を強く求められている事も念頭におく必要がある。家畜飼養についての知識体系は、ペットや野生動物と接するための土台にもなる。					
授業の一般目標					
健康に様々な家畜を飼養し安全・安心な畜産物生産に導くための、共通の基本原則と共に、代表的な家畜毎の特徴や、大きく影響する環境等の要因を、体系的に学習する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 健康に様々な家畜を飼養し安全・安心な畜産物生産に導くための、共通の基本原則と共に、代表的な家畜毎の特徴や、大きく影響する環境等の要因を理解する。					
思考・判断の観点: 動物を様々な角度から観察できる視点、生理学や栄養学などの知識を基にした、科学的あるいは社会的に理にかなう飼育体系についての思考と判断					
関心・意欲の観点: 動物の体の外や中で何が起きているのか、また古くからの人間との関わり合いに関心をもち、将来への展開に関心をもつ					
態度の観点: 動物を飼うことの難しさ、大変さ、上手くいった時の喜びへの理解					
技能・表現の観点: 生理学や栄養学などの知識を基に、科学的あるいは社会的に理にかなう飼育体系の技能と表現を説明できるようにする					
成績評価方法(総合)					
期末試験で成績を評価する。成績には出席を加味する。					
教科書					
家畜飼育の基礎 / 阿部亮:農産漁村文化協会, 2008					
参考書					
動物の栄養 / 唐澤豊:文永堂出版, 2001					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	集中	時間割コード	1072103025
開設科目名	生物統計学演習			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	中野 裕治			区分	
授業の概要					
データの整理の仕方、さまざまな統計値の求め方とその意味を学ぶ、統計値計算の基本的な演算技術を修得しながら、表計算ソフト Excel のテクニックを学び、生物学の具体的な例を題材にして、統計的推定および検定の基本的な解析方法を習得する。					
授業の一般目標					
具体的な生物データが与えられたとき、基本的な統計値の計算法に習熟する。データの種類と目的に応じて適切な検定法を選択し、手順を踏んで検定し、その結果の持つ意味を解釈できる力を養う。Excel の基本操作を習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1.分散、相関係数などの統計値を求め、その意味を理解できる。					
2.不確実な現象の構造を、確率分布の考えで理解できるようになる。					
3.点推定、区間推定などの統計的推定ができる。					
4.正規検定、t 検定、カイ二乗検定、分散分析などの統計的検定ができる。					
5.応用として、たとえば、「細菌の集落が独立に分布しているか」、「服用する薬に効果があるだろうか」という具体的な問題にも解答を与えることができる。					
思考・判断の観点: 純粋数学は 100%正しい論理を用いる。統計学は数学と異なる思考体系であり、経験法則から導かれる論理を含む。統計学を学ぶことで、不確実性にみちた生物データの理解について、より広い思考・判断力を身につけることができる。					
関心・意欲の観点: 授業では、生物統計学ではよく知られた例、たとえば「メンデルの法則」、「タバコと肺がんの因果関係」などを分析する。解析法を知ることにより、これまでに見てこしてきた生物統計学などの不確実現象に対して関心が高まり、分析する意欲が高まると信じる。					
態度の観点: 統計学における経験法則を学ぶことで、自然界に対する認識が深まり、今後の思考過程、態度が変わると思う。					
技能・表現の観点: 生物の諸現象を確率モデルに表現することが一つの目的であるが、その課程において数学的な技能、データ処理の技術を修得できる。					
その他の観点: 統計学は科学の文法といわれる。将来、どの分野に進もうとも統計分析は必要になるが、本授業で習得した知識、技術が役立つものと考えられる。					
成績評価方法(総合)					
出席を重視し、期間中 2 回程度小試験を行う。最後に行う試験のウェートを 80%とする。					
教科書					
バイオサイエンスの統計学：正しく活用するための実践理論 / 市原清志:南江堂, 1990					
参考書					
生物統計学 / Robert R. Sokal, F. James Rohlf: 共立出版, 1983					
医学研究のための統計的方法 / P.Armitage, G. Berry:サイエンティスト, 2005					
メッセージ					
少なくとも、2 回は小テストを実施しますので、出席してください。ノートパソコンは、必ず持参してください。					
連絡先					
E-mail:y-nakano@biwako.shiga-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	集中	時間割コード	1072103026
開設科目名	分子生物学概論			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	山尾 文明			区分	
授業の概要					
分子生物学ないし分子遺伝学はあらゆる生命現象を理解するための基盤となる基礎分野である。獣医学における基礎および臨床研究を意識しながら、遺伝情報の発現の観点からより普遍的、基礎的に生命科学を体系的に整理して眺め、そこにおける知識と方法論を概説する。					
授業の一般目標					
獣医学における基礎研究領域の学習とその意味を理解し、獣医学の研究、実践に役立たせる意欲を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1) 遺伝子発現の基本的メカニズムが説明できる。2) 細胞の機能とその調節を遺伝子発現の観点から理解できる。					
思考・判断の観点: 1) 生命現象の理解に分子レベルの解析、方法論をもって対処できる。					
関心・意欲の観点: 1) 獣医学的基礎研究、臨床研究を分子生物学的立場で理解しようとする意思を示す。					
成績評価方法(総合)					
集中講義の出席、レポート課題への取り組みのオリジナリティをもとに評価する					
教科書					
参考書					
メッセージ					
基礎研究の意味と楽しさを理解してもらえれば目的の大半は達したと考えます。					
連絡先					
fyamao@lab.nig.ac.jp 国立遺伝学研究所変異部門					
オフィスアワー					
年中無休					

開設期	後期	曜日時限	水5-8	時間割コード	1072103027
開設科目名	水産動物学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	林 健一			区分	
授業の概要					
地球表面の70%以上を占め、生命が誕生した水圏環境とその保全について述べ、そこに生息する動物群を系統的に紹介する。水圏環境には動物界すべての群が出現し、水産上の有用種として一次産業の対象となっている種類が多い。このほか小型の有害種も多く、人類にいろいろな意味で影響を及ぼしている。これらの代表種を陸上のほ乳動物と対比させて講述する。					
授業の一般目標					
人類との関係が深い水産動物についての知識を増やすと同時に、獣医学において必要な魚病学や水族防疫学を学ぶ上での基礎的な情報を修得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 水産業、養殖業とそこで取り扱われている動物を、動物界の系統上の位置を含めて理解する。					
思考・判断の観点: 漁業対象魚介類の特性、養殖魚介類の特性					
関心・意欲の観点: 食用有用種					
技能・表現の観点: 小テスト、英文和訳の完成度					
成績評価方法(総合)					
期末試験 / 毎時間後の小テスト / 授業内レポート					
教科書					
参考書					
基礎水産動物学：水圏に生きる動物たち / 岩井保・林勇夫：恒星社厚生閣，1990					
水産海洋ハンドブック / 竹内俊郎他：生物研究社，2004					
メッセージ					
水産業、養殖業の現状を知ってもらい、そこで取り扱われている魚介類をほ乳類との比較で学び、一層理解を深めてもらいたい。					
連絡先					
疑問、質問はもとより関連の事項で知りたいことがあれば、いつでも下記のアドレスにメールをして下さい。くれぐれも名前を忘れないように。 hayashik@fish-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金 7～8	時間割コード	1072103028
開設科目名	専修獣医寄生虫病学			単位	1 単位
対象学生				学年	～
担当教員	佐藤 宏			区分	
授業の概要					
獣医臨床、家畜衛生または公衆衛生上重要な寄生虫病について概説する。寄生虫の基礎的生物学特性の理解に立ち、寄生虫病の診断、治療、予防法について講義する。					
授業の一般目標					
獣医臨床、家畜衛生および公衆衛生上重要な寄生虫、すなわち吸虫、糸虫、線虫、鉤頭虫、原虫および節足動物について、(1)分類、形態、生活環および生態などの基礎的な生物学特性、(2)寄生による症状、診断法および治療・予防法を理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1. 分類、形態、生活環および生態などの基礎的な生物学特性を理解すること					
2. 寄生による症状、診断法および治療・予防法を理解すること					
思考・判断の観点: 1. どのような場合に寄生虫病を疑うべきか説明できる					
2. 寄生虫病にどのようにアプローチするか説明できる					
関心・意欲の観点: 獣医臨床、公衆衛生、家畜衛生各分野における寄生虫病の治療や予防に寄与できる					
成績評価方法(総合)					
対話方式で講義を進めるので、積極的な講義参加が求められる。					
教科書					
最新家畜寄生虫病学 / 板垣 博、大石 勇監修:朝倉書店, 2007					
参考書					
改訂獣医寄生虫病学・寄生虫病学(1)総論 / 原虫 / 石井俊雄著 / 今井壮一編:講談社サイエンティフィック, 2007					
改訂獣医寄生虫病学・寄生虫病学(2)蠕虫他 / 石井俊雄著 / 今井壮一編:講談社サイエンティフィック, 2007					
メッセージ					
連絡先					
農学部 207 号室(083-933-5902)					
オフィスアワー					
在室なら随時					

開設期	通年	曜日時限	火5~7,木5~7	時間割コード	1073101001
開設科目名	生物資源環境科学基礎実験			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	宇佐見 晃一			区分	
授業の概要					
人々が生存するための基礎的条件である生物資源の確保、改良、そして環境問題、食料問題、地域問題等の基礎的内容について理解を深めるとともに、専門科目履修のためのガイドとする。また、生物資源環境科学科に必要な基礎的実験・実習技術、演習についても紹介する。					
授業の一般目標					
生物資源環境科学科を構成する教育研究分野の概要を学ぶとともに、学科としての基礎的な実験手技を習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 学科を構成する教育研究分野の特徴を把握し理解できる。					
思考・判断の観点: 個々の教育研究分野における実験手法の特徴が実感できる。					
関心・意欲の観点: 実験に興味や面白さを感じることができる。					
態度の観点: 実験の進め方の基本が理解でき、観察力、注意点、その他基本的作法を身に付けることができる。					
成績評価方法(総合)					
授業内レポート、小試験、授業外レポートおよび出席状況を総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
基本的にレポート提出、小試験などが毎時間課され、その都度評価されることになるので、必ず出席すること。					
連絡先					
各担当教員に問い合わせること。					
オフィスアワー					
各担当教員に問い合わせること。					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073101002
開設科目名	特別演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	進藤 晴夫			区分	
授業の概要					
研究分野に関する外書講読、国内外の最新の学術論文の紹介ならびに最近の研究のトピックを取り上げ、学生主体のセミナー形式により討論を行う。					
授業の一般目標					
研究分野に関する、科学的、論理的思考を高めるとともに、専門知識を身に付ける。 卒業論文のための研究を、構築し実施するための基本的な能力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、その中で明らかにされた知見を説明できる。					
思考・判断の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、自らの研究に生かすことができる。					
関心・意欲の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、それについての討議できる。					
態度の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、それについての討議に参加できる。					
技能・表現の観点: 研究論文に書かれた内容や自らの研究結果について、要約し発表する事ができる。					
成績評価方法(総合)					
発表内容、文献の理解度、討論への参加などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073101003
開設科目名	特別演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	山内 直樹			区分	
授業の概要					
園芸利用学に関する外書講読、国内外の最新の学術論文の紹介ならびに最近の研究のトピックを取り上げ、学生主体のセミナー形式により討論を行う。					
授業の一般目標					
授業の一般目標					
研究分野に関する、科学的、論理的思考を高めるとともに、専門的知識を身に付ける。					
卒業論文のための研究を、構築し実施するための基本的な能力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、その中で明らかにされた知見について説明できる。					
思考・判断の観点: 研究論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、自らの研究に生かす事が出来る。					
関心・意欲の観点: 研究論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、それらについて討議できる。					
態度の観点: 研究論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、それらについての討議に参加できる。					
技能・表現の観点: 研究論文に書かれた内容や自らの研究結果について、要約し発表する事が出来る。					
成績評価方法(総合)					
研究論文に対する理解、発表状況、質疑応答など総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
yamauchi@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
研究室: 農学部3階330号室					
オフィスアワー: 金曜日 午後1時~5時					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073101004
開設科目名	特別演習			単位	4 単位
対象学生				学年	~
担当教員	伊藤 真一			区分	
授業の概要					
研究分野に関する外書講読、国内外の最新の学術論文の紹介ならびに最近の研究のトピックを取り上げ、学生主体のセミナー形式により討論を行う。					
授業の一般目標					
研究分野に関する、科学的、論理的思考を高めるとともに、専門的知識を身に付ける。卒業論文のための研究を、構築し実施するための基本的な能力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、その中で明らかにされた知見について説明できる。					
思考・判断の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、自らの研究に生かす事が出来る。					
関心・意欲の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、それらについて討議できる					
態度の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、それらについての討議に参加できる。					
技能・表現の観点: 研究論文に書かれた内容や自らの研究結果について、要約し発表する事が出来る。					
成績評価方法(総合)					
出席、演習時における内容の理解度、発表内容、参加の程度、態度などを総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073101005
開設科目名	特別演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	山本 晴彦			区分	
授業の概要					
研究分野に関する外書講読、国内外の最新の学術論文の紹介ならびに最近の研究のトピックを取り上げ、学生主体のセミナー形式により討論を行う。					
授業の一般目標					
研究分野に関する、科学的、論理的思考を高めるとともに、専門的知識を身に付ける。					
卒業論文のための研究を、構築し実施するための基本的な能力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、その中で明らかにされた知見について説明できる。					
思考・判断の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、自らの研究に生かす事が出来る。					
関心・意欲の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、それらについて討議できる。					
態度の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、それらについての討議に参加できる。					
技能・表現の観点: 研究論文に書かれた内容や自らの研究結果について、要約し発表する事が出来る。					
成績評価方法(総合)					
最新の学術論文の紹介、英語で書かれた専門書の輪読、討論を行う。また、研究室所属学生、教官の研究結果について討論し、総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073101006
開設科目名	特別演習			単位	4 単位
対象学生				学年	~
担当教員	小林 淳			区分	
授業の概要					
研究分野に関する外書講読、国内外の最新の学術論文の紹介ならびに最近の研究のトピックを取り上げ、学生主体のセミナー形式により討論を行う。					
授業の一般目標					
研究分野に関する、科学的、論理的思考を高めるとともに、専門的知識を身に付ける。 卒業論文のための研究を、構築し実施するための基本的な能力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、その中で明らかにされた知見について説明できる。					
思考・判断の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、自らの研究に生かす事が出来る。					
関心・意欲の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、それらについて討議できる。					
態度の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、それらについての討議に参加できる。					
技能・表現の観点: 論文に書かれた内容や自らの研究結果について、要約し発表する事が出来る。					
成績評価方法(総合)					
学術論文および研究結果に関する発表内容、それらに対する討論への参加などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
koba-jun@yamaguchi-u.ac.jp 農学部 328 号室					
オフィスアワー					
木曜日 17:00 ~ 19:00					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073101007
開設科目名	特別演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	高橋 肇			区分	
授業の概要					
特別演習では、卒業論文研究を開始するのに必要な素養を身につけることにはじまり、各自の卒業論文研究テーマをセミナー形式で検討し合う。さらに卒業論文研究で得られたデータの解析方法を学び、検討したうえで、関連研究論文の研究紹介を通じて自らの研究に関する研究史を把握する。卒業論文研究の成果は、中間発表会、合同研究発表会を通じて発表し、プレゼンテーション技術を高める。					
授業の一般目標					
卒業論文研究のための準備や卒業論文研究を通じての発表技術の習得、研究手法の習得をめざす。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1. 卒業論文研究についての背景となる研究を知る。 2. 卒業論文研究のデータのまとめ方、表現方法を学ぶ。 3. プレゼンテーション技術を学ぶ。					
思考・判断の観点: 1. 研究テーマを設定する。 2. 関連研究の引用のしかたを検討する。					
関心・意欲の観点: 1. 自身で積極的に卒業論文研究をすすめている。					
態度の観点: 1. 卒業論文の完成・発表に向けて、コツコツと研究を積み重ねることができる。					
成績評価方法(総合)					
日々の積み重ねにより作物学研究の背景をきちんとまとめられているか、さらには自らの研究成果をきちんと公表できているかについて評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
内線 5840, 農学部 128 室, E-mail: tadashit@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
月～金曜日 7:00～8:00 月・火・木・金曜日 12:00～12:30					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073101008
開設科目名	特別演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	田中 秀平			区分	
授業の概要					
研究分野に関する外書講読、国内外の最新の学術論文の紹介ならびに最近の研究のトピックを取り上げ、学生主体のセミナー形式により討論を行う。					
授業の一般目標					
研究分野に関する、科学的、論理的思考を高めるとともに、専門的知識を身に付ける。 卒業論文のための研究を、構築し実施するための基本的な能力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、その中で明らかにされた知見について説明できる。					
思考・判断の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、自らの研究に生かす事が出来る。					
関心・意欲の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、それらについて討議できる。					
態度の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、それらについての討議に参加できる。					
技能・表現の観点: 研究論文に書かれた内容や自らの研究結果について、要約し発表する事ができる。					
成績評価方法(総合)					
発表に準備状況、理解度、議論への参加度などを総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
農学部 3F (331 号室)					
オフィスアワー					
毎週月曜日 12:00-17:00					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073101009
開設科目名	特別演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	細井 栄嗣			区分	
授業の概要					
研究分野に関する外書講読、国内外の最新の学術論文の紹介ならびに最近の研究のトピックを取り上げ、学生主体のセミナー形式により討論を行う。					
授業の一般目標					
研究分野に関する、科学的、論理的思考を高めるとともに、専門的知識を身に付ける。 卒業論文のための研究を、構築し実施するための基本的な能力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、その中で明らかにされた知見について説明できる。					
思考・判断の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、自らの研究に生かす事が出来る。					
関心・意欲の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、それらについて討議できる。					
態度の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、それらについての討議に参加できる。					
技能・表現の観点: 研究論文に書かれた内容や自らの研究結果について、要約し発表する事が出来る。					
成績評価方法(総合)					
総合的な評価を行う					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
細井栄嗣 居室:農学部1階 126号室					
オフィスアワー					
随時					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073101010
開設科目名	特別演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	執行 正義			区分	
授業の概要					
研究分野に関する外書講読、国内外の最新の学術論文の紹介ならびに最近の研究のトピックを取り上げ、学生主体のセミナー形式により討論を行う。					
授業の一般目標					
研究分野に関する、科学的、論理的思考を高めるとともに、専門的知識を身に付ける。 卒業論文のための研究を、構築し実施するための基本的な能力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、その中で明らかにされた知見について説明できる。					
思考・判断の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、自らの研究に生かす事が出来る。					
関心・意欲の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、それらについて討議できる。					
態度の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、それらについての討議に参加できる。					
技能・表現の観点: 研究論文に書かれた内容や自らの研究結果について、要約し発表する事が出来る。					
成績評価方法(総合)					
プレゼンやレポートの内容だけでなく、演習に取り組む姿勢や日頃の努力を総合的に判断して評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
shigyo@yamaguchi-u.ac.jp 研究室:農学部本館南棟 330 号室					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073101011
開設科目名	特別演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	竹松 葉子			区分	
授業の概要					
研究分野に関する外書講読、国内外の最新の学術論文の紹介ならびに最近の研究のトピックを取り上げ、学生主体のセミナー形式により討論を行う。					
授業の一般目標					
研究分野に関する、科学的、論理的思考を高めるとともに、専門的知識を身に付ける。 卒業論文のための研究を、構築し実施するための基本的な能力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、その中で明らかにされた知見について説明できる。					
思考・判断の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、自らの研究に生かす事が出来る。					
関心・意欲の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、それらについて討議できる。					
態度の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、それらについての討議に参加できる。					
技能・表現の観点: 研究論文に書かれた内容や自らの研究結果について、要約し発表する事が出来る。					
成績評価方法(総合)					
討論への参加度、理解度を総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
takematu@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073101012
開設科目名	特別演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	系原 義人			区分	
授業の概要					
研究分野に関する国内外の最新の学術論文の紹介ならびに最近の研究のトピック、また調査研究成果を取り上げ、学生主体のセミナー形式により討論を行う。					
授業の一般目標					
研究分野に関する、科学的、論理的思考を高めるとともに、専門的知識を身に付ける。 卒業論文のための研究を構築し実施するための基本的な能力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、その中で明らかにされた知見について説明できる。					
思考・判断の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、自らの研究に生かす事が出来る。					
関心・意欲の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、それらについて討議できる。					
態度の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、それらについての討議に参加できる。					
技能・表現の観点: 研究論文に書かれた内容や自らの研究結果について、要約し発表する事が出来る。					
成績評価方法(総合)					
セミナーへの参加を重視し、研究成果、資料・論文調査結果などを発表する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
gbb_50@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073101013
開設科目名	特別演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	深田 三夫			区分	
授業の概要					
農地保全分野を研究テーマとし、文献調査、実験あるいは調査研究を行い、小人数のゼミを行い発表する。					
授業の一般目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・農業・農村の現状と未来についての問題意識をもつ。 ・調査手法を取得する。 ・レポートの作成の基本を学ぶ。 ・プレゼンテーション技術を習得する。 ・他者の研究テーマやレポートについての検討、批判する技術を養う。 					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門書や学術論文の内容について、要約し説明できる。					
思考・判断の観点: 専門書や学術論文の内容について、課題や方法論に係る問題点等を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 卒業研究テーマの選択と問題点が探索できるようになる。					
成績評価方法(総合)					
参加態度・参加度、出席、レポートの内容などを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073101014
開設科目名	特別演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	宇佐見 晃一			区分	
授業の概要					
農業経営学研究分野に関する外書講読、国内外の最新の学術論文の紹介ならびに最近の研究のトピックを取り上げ、学生主体のセミナー形式により討論を行う。					
授業の一般目標					
農業経営学研究分野に関する、科学的、論理的思考を高めるとともに、専門的知識を身に付ける。卒業論文のための研究を、構築し実施するための基本的な能力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、その中で明らかにされた知見について説明できる。					
思考・判断の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、自らの研究に生かす事が出来る。					
関心・意欲の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、それらについて討議できる。					
態度の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、それらについての討議に参加できる。					
技能・表現の観点: 研究論文に書かれた内容や自らの研究結果について、要約し発表する事が出来る。					
成績評価方法(総合)					
セミナーの場で報告された内容、そこでの質疑応答の中身について総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
usami329@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
火曜日 13:00 ~ 15:00 (宇佐見研究室 農学部 236 号室)					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073101015
開設科目名	特別演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	荊木 康臣			区分	
授業の概要					
研究分野に関する外書講読、国内外の最新の学術論文の紹介ならびに最近の研究のトピックを取り上げ、学生主体のセミナー形式により討論を行う。					
授業の一般目標					
研究分野に関する、科学的、論理的思考を高めるとともに、専門的知識を身に付ける。 卒業論文のための研究を、構築し実施するための基本的な能力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、その中で明らかにされた知見について説明できる。					
思考・判断の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、自らの研究に生かす事が出来る。					
関心・意欲の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、それらについて討議できる。					
態度の観点: 書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、それらについての討議に参加できる。					
技能・表現の観点: 研究論文に書かれた内容や自らの研究結果について、要約し発表する事が出来る。					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073101016
開設科目名	特別演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	鈴木 賢士			区分	
授業の概要					
研究分野に関する外書講読、国内外の最新の学術論文の紹介ならびに最近の研究のトピックを取り上げ、学生主体のセミナー形式により討論を行う。					
授業の一般目標					
研究分野に関する、科学的、論理的思考を高めるとともに、専門的知識を身に付ける。 卒業論文のための研究を、構築し実施するための基本的な能力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、その中で明らかにされた知見について説明できる。					
思考・判断の観点: 研究論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、自らの研究に生かす事が出来る。					
関心・意欲の観点: 研究論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、それらについて討議できる。					
態度の観点: 研究論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、それらについての討議に参加できる。					
技能・表現の観点: 研究論文に書かれた内容や自らの研究結果について、要約し発表する事が出来る。					
成績評価方法(総合)					
セミナーにおける論文紹介や専門書の輪読、討論への参加、態度を評価する。また、セミナーで与えられた課題を行うとともに、研究成果(または途中経過)の報告について評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
E-mail: kenjis @yamaguchi-u.ac.jp 内線 5834					
オフィスアワー					
在室中随時(総合研究棟 205 号室)					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073101017
開設科目名	特別演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤間 充			区分	
授業の概要					
研究分野に関する外書講読、国内外の最新の学術論文の紹介ならびに最近の研究のトピックを取り上げ、学生主体のセミナー形式により討論を行う。					
授業の一般目標					
研究分野に関する、科学的、論理的思考を高めるとともに、専門的知識を身に付ける。 卒業論文のための研究を、構築し実施するための基本的な能力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、その中で明らかにされた知見について説明できる。					
思考・判断の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、自らの研究に生かす事が出来る。					
関心・意欲の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、それらについて討議できる。					
態度の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、それらについての討議に参加できる。					
技能・表現の観点: 論文に書かれた内容や自らの研究結果について、要約し発表する事が出来る。					
成績評価方法(総合)					
授業態度、授業への参加度、プレゼンなどを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073101018
開設科目名	特別演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	荒木 英樹			区分	
授業の概要					
研究分野に関する外書講読、国内外の最新の学術論文の紹介ならびに最近の研究のトピックを取り上げ、学生主体のセミナー形式により討論を行う。					
授業の一般目標					
研究分野に関する、科学的、論理的思考を高めるとともに、専門的知識を身に付ける。 卒業論文のための研究を、構築し実施するための基本的な能力を養う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、その中で明らかにされた知見について説明できる。					
思考・判断の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、自らの研究に生かす事が出来る。					
関心・意欲の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、それらについて討議できる。					
態度の観点: 論文に書かれた内容や他の研究者の研究結果を理解し、それらについての討議に参加できる。					
技能・表現の観点: 研究論文に書かれた内容や自らの研究結果について、要約し発表する事が出来る。					
成績評価方法(総合)					
授業への態度・参加度、プレゼンでの達成度に応じて評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073102001
開設科目名	特別演習			単位	4 単位
対象学生				学年	~
担当教員	内海 俊彦			区分	
授業の概要					
<p>学生の各所属研究室の研究分野の最近のトピックスに関する原著論文、総説等を読み、理解するとともに、資料を作成してその内容をセミナー形式で発表する。</p>					
授業の一般目標					
<p>最先端の学術論文を詳細に読み、理解することにより生命科学分野の研究者・技術者としての専門的知識を深めるとともに、英語論文の読解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目的とする。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
<p>各講座の担当教官の定めた評価基準に従い評価する。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073102002
開設科目名	特別演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	山田 守			区分	
授業の概要					
<p>研究分野の最近のトピックスに関する原著論文、総説等を読み、理解するとともに、資料を作成してその内容をセミナー形式で発表する。</p>					
授業の一般目標					
<p>最先端の学術論文を詳細に読み、理解することにより生命科学分野の研究者・技術者としての専門的知識を深めるとともに、英語論文の読解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目的とする。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
各講座の担当教官の定めた評価基準に従い評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
083-933-5869					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073102003
開設科目名	特別演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	松富 直利			区分	
授業の概要					
学生の各所属研究室の研究分野の最近のトピックスに関する原著論文、総説等を読み、理解するとともに、資料を作成してその内容をセミナー形式で発表する。					
授業の一般目標					
最先端の学術論文を詳細に読み、理解することにより生命科学分野の研究者・技術者としての専門的知識を深めるとともに、英語論文の読解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
各講座の担当教官の定めた評価基準に従い評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073102004
開設科目名	特別演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	松下 一信			区分	
授業の概要					
<p>学生の各所属研究室の研究分野の最近のトピックスに関する原著論文、総説等を読み、理解するとともに、資料を作成してその内容をセミナー形式で発表する。</p>					
授業の一般目標					
<p>最先端の学術論文を詳細に読み、理解することにより生命科学分野の研究者・技術者としての専門的知識を深めるとともに、英語論文の読解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目的とする。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
<p>下記のように評価する。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073102005
開設科目名	特別演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	右田 たい子			区分	
授業の概要					
学生の各所属研究室の研究分野の最近のトピックスに関する原著論文、総説等を読み、理解するとともに、資料を作成してその内容をセミナー形式で発表する。					
授業の一般目標					
最先端の学術論文を詳細に読み、理解することにより生命科学分野の研究者・技術者としての専門的知識を深めるとともに、英語論文の読解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目的とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 卒業研究の背景を幅広く知るとともに、その中での自分の研究の意義を理解する。					
成績評価方法(総合)					
理解度と出席および態度を中心に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
生命科学の基礎と、卒業テーマという個別の事項との関連を見出し、卒業実験の意義付けを自分なりに行い、意欲を持って卒業研究に取り組めるようになってほしい。					
連絡先					
ctmigita@yamaguchi-u.ac.jp Phone & Fax: 083-933-5863					
オフィスアワー					
随時					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073102006
開設科目名	特別演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	滝本 晃一			区分	
授業の概要					
研究室セミナーと、論文紹介					
授業の一般目標					
他人の意見を研究にどう取り入れるか、外国の研究者の英語研究論文を先ず理解し、次に聞き手に如何に分かる様に説明できるかを学ぶ					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
取り組みの態度を主として評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073102007
開設科目名	特別演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	小崎 紳一			区分	
授業の概要					
学生の各所属研究室の研究分野の最近のトピックスに関する原著論文、総説等を読み、理解するとともに、資料を作成してその内容をセミナー形式で発表する。					
授業の一般目標					
最先端の学術論文を詳細に読み、理解することにより生命科学分野の研究者・技術者としての専門的知識を深めるとともに、英語論文の読解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
各講座の担当教官の定めた評価基準に従い評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073102008
開設科目名	特別演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	赤壁 善彦			区分	
授業の概要					
関連研究分野の最近のトピックスに関する原著論文、総説等を読み、理解するとともに、資料を作成してその内容をセミナー形式で発表する。					
授業の一般目標					
先端の学術論文を詳細に読み、理解することにより有機化学分野の研究者・技術者としての専門的知識を深めるとともに、英語論文の読解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目的とする。有機化学を基本とし、生体内反応および生物間相互作用に関わる生理活性物質の基礎から応用までを系統的に身につける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 有機化合物の化学構造から、その物質の生理活性や生成について説明できる。					
思考・判断の観点: あらゆる生物現象を分子レベルで考えることができる。					
関心・意欲の観点: 生命科学を分子レベルで解釈するために、その基礎を深めようとする。					
態度の観点: 有機化学は、生化学、生命科学の基礎で、その基礎原理を系統的に身につけると生命現象や新規生理活性物質を分子レベルで見たり、考えたりすることができるようになる。					
技能・表現の観点: 有機化学を基礎として、物質を取り扱い、抽出、分離、精製作業、さらに物質変換を行えるようになる。					
成績評価方法(総合)					
プレゼンおよび演習結果により評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
農学部本館412室					
オフィスアワー					
月 - 金 9 - 17時					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073102009
開設科目名	特別演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	松井 健二			区分	
授業の概要					
学生の各所属研究室の研究分野の最近のトピックスに関する原著論文、総説等を読み、理解するとともに、資料を作成してその内容をセミナー形式で発表する。					
授業の一般目標					
最先端の学術論文を詳細に読み、理解することにより生命科学分野の研究者・技術者としての専門的知識を深めるとともに、英語論文の読解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
各講座の担当教官の定めた評価基準に従い評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073102010
開設科目名	特別演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	横山 和平			区分	
授業の概要					
学生の本所属研究室の研究分野の最近のトピックスに関する原著論文、総説等を読み、理解するとともに、資料を作成してその内容をセミナー形式で発表する。					
授業の一般目標					
最先端の学術論文を詳細に読み、理解することにより生命科学分野の研究者・技術者としての専門的知識を深めるとともに、英語論文の読解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目的とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 各講座の担当教官の定めた計画に従いセミナー形式で授業を行う。					
成績評価方法(総合)					
各講座の担当教官の定めた評価基準に従い評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073102011
開設科目名	特別演習			単位	4 単位
対象学生				学年	~
担当教員	古賀 大三			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073102012
開設科目名	特別演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	宮田 浩文			区分	
授業の概要					
学生の各所属研究室の研究分野の最近のトピックスに関する原著論文、総説等を読み、理解するとともに、資料を作成してその内容をセミナー形式で発表する。					
授業の一般目標					
最先端の学術論文を詳細に読み、理解することにより生命科学分野の研究者・技術者としての専門的知識を深めるとともに、英語論文の読解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席状況と提出資料により評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
時間厳守					
連絡先					
hiro@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
月曜日午前中					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073102013
開設科目名	特別演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	真野 純一			区分	
授業の概要					
学生の各所属研究室の研究分野の最近のトピックスに関する原著論文、総説等を読み、理解するとともに、資料を作成してその内容をセミナー形式で発表する。					
授業の一般目標					
最先端の学術論文を詳細に読み、理解することにより生命科学分野の研究者・技術者としての専門的知識を深めるとともに、英語論文の読解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
各講座の担当教官の定めた評価基準に従い評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073102014
開設科目名	特別演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	阿座上 弘行			区分	
授業の概要					
学生の各所属研究室の研究分野の最近のトピックスに関する原著論文、総説等を読み、理解するとともに、資料を作成してその内容をセミナー形式で発表する。					
授業の一般目標					
最先端の学術論文を詳細に読み、理解することにより生命科学分野の研究者・技術者としての専門的知識を深めるとともに、英語論文の読解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
授業態度と授業での発表状況を併せて評価する					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073102015
開設科目名	特別演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	薬師 寿治			区分	
授業の概要					
研究室の研究分野の最近のトピックスに関する原著論文、総説等を読み、理解するとともに、資料を作成してその内容をセミナー形式で発表する。					
授業の一般目標					
最先端の学術論文を詳細に読み、理解することにより生命科学分野の研究者・技術者としての専門的知識を深めるとともに、英語論文の読解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
授業態度と授業への参加度を重視する。演習やプレゼンを課して評価に加える。出席は必須である。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	集中	時間割コード	1073102016
開設科目名	特別演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤井 克彦			区分	
授業の概要					
学生の各所属研究室の研究分野の最近のトピックスに関する原著論文、総説等を読み、理解するとともに、資料を作成してその内容をセミナー形式で発表する。					
授業の一般目標					
最先端の学術論文を詳細に読み、理解することにより生命科学分野の研究者・技術者としての専門的知識を深めるとともに、英語論文の読解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
授業態度および発表内容を基に評価する					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					
随時					

開設期	通年	曜日時限	火1~2	時間割コード	1073103001
開設科目名	獣医学概論			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
<p>新入生へのオリエンテーションをかねて、獣医学科全教員によって行われる。各教員が獣医学の現状・自身の研究などが紹介される。教官全員で行われるので、教官一人一人の個性、研究内容等に触れる良い機会でもある。</p>					
授業の一般目標					
<p>上述のようにオリエンテーションもかねているので、獣医学科各講座、農学部附属動物医療センターの概要、連合獣医研究科等の紹介、獣医学全般の国内外の情勢、就職のガイダンス、最近のトピックスなどが紹介される。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
小テスト/授業内レポート=20~40% 出席=60~80%					
教科書					
参考書					
メッセージ					
<p>獣医学科のオールスタッフ総出演なので、獣医学科がどんなところか、どんなものか、また獣医学科の教員等を知る良い機会である。</p>					
連絡先					
オフィスアワー					
その年度の獣医学科長					

開設期	通年	曜日時限	金 3～4	時間割コード	1073103002
開設科目名	獣医組織学			単位	4 単位
対象学生				学年	～
担当教員	本道 栄一			区分	
授業の概要					
高等脊椎動物のミクロ構造について概説する。					
授業の一般目標					
細胞の構造、組織の構造、器官の形成について、三次元的に理解できるようになること。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: ミクロ構造を理解するにあたり、最低限の用語の修得とその概念の理解					
思考・判断の観点: 細胞の3次元的理解から始まり、器官の3次元構造について想像できるようになること。					
成績評価方法(総合)					
出席および試験					
教科書					
獣医組織学 / 日本獣医解剖学会編:学窓社, 2004					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	月3~4	時間割コード	1073103003
開設科目名	獣医解剖学			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	木曾 康郎			区分	
授業の概要					
<p>獣医・畜産学で取り扱う哺乳類・鳥類を中心として、動物の生体の基本的構造を理解し、解剖学の基礎知識を習得することを目標とする。骨学・筋学・内臓学・脈管学・神経学に関して系統および局所解剖学的に解説する。特に、その相互の関連性に注目する。また、種差に関して比較解剖学的に解説する。その際、野生動物についても比較する。</p>					
授業の一般目標					
<p>獣医・畜産学で取り扱う哺乳類・鳥類を中心として、動物の生体の基本的構造、解剖学の基礎知識を自らの手で習得することを目標とする。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点:動物の生体の基本的構造を理解する。 思考・判断の観点:構造と機能との関連を考えさせる。 関心・意欲の観点:動物の多様性に興味を持たせる。 態度の観点:生命・いのちに対する畏敬の念を育む。</p>					
成績評価方法(総合)					
出席, 期末試験, 口頭試験					
教科書					
<p>カラーアトラス獣医解剖学上・下巻: チクサン出版, 2008 犬の解剖カラーリングアトラス: 学窓社, 2007</p>					
参考書					
改善家畜比較解剖図説上・下巻: 養賢堂					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	木5~7	時間割コード	1073103004
開設科目名	獣医解剖学実習			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	木曾 康郎, 本道 栄一			区分	
授業の概要					
<p>獣医・畜産学で取り扱う哺乳類・鳥類を中心として、動物の生体の基本的構造、解剖学の基礎知識を自らの手で習得することを目標とする。骨学・筋学・内臓学・脈管学・神経学に関して系統および局所解剖学的に実習を行う。</p>					
授業の一般目標					
<p>獣医・畜産学で取り扱う哺乳類・鳥類を中心として、動物の生体の基本的構造、解剖学の基礎知識を自らの手で習得することを目標とする。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席, 口頭試験, 筆答試験を行う。					
教科書					
<p>カラーアトラス獣医解剖学上・下巻: チクサン出版, 2008 犬の解剖カラーリングアトラス: 学窓社, 2007</p>					
参考書					
改著・家畜比較解剖図説 上・下巻: 養賢堂, 2002					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	火1~2	時間割コード	1073103005
開設科目名	獣医生理学			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	和田 直己, 森 大志, 音井 威重, 藤田 志歩			区分	
授業の概要					
生体の機能を細胞一分子のレベルにおいて、その機能達成のメカニズムについて講義を行う。					
授業の一般目標					
機能を達成するメカニズムの概要を説明できるようになる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: テクニカルタームを適切に使用し、説明できる					
思考・判断の観点: そのメカニズムの異常を理解できる。					
成績評価方法(総合)					
試験					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	水3~4	時間割コード	1073103006
開設科目名	獣医生化学			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	山本 芳実			区分	
授業の概要					
<p>生化学は生命現象を化学の目で(または物質レベル)で説明しようとする学問である。本授業は、生化学の基礎を理解するとともに高学年になって開講される応用、臨床獣医学を理解するための基礎として設定されている。本授業は、並行または連続して開講される「分子生物学概論」「生物化学」と関係を取り全体で現代「生化学、分子細胞生物学」を統一的に理解するようシラバスが組まれている。</p>					
授業の一般目標					
<p>生体内で起こっている基本的な化学反応を理解する。同時に、物質レベルで生命現象をながめる姿勢を養う。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 1, 基本的な生体物質の構造と機能を説明出来る。2, 基本的な生体物質の合成と分解過程を説明出来る。3, 一つの生命現象を、生体物質のはたらきとして説明出来る。4, 生命の存在は、多くの生体物質の相互連関で成り立っている事を説明出来る。</p> <p>思考・判断の観点: 1, 特定の生命現象の背後にある生体物質を指摘出来る。2, 特定の生体物質のはたらきを理解するために、生化学の教科書のどこを参照にすれば良いか類別し、理解の進め方を指摘出来る。</p> <p>関心・意欲の観点: 1, さまざまな生命現象に対して、生体物質のレベルで説明することの重要性に配慮出来る。</p> <p>技能・表現の観点: 1, 基本的な生体物質、反応は適切な technical term を用いて、口答および文章で表現出来る。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>試験期間内に2回の試験をおこなう。出席が所定の回数に満たない者(70%未満)には単位を与えない。</p>					
教科書					
<p>ヴォート基礎生化学 第2版 / D. Voet et al., :東京化学同人, 2007</p>					
参考書					
<p>分子細胞生物学 第5版 / H.Lodish 他, :東京化学同人, 2005</p>					
メッセージ					
連絡先					
<p>農学部 202</p>					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	木3~4	時間割コード	1073103007
開設科目名	獣医伝染病学			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	西垣 一男			区分	
授業の概要					
獣医の対象となる感染症に対して、疫学、病原体、臨床症状、病原体診断、病理診断、治療法、予防法を総合的に学ぶ。					
授業の一般目標					
感染症に対して、正しい知識をもち、冷静な診断、的確な対応ができる獣医教育を目指す。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 伝染病に対する予防法・治療法・診断法を総合的に理解するとともに、個々の感染症についての理解を深める。					
思考・判断の観点: 新規に発生した伝染病に対して、正しく診断し、予防・治療できる思考力を高める。					
関心・意欲の観点: 新聞等で話題になっている伝染病に対して深い関心を持ち、正しく情報収集できる意欲を持つ。					
成績評価方法(総合)					
総論終了後の試験および各論終了後の試験で6割以上の成績をとったものは、それらの平均を成績とする。					
教科書					
動物の感染症(第二版) / 多数: 近代出版, 2006					
参考書					
獣医感染症カラーアトラス(第二版) / 多数: 文永堂出版, 1999					
メッセージ					
連絡先					
獣医学科感染免疫学研究室					
オフィスアワー					
いつでも					

開設期	通年	曜日時限	金 1～2	時間割コード	1073103008
開設科目名	獣医繁殖学			単位	4 単位
対象学生				学年	～
担当教員	中尾 敏彦, 音井 威重, 角川 博哉			区分	
授業の概要					
産業動物 伴侶動物および野生動物の生殖生理と、主に産業動物における繁殖の人為支配の理論と実際を学ぶ。					
授業の一般目標					
飼育動物および野生動物の生殖生理を理解させ、発情、排卵、妊娠 および分娩などの人為支配の方法を理解させる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
定期試験の成績の基づいて評価する。					
教科書					
獣医繁殖学 第3版 / 浜名・中尾・津曲, : 文永堂, 2006					
獣医繁殖の実践超音波診断 / 津曲・中尾: 学窓社, 2007					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	月3~4	時間割コード	1073103009
開設科目名	獣医衛生学			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	岩田 祐之, 加藤 大智			区分	
授業の概要					
家畜の健康の維持増進により畜産を振興するための, 獣医衛生学について, 前期は管理衛生, 飼養衛生, 環境衛生の点について学ぶ. 後期は予防衛生の観点から, 家畜免疫学について学ぶ.					
授業の一般目標					
家畜の管理形態, 飼養形態に応じた疾病について習得し, その予防法を理解する. 家畜の免疫について習熟し, 感染症に対する予防法を理解する.					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
定期試験 40%, 小テスト 40%, レポート 10%, 出席 10%					
教科書					
獣医衛生学 / 鎌田信一他編: 文永堂出版, 2005					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
岩田祐之 5899, hiwata@yamaguchi-u.ac.jp 加藤大智 5900, kato@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	通年(秋)	曜日時限	金 3～4	時間割コード	1074103001
開設科目名	獣医微生物学免疫学各論			単位	4 単位
対象学生				学年	～
担当教員	前田 健			区分	
授業の概要					
個別病原体の性質と病原性を学ぶ					
授業の一般目標					
同一の科・属に属する病原体でもその病原性は大きく異なることが有るので、絶えず「共通性」と「特殊性」を念頭において整理することが大切です。また個々の病原体が他の病原体とどこで区別されるかに注目して整理することが大切です。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
獣医微生物各論に関する基礎知識を定期試験にて評価する。レポート提出も評価の一部とする。授業態度や出席は欠格条件とする。					
教科書					
獣医微生物学(第二版) / 見上 虎監修: 文永堂出版, 2003					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年(秋)	曜日時限	金 3～4	時間割コード	1074103001
開設科目名	獣医微生物学免疫学各論			単位	4 単位
対象学生				学年	～
担当教員	前田 健			区分	
授業の概要					
個別病原体の性質と病原性を学ぶ					
授業の一般目標					
同一の科・属に属する病原体でもその病原性は大きく異なることが有るので、絶えず「共通性」と「特殊性」を念頭において整理することが大切です。また個々の病原体が他の病原体とどこで区別されるかに注目して整理することが大切です。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
獣医微生物各論に関する基礎知識を定期試験にて評価する。レポート提出も評価の一部とする。授業態度や出席は欠格条件とする。					
教科書					
獣医微生物学(第二版) / 見上 虎監修: 文永堂出版, 2003					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年(秋)	曜日時限	火5-7	時間割コード	1074103002
開設科目名	獣医微生物学免疫学実習			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	西垣 一男			区分	
授業の概要					
細菌培養法、生物学的性状検査、抗原抗体反応、ウイルス分離法、動物実験法等の初歩的な実験方法を学ぶ。					
授業の一般目標					
微生物学的手技、観察法の習得を目標とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
6割以上の成績をとったものは、それらを成績とする。					
教科書					
微生物学実習提要(第二版) / 著者多数:丸善,1998					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年(秋)	曜日時限	火5-7	時間割コード	1074103002
開設科目名	獣医微生物学免疫学実習			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	西垣 一男			区分	
授業の概要					
細菌培養法、生物学的性状検査、抗原抗体反応、ウイルス分離法、動物実験法等の初歩的な実験方法を学ぶ。					
授業の一般目標					
微生物学的手技、観察法の習得を目標とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
6割以上の成績をとったものは、それらを成績とする。					
教科書					
微生物学実習提要(第二版) / 著者多数:丸善, 1998					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年(秋)	曜日時限	水3~4	時間割コード	1074103003
開設科目名	獣医病理学各論			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	井上 誠			区分	
授業の概要					
<p>獣医病理学は生体に生じる様々な形態学的変化を病理発生論的に学ぶ学問である。動物の各臓器・組織は解剖学的および生理学的にみて異なった機能を有しており、それぞれの臓器・組織によって病変の発生に特徴がある。臓器・組織別に原因並びに発病機構を解説する。獣医学の分野では産業動物のほかにも種々の動物を対象にしており、それぞれの動物種における好発病変の違いについても習得する。さらに診断学の基礎的知識の習得と臨床への展開をはかる。</p>					
授業の一般目標					
<p>諸器官・臓器における先天性形成異常、代謝障害、循環障害、炎症、腫瘍などについて、肉眼的所見、組織学的所見、電子顕微鏡的所見を理解・習得する。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
<p>成績評価は基本的に、試験(80%)と出席(20%)で行う。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年(秋)	曜日時限	水3～4	時間割コード	1074103003
開設科目名	獣医病理学各論			単位	4単位
対象学生				学年	～
担当教員	井上 誠			区分	
授業の概要					
<p>獣医病理学は生体に生じる様々な形態学的変化を病理発生論的に学ぶ学問である。動物の各臓器・組織は解剖学および生理学的にみて異なった機能を有しており、それぞれの臓器・組織によって病変の発生に特徴がある。臓器・組織別に原因並びに発病機構を解説する。獣医学の分野では産業動物のほかに種々の動物を対象にしており、それぞれの動物種における好発病変の違いについても習得する。さらに診断学の基礎的知識の習得と臨床への展開をはかる。</p>					
授業の一般目標					
<p>諸器官・臓器における先天性形成異常、代謝障害、循環障害、炎症、腫瘍などについて、肉眼的所見、組織学的所見、電子顕微鏡的所見を理解・習得する。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 1. 各臓器・組織の肉眼的、組織学的及び電子顕微鏡的レベルでの各病理変化の説明ができる。2. 原因別に各種疾患の発病機構の説明ができる。</p> <p>3. 各器官系の病理変化の関連を説明できる。</p> <p>思考・判断の観点: 1. 様々な形態的变化を動的にとらえて、その経過の説明ができる。</p> <p>2. 形態的病理変化と生理機能異常の関連を説明できる。</p> <p>関心・意欲の観点: 1. 発病のメカニズムについて関心を持ち、自分なりに解釈しようとする意識を持つ。</p> <p>技能・表現の観点: 1. 解剖学、生理学及び病理学の用語を用いて、口頭及び文章による適切な表現ができる。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>成績評価は基本的に、試験(80%)と出席(20%)で行う。</p>					
教科書					
<p>動物病理学各論 / 日本獣医病理学会編: 文永堂出版, 2001</p>					
参考書					
<p>Veterinary Pathology, 6th ed. / T.C. Jones, R.D. Hunt, N.W. King: Williams & Wilkins, 1997</p>					
メッセージ					
連絡先					
<p>農学部228号室</p>					
オフィスアワー					

開設期	通年(秋)	曜日時限	金 5-7	時間割コード	1074103004
開設科目名	獣医病理学実習			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	森本 将弘			区分	
授業の概要					
<p>家畜・家禽の疾病の病理学的診断に関する基礎的知識・技術の修得を目的とする。各種動物の病理解剖学的検査法の実習を行うとともに、総論に従って基本的病変の基本的病変の顕微鏡による組織学的変化を観察して、その原因と発病機序などについての理解を深める。</p>					
授業の一般目標					
<p>国家試験の実地問題をクリアできる力を身に付けさせる。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 講義で習得した知識を生かしているか。 思考・判断の観点: 観察によって病変を把握できるか。 関心・意欲の観点: 実習に積極的に参加しているか。 態度の観点: 疑問点について、納得するまで解決しようという態度があるか。 技能・表現の観点: 病変を端的に表したスケッチができるか。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>出席・試験</p>					
教科書					
<p>動物病理カラーアトラス / 日本獣医病理学会: 文永堂出版, 2007</p>					
参考書					
<p>動物病理学総論 / 日本獣医病理学会: 文永堂出版, 2001 動物病理学各論 / 日本獣医病理学会: 文永堂出版, 2007</p>					
メッセージ					
連絡先					
<p>5892</p>					
オフィスアワー					

開設期	通年(秋)	曜日時限	金 5-7	時間割コード	1074103004
開設科目名	獣医病理学実習			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	森本 将弘			区分	
授業の概要					
<p>家畜・家禽の疾病の病理学的診断に関する基礎的知識・技術の修得を目的とする。各種動物の病理解剖学的検査法の実習を行うとともに、総論に従って基本的病変の基本的病変の顕微鏡による組織学的変化を観察して、その原因と発病機序などについての理解を深める。</p>					
授業の一般目標					
<p>国家試験の実地問題をクリアできる力を身に付けさせる。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 講義で習得した知識を生かしているか。 思考・判断の観点: 観察によって病変を把握できるか。 関心・意欲の観点: 実習に積極的に参加しているか。 態度の観点: 疑問点について、納得するまで解決しようという態度があるか。 技能・表現の観点: 病変を端的に表したスケッチができるか。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>出席・試験</p>					
教科書					
<p>動物病理カラーアトラス / 日本獣医病理学会: 文永堂出版, 2007</p>					
参考書					
<p>動物病理学総論 / 日本獣医病理学会: 文永堂出版, 2001 動物病理学各論 / 日本獣医病理学会: 文永堂出版, 2007</p>					
メッセージ					
連絡先					
<p>5892</p>					
オフィスアワー					

開設期	通年(秋)	曜日時限	木5-7	時間割コード	1074103005
開設科目名	獣医内科学実習			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	奥田 優, 水野 拓也			区分	
授業の概要					
動物の疾患をいかに診断していくのかについて、問診、身体検査など一般的なアプローチの方法を習得するとともに、血液や尿などの材料の採取方法、ならびに確定診断を導くためのさまざまな臨床病理検査法を実習する。					
授業の一般目標					
最終的には実施の病気の動物を前にして正しい診断的アプローチが行えることが目標である。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1. 基本的な診察の手技を習得する。 2. 基本的な臨床検査法の意義を理解し、また実施することができる。					
思考・判断の観点: 問診や症状、身体検査の結果から必要な検査項目を選択し、診断計画を立てることができる。					
関心・意欲の観点: 自主的かつ積極的に取り組む。					
態度の観点: 自主的かつ積極的に取り組む。					
技能・表現の観点: 専門用語を用いて適切な表現ができる。					
成績評価方法(総合)					
4年後期と5年前期の総合評価					
教科書					
獣医内科学 / 日本獣医内科学アカデミー編: 文永堂出版, 2005					
参考書					
Small animal internal medicine / Richard W. Nelson, C. Guillermo Couto: Mosby, 2003					
メッセージ					
教科書備考: プリントを配布します。また獣医内科学で配布したプリントを必ず持ってきてください。					
連絡先					
奥田優(okudamu@yamaguchi-u.ac.jp)、水野拓也(mizutaku@yamaguchi-u.ac.jp)、馬場健司(kbaba@yamaguchi-u.ac.jp)					
オフィスアワー					
木曜日 14:00-15:00					

開設期	通年(秋)	曜日時限	木5-7	時間割コード	1074103005
開設科目名	獣医内科学実習			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	奥田 優, 水野 拓也			区分	
授業の概要					
動物の疾患をいかに診断していくのかについて、問診、身体検査など一般的なアプローチの方法を習得するとともに、血液や尿などの材料の採取方法、ならびに確定診断を導くためのさまざまな臨床病理検査法を実習する。					
授業の一般目標					
最終的には実施の病気の動物を前にして正しい診断的アプローチが行えることが目標である。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1. 基本的な診察の手技を習得する。 2. 基本的な臨床検査法の意義を理解し、また実施することができる。					
思考・判断の観点: 問診や症状、身体検査の結果から必要な検査項目を選択し、診断計画を立てることができる。					
関心・意欲の観点: 自主的かつ積極的に取り組む。					
態度の観点: 自主的かつ積極的に取り組む。					
技能・表現の観点: 専門用語を用いて適切な表現ができる。					
成績評価方法(総合)					
4年後期と5年前期の総合評価					
教科書					
獣医内科学 / 日本獣医内科学アカデミー編: 文永堂出版, 2005					
参考書					
Small animal internal medicine / Richard W. Nelson, C. Guillermo Couto: Mosby, 2003					
メッセージ					
教科書備考: プリントを配布します。また獣医内科学で配布したプリントを必ず持ってきてください。					
連絡先					
奥田優(okudamu@yamaguchi-u.ac.jp)、水野拓也(mizutaku@yamaguchi-u.ac.jp)					
オフィスアワー					
木曜日 14:00-15:00					

開設期	通年(秋)	曜日時限	月1~2	時間割コード	1074103006
開設科目名	獣医寄生虫病学			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	佐藤 宏			区分	
授業の概要					
<p>獣医臨床、家畜衛生または公衆衛生上重要な寄生虫病について概説する。原虫類、蠕虫(ぜんちゅう)類、および節足動物について、分類、形態、生活環および生態などの基礎的な生物特性を解説するとともに、寄生による症状、診断法および治療・予防法について講義する。</p>					
授業の一般目標					
<p>獣医臨床、家畜衛生および公衆衛生上重要な寄生虫、すなわち吸虫、糸虫、線虫、鉤頭虫、原虫および節足動物について、(1)分類、形態、生活環および生態などの基礎的な生物特性、(2)寄生による症状、診断法および治療・予防法を理解する。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 1. 分類、形態、生活環および生態などの基礎的な生物特性を理解すること 2. 寄生による症状、診断法および治療・予防法を理解すること</p> <p>思考・判断の観点: 1. どのような場合に寄生虫病を疑うべきか説明できる 2. 寄生虫病にどのようにアプローチするか説明できる</p> <p>関心・意欲の観点: 獣医臨床、公衆衛生、家畜衛生各分野における寄生虫病の治療や予防に寄与できる</p> <p>態度の観点: 出席は80%以上。講義毎に出席と理解確認を兼ねた小試験を実施する</p> <p>技能・表現の観点: 専門用語を適切に用いて、寄生虫病学に関する事項を口頭および文章で適切な表現によって説明ができる</p>					
成績評価方法(総合)					
出席率80%を満たした受講者について筆記試験を行います。					
教科書					
最新家畜寄生虫病学 / 板垣 博、大石 勇監修:朝倉書店, 2007					
参考書					
改訂獣医寄生虫病学・寄生虫病学(1)総論 / 原虫 / 石井俊雄著 / 今井壮一編:講談社サイエンティフィック, 2007					
改訂獣医寄生虫病学・寄生虫病学(2)蠕虫他 / 石井俊雄著 / 今井壮一編:講談社サイエンティフィック, 2007					
メッセージ					
4年生以降、獣医臨床系科目、獣医公衆衛生学、家畜衛生学、獣医伝染病学とも密接に関係してきますので、特に各寄生虫の生物学的な特性をよく理解することを期待します。					
連絡先					
農学部 207 号室 (083-933-5902)					
オフィスアワー					
在室なら随時					

開設期	通年(秋)	曜日時限	月1~2	時間割コード	1074103006
開設科目名	獣医寄生虫病学			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	佐藤 宏			区分	
授業の概要					
<p>獣医臨床、家畜衛生または公衆衛生上重要な寄生虫病について概説する。原虫類、蠕虫(ぜんちゅう)類、および節足動物について、分類、形態、生活環および生態などの基礎的な生物特性を解説するとともに、寄生による症状、診断法および治療・予防法について講義する。</p>					
授業の一般目標					
<p>獣医臨床、家畜衛生および公衆衛生上重要な寄生虫、すなわち吸虫、糸虫、線虫、鉤頭虫、原虫および節足動物について、(1)分類、形態、生活環および生態などの基礎的な生物特性、(2)寄生による症状、診断法および治療・予防法を理解する。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 1. 分類、形態、生活環および生態などの基礎的な生物特性を理解すること 2. 寄生による症状、診断法および治療・予防法を理解すること</p> <p>思考・判断の観点: 1. どのような場合に寄生虫病を疑うべきか説明できる 2. 寄生虫病にどのようにアプローチするか説明できる</p> <p>関心・意欲の観点: 獣医臨床、公衆衛生、家畜衛生各分野における寄生虫病の治療や予防に寄与できる</p> <p>態度の観点: 出席は80%以上。講義毎に出席と理解確認を兼ねた小試験を実施する</p> <p>技能・表現の観点: 専門用語を適切に用いて、寄生虫病学に関する事項を口頭および文章で適切な表現によって説明ができる</p>					
成績評価方法(総合)					
出席率80%を満たした受講者について筆記試験を行います。					
教科書					
最新家畜寄生虫病学 / 板垣 博、大石 勇監修:朝倉書店, 2007					
参考書					
改訂獣医寄生虫病学・寄生虫病学(1)総論 / 原虫 / 石井俊雄著 / 今井壮一編:講談社サイエンティフィック, 2007					
改訂獣医寄生虫病学・寄生虫病学(2)蠕虫他 / 石井俊雄著 / 今井壮一編:講談社サイエンティフィック, 2007					
メッセージ					
4年生以降、獣医臨床系科目、獣医公衆衛生学、家畜衛生学、獣医伝染病学とも密接に関係してきますので、特に各寄生虫の生物学的な特性をよく理解することを期待します。					
連絡先					
農学部 207 号室(083-933-5902)					
オフィスアワー					
在室なら随時					

開設期	通年(秋)	曜日時限	金 3～4	時間割コード	1074103007
開設科目名	獣医外科学各論			単位	4 単位
対象学生				学年	～
担当教員	田浦 保穂			区分	
授業の概要					
各種動物における皮膚疾患、ヘルニアなどの体腔の疾患、眼科疾患、頭部周辺の疾患、心・大血管系などの循環器疾患、鼻・咽喉頭・気管・肺などの呼吸器疾患、口腔・歯科・食道・胃・腸管・肝・脾・膵などの消化器疾患、腎臓・膀胱などの泌尿器疾患、生殖器疾患、脳・脊髄などの中枢神経系疾患、骨・関節・蹄病などの運動器疾患について、診断法と治療法を講述する。					
授業の一般目標					
犬猫の小動物と牛馬の産業動物における獣医外科学分野で、獣医師国家試験問題の出題領域については診断法や治療法を講述する。器官系統別に分類し、まず、皮膚疾患、ヘルニアなどの体腔の疾患、眼科疾患、頭部周辺の疾患、心・大血管系などの循環器疾患、鼻・咽喉頭・気管・肺などの呼吸器疾患、口腔・歯科・食道・胃・腸管・肝・脾・膵などの消化器疾患、腎臓・膀胱などの泌尿器疾患、生殖器疾患、脳・脊髄などの中枢神経系疾患、骨・関節・蹄病などの運動器疾患について、診断法と治療法を講述する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 犬猫などの小動物と牛馬などの産業動物における獣医外科学分野で講述した診断法や治療法の理解や知識					
思考・判断の観点: 犬猫などの小動物と牛馬などの産業動物における獣医外科学分野で講述した診断法や治療法についての思考や判断力の有無					
関心・意欲の観点: 犬猫などの小動物と牛馬などの産業動物における獣医外科学分野で講述した診断法や治療法についての関心や意欲の有無					
態度の観点: 犬猫などの小動物と牛馬などの産業動物における獣医外科学分野で講述した診断法や治療法についての学習態度					
技能・表現の観点: 犬猫などの小動物と牛馬などの産業動物における獣医外科学分野で講述した診断法や治療法についての技能や表現					
その他の観点: 犬猫などの小動物と牛馬などの産業動物における獣医外科学分野で講述した診断法や治療法についてその他特出すること					
成績評価方法(総合)					
田浦、谷、中市が別々に期末試験を行う。それぞれの成績を2:1:1の割合で合計し、全体の評点とする。					
教科書					
獣医外科手術 / 竹内啓[ほか]編、講談社、1994					
参考書					
スラッター-小動物の外科手術 / Douglas Slatter 編 ; 高橋貢, 佐々木伸也監訳: 文永堂出版, 2000					
主要症状を基礎にした牛の臨床 / 前出吉光, 小岩政照監修: デーリマン, 2002					
メッセージ					
動物の症例に実際に自分が遭遇した時に、どうすべきか、シュミレーションをすべきです。また、手術の際には、飼主へのインフォームド・コンセントが重要になります。外科学は理論に裏づけされた行動を速やかにとる必要があります。一緒に勉強しましょう。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年(秋)	曜日時限	金 3～4	時間割コード	1074103007
開設科目名	獣医外科学各論			単位	4 単位
対象学生				学年	～
担当教員	田浦 保穂			区分	
授業の概要					
各種動物における皮膚疾患、ヘルニアなどの体腔の疾患、眼科疾患、頭部周辺の疾患、心・大血管系などの循環器疾患、鼻・咽喉頭・気管・肺などの呼吸器疾患、口腔・歯科・食道・胃・腸管・肝・脾・膵などの消化器疾患、腎臓・膀胱などの泌尿器疾患、生殖器疾患、脳・脊髄などの中枢神経系疾患、骨・関節・蹄病などの運動器疾患について、診断法と治療法を講述する。					
授業の一般目標					
犬猫の小動物と牛馬の産業動物における獣医外科学分野で、獣医師国家試験問題の出題領域については診断法や治療法を講述する。器官系統別に分類し、まず、皮膚疾患、ヘルニアなどの体腔の疾患、眼科疾患、頭部周辺の疾患、心・大血管系などの循環器疾患、鼻・咽喉頭・気管・肺などの呼吸器疾患、口腔・歯科・食道・胃・腸管・肝・脾・膵などの消化器疾患、腎臓・膀胱などの泌尿器疾患、生殖器疾患、脳・脊髄などの中枢神経系疾患、骨・関節・蹄病などの運動器疾患について、診断法と治療法を講述する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 犬猫などの小動物と牛馬などの産業動物における獣医外科学分野で講述した診断法や治療法の理解や知識					
思考・判断の観点: 犬猫などの小動物と牛馬などの産業動物における獣医外科学分野で講述した診断法や治療法についての思考や判断力の有無					
関心・意欲の観点: 犬猫などの小動物と牛馬などの産業動物における獣医外科学分野で講述した診断法や治療法についての関心や意欲の有無					
態度の観点: 犬猫などの小動物と牛馬などの産業動物における獣医外科学分野で講述した診断法や治療法についての学習態度					
技能・表現の観点: 犬猫などの小動物と牛馬などの産業動物における獣医外科学分野で講述した診断法や治療法についての技能や表現					
その他の観点: 犬猫などの小動物と牛馬などの産業動物における獣医外科学分野で講述した診断法や治療法についてその他特出すること					
成績評価方法(総合)					
田浦、谷、中市が別々に期末試験を行う。それぞれの成績を2:1:1の割合で合計し、全体の評点とする。					
教科書					
獣医外科手術 / 竹内啓[ほか]編、講談社、1994					
参考書					
スラッター-小動物の外科手術 / Douglas Slatter 編 ; 高橋貢, 佐々木伸也監訳: 文永堂出版, 2000					
主要症状を基礎にした牛の臨床 / 前出吉光, 小岩政照監修: デーリマン, 2002					
メッセージ					
動物の症例に実際に自分が遭遇した時に、どうすべきか、シュミレーションをすべきです。また、手術の際には、飼主へのインフォームド・コンセントが重要になります。外科学は理論に裏づけされた行動を速やかにとる必要があります。一緒に勉強しましょう。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年(秋)	曜日時限	火1~2	時間割コード	1074103008
開設科目名	専門科学英語			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	STEPHEN GRIMSHAW			区分	
授業の概要					
本講義は英国人による授業で、英文の本を読むことを中心に、英語に慣れることと初歩の医学英語を学ぶ。					
授業の一般目標					
The aim of the course is to develop students' aural comprehension ability using specifically medical English vocabulary.					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1, 基本的な医学英語の単語が正しく発音出来る。2, 基本的な医学英語文を正しく読み, 理解出来る。					
関心・意欲の観点: 1, 医学英語に積極的に親しみ, 日常的に読む態度を身につける。					
成績評価方法(総合)					
At intervals of 2-3 weeks there are 6 short paper examinations each term. The exams usually test only a single chapter from the text. A 60% average test score is required to pass. Attendance is also taken into consideration.					
教科書					
参考書					
The Language of Medicine / D.-E. Chabner: W.B. Saunders Company, 1996					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年(秋)	曜日時限	火1~2	時間割コード	1074103008
開設科目名	専門科学英語			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	STEPHEN GRIMSHAW			区分	
授業の概要					
本講義は英国人による授業で、英文の本を読むことを中心に、英語に慣れることと初歩の医学英語を学ぶ。					
授業の一般目標					
The aim of the course is to develop students' aural comprehension ability using specifically medical English vocabulary.					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1, 基本的な医学英語の単語が正しく発音出来る。2, 基本的な医学英語文を正しく読み, 理解出来る。					
関心・意欲の観点: 1, 医学英語に積極的に親しみ, 日常的に読む態度を身につける。					
成績評価方法(総合)					
At intervals of 2-3 weeks there are 6 short paper examinations each term. The exams usually test only a single chapter from the text. A 60% average test score is required to pass. Attendance is also taken into consideration.					
教科書					
参考書					
The Language of Medicine / D. -E. Chabner: W.B. Saunders Company, 1996					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	1.5 通年	曜日時限	木3~4	時間割コード	1074103009
開設科目名	獣医薬理学			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
広範な薬物をその主作用別に整理し、薬物が生体機能におよぼす作用とその機序を体系的に学ぶことにより、臨床における薬物治療の基礎を与える。					
授業の一般目標					
多くの薬物の作用機序を体系的に理解させる。臨床治療において適確に薬物を選択し、投与できるようになるのが目標である。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 多くの薬物の主作用と副作用の作用機序を体系的に説明できる。					
思考・判断の観点: 疾病種加物の治療において、適切な薬物を選択し投与できる。					
関心・意欲の観点: 薬物(化学物質)の生体への作用とその作用機序について常に関心をもつ。					
成績評価方法(総合)					
出席と定期試験					
教科書					
新編 家畜薬理学 改定版 / 吐山 豊明:養賢堂, 1994					
参考書					
New 薬理学 / 田中 千賀子ら:南江堂, 2002					
新 獣医薬理学 / 浦川紀元ら:近代出版, 2001					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	1.5 通年	曜日時限	木3~4	時間割コード	1074103009
開設科目名	獣医薬理学			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
広範な薬物をその主作用別に整理し、薬物が生体機能におよぼす作用とその機序を体系的に学ぶことにより、臨床における薬物治療の基礎を与える。					
授業の一般目標					
多くの薬物の作用機序を体系的に理解させる。臨床治療において適確に薬物を選択し、投与できるようになるのが目標である。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 多くの薬物の主作用と副作用の作用機序を体系的に説明できる。					
思考・判断の観点: 疾病種別物の治療において、適切な薬物を選択し投与できる。					
関心・意欲の観点: 薬物(化学物質)の生体への作用とその作用機序について常に関心をもつ。					
成績評価方法(総合)					
出席と定期試験					
教科書					
新編 家畜薬理学 改定版 / 吐山 豊明:養賢堂, 1994					
参考書					
New 薬理学 / 田中 千賀子ら:南江堂, 2002					
新 獣医薬理学 / 浦川紀元ら:近代出版, 2001					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	1.5 通年	曜日時限	木 1～2	時間割コード	1074103010
開設科目名	獣医内科学			単位	6 単位
対象学生				学年	～
担当教員	奥田 優, 水野 拓也			区分	
授業の概要					
各研究室に所属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができていないか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
奥田優(okudamu@yamaguchi-u.ac.jp)、水野拓也(mizutaku@yamaguchi-u.ac.jp)					
オフィスアワー					
木曜日 14:00-15:00					

開設期	1.5 通年	曜日時限	木1~2	時間割コード	1074103010
開設科目名	獣医内科学			単位	6単位
対象学生				学年	~
担当教員	奥田 優, 水野 拓也			区分	
授業の概要					
動物の内科疾患について、各器官別に総論的および各論的にその原因、病態、診断、治療、予防等について解説する。なお、ウイルス、細菌、寄生虫等の感染症の多くはそれぞれの専門講義に委ねる。					
授業の一般目標					
獣医学領域における個々の内科疾患を理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 個々の疾病について、その原因、病態、診断、治療、予後、予防等について理解すること					
思考・判断の観点: 授業での説明の順序とは逆に、症状から考えられる疾病をあげることができ(鑑別診断)、どのように診断を進めていくか(診断計画)、また病態、治療、予後および予防法について説明できるようになることが最終的な獣医内科学の目標である					
関心・意欲の観点: 基礎科目(解剖、生理、薬理等)を復習した上で授業に臨む					
技能・表現の観点: 専門用語を適切に使える					
成績評価方法(総合)					
4年前期・後期、5年前期の定期試験の結果を基に総合評価 欠格条件:出席、授業態度					
教科書					
獣医内科学 / 日本獣医内科学アカデミー編:文永堂出版, 2005					
参考書					
Small animal internal medicine / Richard W. Nelson, C. Guillermo Couto: Mosby, 2003					
メッセージ					
獣医内科学実習とリンクしているため配布したプリントを実習にも持参すること					
連絡先					
奥田優(okudamu@yamaguchi-u.ac.jp)、水野拓也(mizutaku@yamaguchi-u.ac.jp)					
オフィスアワー					
木曜日 14:00-15:00					

開設期	通年(秋)	曜日時限	木3~4	時間割コード	1074103011
開設科目名	獣医微生物学免疫学総論			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	前田 健			区分	
授業の概要					
動物に病気を引き起こす病原因子として様々な微生物が関係している。中でも細菌・ウイルスはその主要な部分を形成している。これらの微生物の特性を理解して病気の予防・治療法の基本的な考え方を学ぶ					
授業の一般目標					
微生物学(細菌学、ウイルス学)の基本的知識の習得を目指す。背景の知識として必要なものとして分子生物学が有るが、これは時間内で触れることによって関心を深めてもらう。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
獣医微生物学総論に関する基礎知識を定期試験にて評価する。レポート提出も評価の一部とする。授業態度や出席は欠格条件とする。					
教科書					
獣医微生物学(第二版) / 見上 虎監修:文永堂出版,2003					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年(秋)	曜日時限	木3~4	時間割コード	1074103011
開設科目名	獣医微生物学免疫学総論			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	前田 健			区分	
授業の概要					
動物に病気を引き起こす病原因子として様々な微生物が関係している。中でも細菌・ウイルスはその主要な部分を形成している。これらの微生物の特性を理解して病気の予防・治療法の基本的な考え方を学ぶ					
授業の一般目標					
微生物学(細菌学、ウイルス学)の基本的知識の習得を目指す。背景の知識として必要なものとして分子生物学が有るが、これは時間内で触れることによって関心を深めてもらう。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
獣医微生物学総論に関する基礎知識を定期試験にて評価する。レポート提出も評価の一部とする。授業態度や出席は欠格条件とする。					
教科書					
獣医微生物学(第二版) / 見上 虎監修:文永堂出版,2003					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103012
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	木曾 康郎			区分	
授業の概要					
専門性をたかめること,最近の関連分野についての情報,知識を得ること,英文の論文を読み,理解する訓練及びこれを要約して人に説明する訓練を行う。					
授業の一般目標					
専門性をたかめること,最近の関連分野についての情報,知識を得ること,英文の論文を読み,理解する訓練及びこれを要約して人に説明する訓練を行うことを目標とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席 = 40 ~ 60%					
発表と質疑応答 = 40 ~ 60%					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103012
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	木曾 康郎			区分	
授業の概要					
専門性をたかめること,最近の関連分野についての情報,知識を得ること,英文の論文を読み,理解する訓練及びこれを要約して人に説明する訓練を行う。					
授業の一般目標					
専門性をたかめること,最近の関連分野についての情報,知識を得ること,英文の論文を読み,理解する訓練及びこれを要約して人に説明する訓練を行うことを目標とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席 = 40 ~ 60%					
発表と質疑応答 = 40 ~ 60%					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103012
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	木曾 康郎			区分	
授業の概要					
専門性をたかめること,最近の関連分野についての情報,知識を得ること,英文の論文を読み,理解する訓練及びこれを要約して人に説明する訓練を行う。					
授業の一般目標					
専門性をたかめること,最近の関連分野についての情報,知識を得ること,英文の論文を読み,理解する訓練及びこれを要約して人に説明する訓練を行うことを目標とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席 = 40 ~ 60%					
発表と質疑応答 = 40 ~ 60%					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103013
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	和田 直己			区分	
授業の概要					
専門性をたかめること,最近の関連分野についての情報,知識を得ること,英文の論文を読み,理解する訓練及びこれを要約して人に説明する訓練を行う。					
授業の一般目標					
locomotion の研究を中心にして生命を理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 生命に対する考えを作り上げる。					
成績評価方法(総合)					
統合的に判断					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103013
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	和田 直己			区分	
授業の概要					
専門性をたかめること,最近の関連分野についての情報,知識を得ること,英文の論文を読み,理解する訓練及びこれを要約して人に説明する訓練を行う。					
授業の一般目標					
locomotion の研究を中心にして生命を理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 生命に対する考えを作り上げる。					
成績評価方法(総合)					
統合的に判断					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103013
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	和田 直己			区分	
授業の概要					
専門性をたかめること,最近の関連分野についての情報,知識を得ること,英文の論文を読み,理解する訓練及びこれを要約して人に説明する訓練を行う。					
授業の一般目標					
locomotion の研究を中心にして生命を理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 生命に対する考えを作り上げる。					
成績評価方法(総合)					
統合的に判断					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103014
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	山本 芳実			区分	
授業の概要					
<p>英文で書かれた文献を批判的に読み、内容や問題点を論理的に口頭発表することで、英文文献を読む訓練および他人に文献内容や問題点を説明する訓練を行う。</p> <p>さらに教員や他の学生との質疑応答や討論を通じて、その文献に関する理解を深めるとともに、科学的なディスカッションを体得する。</p>					
授業の一般目標					
<p>専門性を高めること。</p> <p>最近の関連分野についての情報や知識を得ること。</p> <p>英文の専門文献を読み、内容を理解して要旨を説明するとともに、問題点を見つけること。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
討論への積極的参加を期待する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103014
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	山本 芳実			区分	
授業の概要					
<p>英文で書かれた文献を批判的に読み、内容や問題点を論理的に口頭発表することで、英文文献を読む訓練および他人に文献内容や問題点を説明する訓練を行う。</p> <p>さらに教員や他の学生との質疑応答や討論を通じて、その文献に関する理解を深めるとともに、科学的なディスカッションを体得する。</p>					
授業の一般目標					
<p>専門性を高めること。</p> <p>最近の関連分野についての情報や知識を得ること。</p> <p>英文の専門文献を読み、内容を理解して要旨を説明するとともに、問題点を見つけること。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
討論への積極的参加を期待する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103014
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	山本 芳実			区分	
授業の概要					
<p>英文で書かれた文献を批判的に読み、内容や問題点を論理的に口頭発表することで、英文文献を読む訓練および他人に文献内容や問題点を説明する訓練を行う。さらに教員や他の学生との質疑応答や討論を通じて、その文献に関する理解を深めるとともに、科学的なディスカッションを体得する。</p>					
授業の一般目標					
<p>専門性を高めること。 最近の関連分野についての情報や知識を得ること。 英文の専門文献を読み、内容を理解して要旨を説明するとともに、問題点を見つけること。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
発表と討論への積極的な参加を期待する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103015
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	林 俊春			区分	
授業の概要					
病理診断に必要な病体の病理解剖法、固定・染色等を習得させる。					
授業の一般目標					
全身解剖例および生検の組織学的診断力の向上を目指す。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 正常組織と病的組織の相違点を理解、その後、診断に至る。					
思考・判断の観点: 病変を来した原因とそのメカニズムの理解					
関心・意欲の観点: 病理解剖に積極的に参加する。観察に耐え得る標本を作製するなど技術の向上。					
態度の観点: 疑問点について、高学年の学生、大学院生、教員に質問し、正しい診断かどうかを確認させる。					
技能・表現の観点: 病変の記述法。					
成績評価方法(総合)					
病理診断技術の向上					
教科書					
参考書					
メッセージ					
病的変化を的確に捉えるための経験の蓄積が必要。					
連絡先					
083-933-5890					
オフィスアワー					
12:00					
13:00					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103015
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	林 俊春			区分	
授業の概要					
病理診断に必要な病体の病理解剖法、固定・染色等を習得させる。					
授業の一般目標					
全身解剖例および生検の組織学的診断力の向上を目指す。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 正常組織と病的組織の相違点を理解。その後、診断に至る。					
思考・判断の観点: 病変を来した原因とそのメカニズムの理解。					
関心・意欲の観点: 病理解剖に積極的に参加する。観察に耐え得る標本を作製するなど技術の向上。					
態度の観点: 疑問点について、高学年の学生、大学院生、教員に質問し、正しい診断かどうかを確認させる。					
技能・表現の観点: 病変の記述法。					
成績評価方法(総合)					
病理診断技術の向上					
教科書					
参考書					
メッセージ					
病的変化を的確に捉えるための経験の蓄積が必要。					
連絡先					
083-933-5890					
オフィスアワー					
12:00					
13:00					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103015
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	林 俊春			区分	
授業の概要					
病理診断に必要な病体の病理解剖法、固定・染色等を習得させる。					
授業の一般目標					
全身解剖例および生検の組織学的診断力の向上を目指す。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 正常組織と病的組織の相違点を理解、その後、診断に至る。					
思考・判断の観点: 病変を来した原因とそのメカニズムの理解。					
関心・意欲の観点: 病理解剖に積極的に参加する。観察に耐え得る標本を作製するなど技術の向上。					
態度の観点: 疑問点について、高学年の学生、大学院生、教員に質問し、正しい診断かどうかを確認させる。					
技能・表現の観点: 病変の記述法。					
成績評価方法(総合)					
病理診断技術の向上					
教科書					
参考書					
メッセージ					
病的変化を的確に捉えるための経験の蓄積が必要。					
連絡先					
083-933-5890					
オフィスアワー					
12:00					
13:00					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103016
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	佐藤 宏			区分	
授業の概要					
<p>英文で書かれた文献を批判的に読み、内容や問題点を論理的に口頭発表することで、文献を読む訓練および他人に研究内容や問題点を説明する訓練を行う。さらに教員や他の学生との質疑応答や討論を通じて、その文献に関する理解を深める。</p>					
授業の一般目標					
<p>外国語文献が正確に読める力を養う。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
<p>毎週1回行われる演習への出席と、討議への参加が必要です。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103016
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	佐藤 宏			区分	
授業の概要					
<p>英文で書かれた文献を批判的に読み、内容や問題点を論理的に口頭発表することで、文献を読む訓練および他人に研究内容や問題点を説明する訓練を行う。さらに教員や他の学生との質疑応答や討論を通じて、その文献に関する理解を深める。</p>					
授業の一般目標					
<p>外国語文献が正確に読める力を養う。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
<p>毎週1回行われる演習への出席と、討議への参加が必要です。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103016
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	佐藤 宏			区分	
授業の概要					
<p>英文で書かれた文献を批判的に読み、内容や問題点を論理的に口頭発表することで、文献を読む訓練および他人に研究内容や問題点を説明する訓練を行う。さらに教員や他の学生との質疑応答や討論を通じて、その文献に関する理解を深める。</p>					
授業の一般目標					
<p>外国語文献が正確に読める力を養う。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
<p>毎週1回行われる演習への出席と、討議への参加が必要です。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103017
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	田浦 保穂			区分	

授業の概要

獣医外科学・獣医放射線学の専門性を高めるためこと、関連分野についての最新情報や知識を得ること、さらに英文の論文を読み、理解する訓練とこれを要約して人に説明する訓練を行う。さらに、実践的な獣医外科学を体験してもらうために、病院スタッフとして自覚してもらい、臨床獣医学を胸ドキドキしながら学べるような実習・演習にした。

授業の一般目標

獣医外科学・獣医放射線学の専門性を高めるためこと、関連分野についての最新情報や知識を得ること、さらに英文の論文を読み、理解する訓練とこれを要約して人に説明する訓練等を行い、問題解決能力とプレゼンテーション能力を付けること、実践的な獣医外科学・獣医放射線学を体験してもらうことを目標とする。

授業の到達目標

知識・理解の観点: 獣医外科学・獣医放射線学の専門性を高めるためこと、関連分野についての最新情報や知識を得ること、さらに英文の論文を読み、理解する訓練とこれを要約して人に説明する訓練等を行い、問題解決能力とプレゼンテーション能力を付けること、実践的な獣医外科学・獣医放射線学の知識と理解を深めることを到達目標とする。

思考・判断の観点: 獣医外科学・獣医放射線学の専門性を高めるためこと、関連分野についての最新情報や知識を得ること、さらに英文の論文を読み、理解する訓練とこれを要約して人に説明する訓練等を行い、問題解決能力とプレゼンテーション能力を付けること、実践的な獣医外科学・獣医放射線学の思考や判断を深めることを到達目標とする。

関心・意欲の観点: 獣医外科学・獣医放射線学の専門性を高めるためこと、関連分野についての最新情報や知識を得ること、さらに英文の論文を読み、理解する訓練とこれを要約して人に説明する訓練等を行い、問題解決能力とプレゼンテーション能力を付けること、実践的な獣医外科学・獣医放射線学の関心や意欲を深めることを到達目標とする。

態度の観点: 獣医外科学・獣医放射線学の専門性を高めるためこと、関連分野についての最新情報や知識を得ること、さらに英文の論文を読み、理解する訓練とこれを要約して人に説明する訓練等を行い、問題解決能力とプレゼンテーション能力を付けること、実践的な獣医外科学・獣医放射線学の真摯な態度を深めることを到達目標とする。

技能・表現の観点: 獣医外科学・獣医放射線学の専門性を高めるためこと、関連分野についての最新情報や知識を得ること、さらに英文の論文を読み、理解する訓練とこれを要約して人に説明する訓練等を行い、問題解決能力とプレゼンテーション能力を付けること、実践的な獣医外科学・獣医放射線学の技術や表現力を深めることを到達目標とする。

その他の観点: 獣医外科学・獣医放射線学の専門性を高めるためこと、関連分野についての最新情報や知識を得ること、さらに英文の論文を読み、理解する訓練とこれを要約して人に説明する訓練等を行い、問題解決能力とプレゼンテーション能力を付けること、実践的な獣医外科学・獣医放射線学のその他の事項を深めることを到達目標とする。

成績評価方法(総合)

授業態度や授業への参加度 = 欠格条件

受講者の発表(プレゼン)や授業内での製作作業(作品) = 欠格条件

演習 = 欠格条件

出席 = 欠格条件

義務事項: 当番・学会発表など = 欠格条件

教科書
参考書
<p>メッセージ</p> <p>「病院スタッフとして臨床獣医学を学ぶ」:臨床・CPC、専攻実験実習、当番・研究、学会発表など</p> <p>以下の項目を参考にして、学生奨励賞で評価する。頑張りましょう。</p> <p>(1) 診療業績:担当した初診、入院、手術、麻酔、CT&MRI、X線照射などの数</p> <p>(2) セミナー・教室会議・各種当番等の出席・実施状況-----自己管理度</p> <p>(3) 論文業績総数:3編以上(1編/年)</p> <p>業績の中には、1編以上の筆頭著者が望ましい。業績としては「学術論文」「訳、テキスト」「著書、等とし、学会口頭発表は参考資料とする。</p> <p>(4) 研究室貢献度(研究室発展に寄与する提言・意見・研究費・体力など)</p> <p>(5) その他:個性、受賞、役員、インパクトファクター</p>
<p>連絡先</p> <p>田浦保穂 : E-mail ytaura@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 933-5928, 研究室 農学部動物医療センター,</p> <p>谷健二: E-mail ktani@yamaguchi-u.ac.jp 電話 933-5908, 研究室 農学部動物医療センター,</p> <p>板本和仁 : E-mail kaz2356@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 933-5929, 研究室 農学部動物医療センター,</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>田浦保穂 : 随時</p> <p>谷健二: 随時</p> <p>板本和仁 : 随時</p>

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103017
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	田浦 保穂			区分	

授業の概要

獣医外科学・獣医放射線学の専門性を高めるためこと、関連分野についての最新情報や知識を得ること、さらに英文の論文を読み、理解する訓練とこれを要約して人に説明する訓練を行う。さらに、実践的な獣医外科学を体験してもらうために、病院スタッフとして自覚してもらい、臨床獣医学を胸ドキドキしながら学べるような実習・演習にした。

授業の一般目標

獣医外科学・獣医放射線学の専門性を高めるためこと、関連分野についての最新情報や知識を得ること、さらに英文の論文を読み、理解する訓練とこれを要約して人に説明する訓練等を行い、問題解決能力とプレゼンテーション能力を付けること、実践的な獣医外科学・獣医放射線学を体験してもらうことを目標とする。

授業の到達目標

知識・理解の観点: 獣医外科学・獣医放射線学の専門性を高めるためこと、関連分野についての最新情報や知識を得ること、さらに英文の論文を読み、理解する訓練とこれを要約して人に説明する訓練等を行い、問題解決能力とプレゼンテーション能力を付けること、実践的な獣医外科学・獣医放射線学の知識と理解を深めることを到達目標とする。

思考・判断の観点: 獣医外科学・獣医放射線学の専門性を高めるためこと、関連分野についての最新情報や知識を得ること、さらに英文の論文を読み、理解する訓練とこれを要約して人に説明する訓練等を行い、問題解決能力とプレゼンテーション能力を付けること、実践的な獣医外科学・獣医放射線学の思考や判断を深めることを到達目標とする。

関心・意欲の観点: 獣医外科学・獣医放射線学の専門性を高めるためこと、関連分野についての最新情報や知識を得ること、さらに英文の論文を読み、理解する訓練とこれを要約して人に説明する訓練等を行い、問題解決能力とプレゼンテーション能力を付けること、実践的な獣医外科学・獣医放射線学の関心や意欲を深めることを到達目標とする。

態度の観点: 獣医外科学・獣医放射線学の専門性を高めるためこと、関連分野についての最新情報や知識を得ること、さらに英文の論文を読み、理解する訓練とこれを要約して人に説明する訓練等を行い、問題解決能力とプレゼンテーション能力を付けること、実践的な獣医外科学・獣医放射線学の真摯な態度を深めることを到達目標とする。

技能・表現の観点: 獣医外科学・獣医放射線学の専門性を高めるためこと、関連分野についての最新情報や知識を得ること、さらに英文の論文を読み、理解する訓練とこれを要約して人に説明する訓練等を行い、問題解決能力とプレゼンテーション能力を付けること、実践的な獣医外科学・獣医放射線学の技術や表現力を深めることを到達目標とする。

その他の観点: 獣医外科学・獣医放射線学の専門性を高めるためこと、関連分野についての最新情報や知識を得ること、さらに英文の論文を読み、理解する訓練とこれを要約して人に説明する訓練等を行い、問題解決能力とプレゼンテーション能力を付けること、実践的な獣医外科学・獣医放射線学のその他の事項を深めることを到達目標とする。

成績評価方法(総合)

授業態度や授業への参加度 = 欠格条件

受講者の発表(プレゼン)や授業内での製作作業(作品) = 欠格条件

演習 = 欠格条件

出席 = 欠格条件

義務事項: 当番・学会発表など = 欠格条件

教科書
参考書
<p>メッセージ</p> <p>「病院スタッフとして臨床獣医学を学ぶ」:臨床・CPC、専攻実験実習、当番・研究、学会発表など</p> <p>以下の項目を参考にして、学生奨励賞で評価する。頑張りましょう。</p> <p>(1) 診療業績:担当した初診、入院、手術、麻酔、CT&MRI、X線照射などの数</p> <p>(2) セミナー・教室会議・各種当番等の出席・実施状況-----自己管理度</p> <p>(3) 論文業績総数:3編以上(1編/年)</p> <p>業績の中には、1編以上の筆頭著者が望ましい。業績としては「学術論文」「訳、テキスト」「著書、等とし、学会口頭発表は参考資料とする。</p> <p>(4) 研究室貢献度(研究室発展に寄与する提言・意見・研究費・体力など)</p> <p>(5) その他:個性、受賞、役員、インパクトファクター</p>
<p>連絡先</p> <p>田浦保穂 : E-mail ytaura@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 933-5928, 研究室 農学部動物医療センター,</p> <p>谷健二 : E-mail ktani@yamaguchi-u.ac.jp 電話 933-5908, 研究室 農学部動物医療センター,</p> <p>板本和仁 : E-mail kaz2356@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 933-5929, 研究室 農学部動物医療センター,</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>田浦保穂 : 随時</p> <p>谷健二 : 随時</p> <p>板本和仁 : 随時</p>

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103017
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	田浦 保穂			区分	

授業の概要

獣医外科学・獣医放射線学の専門性を高めるためこと、関連分野についての最新情報や知識を得ること、さらに英文の論文を読み、理解する訓練とこれを要約して人に説明する訓練を行う。さらに、実践的な獣医外科学を体験してもらうために、病院スタッフとして自覚してもらい、臨床獣医学を胸ドキドキしながら学べるような実習・演習にした。

授業の一般目標

獣医外科学・獣医放射線学の専門性を高めるためこと、関連分野についての最新情報や知識を得ること、さらに英文の論文を読み、理解する訓練とこれを要約して人に説明する訓練等を行い、問題解決能力とプレゼンテーション能力を付けること、実践的な獣医外科学・獣医放射線学を体験してもらうことを目標とする。

授業の到達目標

知識・理解の観点: 獣医外科学・獣医放射線学の専門性を高めるためこと、関連分野についての最新情報や知識を得ること、さらに英文の論文を読み、理解する訓練とこれを要約して人に説明する訓練等を行い、問題解決能力とプレゼンテーション能力を付けること、実践的な獣医外科学・獣医放射線学の知識と理解を深めることを到達目標とする。

思考・判断の観点: 獣医外科学・獣医放射線学の専門性を高めるためこと、関連分野についての最新情報や知識を得ること、さらに英文の論文を読み、理解する訓練とこれを要約して人に説明する訓練等を行い、問題解決能力とプレゼンテーション能力を付けること、実践的な獣医外科学・獣医放射線学の思考や判断を深めることを到達目標とする。

関心・意欲の観点: 獣医外科学・獣医放射線学の専門性を高めるためこと、関連分野についての最新情報や知識を得ること、さらに英文の論文を読み、理解する訓練とこれを要約して人に説明する訓練等を行い、問題解決能力とプレゼンテーション能力を付けること、実践的な獣医外科学・獣医放射線学の関心や意欲を深めることを到達目標とする。

態度の観点: 獣医外科学・獣医放射線学の専門性を高めるためこと、関連分野についての最新情報や知識を得ること、さらに英文の論文を読み、理解する訓練とこれを要約して人に説明する訓練等を行い、問題解決能力とプレゼンテーション能力を付けること、実践的な獣医外科学・獣医放射線学の真摯な態度を深めることを到達目標とする。

技能・表現の観点: 獣医外科学・獣医放射線学の専門性を高めるためこと、関連分野についての最新情報や知識を得ること、さらに英文の論文を読み、理解する訓練とこれを要約して人に説明する訓練等を行い、問題解決能力とプレゼンテーション能力を付けること、実践的な獣医外科学・獣医放射線学の技術や表現力を深めることを到達目標とする。

その他の観点: 獣医外科学・獣医放射線学の専門性を高めるためこと、関連分野についての最新情報や知識を得ること、さらに英文の論文を読み、理解する訓練とこれを要約して人に説明する訓練等を行い、問題解決能力とプレゼンテーション能力を付けること、実践的な獣医外科学・獣医放射線学のその他の事項を深めることを到達目標とする。

成績評価方法(総合)

授業態度や授業への参加度 = 欠格条件

受講者の発表(プレゼン)や授業内での製作作業(作品) = 欠格条件

演習 = 欠格条件

出席 = 欠格条件

義務事項: 当番・学会発表など = 欠格条件

教科書
参考書
<p>メッセージ</p> <p>「病院スタッフとして臨床獣医学を学ぶ」:臨床・CPC、専攻実験実習、当番・研究、学会発表など</p> <p>以下の項目を参考にして、学生奨励賞で評価する。頑張りましょう。</p> <p>(1) 診療業績:担当した初診、入院、手術、麻酔、CT&MRI、X線照射などの数</p> <p>(2) セミナー・教室会議・各種当番等の出席・実施状況-----自己管理度</p> <p>(3) 論文業績総数:3編以上(1編/年)</p> <p>業績の中には、1編以上の筆頭著者が望ましい。業績としては「学術論文」「訳、テキスト」「著書、等とし、学会口頭発表は参考資料とする。</p> <p>(4) 研究室貢献度(研究室発展に寄与する提言・意見・研究費・体力など)</p> <p>(5) その他:個性、受賞、役員、インパクトファクター</p>
<p>連絡先</p> <p>田浦保穂 : E-mail ytaura@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 933-5928, 研究室 農学部動物医療センター,</p> <p>谷健二 : E-mail ktani@yamaguchi-u.ac.jp 電話 933-5908, 研究室 農学部動物医療センター,</p> <p>板本和仁 : E-mail kaz2356@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 933-5929, 研究室 農学部動物医療センター,</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>田浦保穂 : 随時</p> <p>谷健二 : 随時</p> <p>板本和仁 : 随時</p>

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103018
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	岩田 祐之			区分	
授業の概要					
専門性をたかめること,最近の関連分野についての情報,知識を得ること,英文の論文を読み,理解する訓練及びこれを要約して人に説明する訓練を行う。					
授業の一般目標					
獣医衛生学・家畜免疫学に関する最新の知見を理解するとともに,研究に関する新しい技術の理解と修得を目指す。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
受講者の発表(プレゼンテーション) 出席					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
内線 5899, hiwata@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103018
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	岩田 祐之			区分	
授業の概要					
専門性をたかめること,最近の関連分野についての情報,知識を得ること,英文の論文を読み,理解する訓練及びこれを要約して人に説明する訓練を行う。					
授業の一般目標					
獣医衛生学・家畜免疫学に関する最新の知見を理解するとともに,研究に関する新しい技術の理解と修得を目指す。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
受講者の発表(プレゼンテーション) 出席					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
内線 5899, hiwata@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103018
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	岩田 祐之			区分	
授業の概要					
専門性をたかめること,最近の関連分野についての情報,知識を得ること,英文の論文を読み,理解する訓練及びこれを要約して人に説明する訓練を行う。					
授業の一般目標					
獣医衛生学・家畜免疫学に関する最新の知見を理解するとともに,研究に関する新しい技術の理解と修得を目指す。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
受講者の発表(プレゼンテーション) 出席					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
内線 5899, hiwata@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103019
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	中尾 敏彦			区分	
授業の概要					
飼育動物および野生動物の生殖生理と病理、繁殖の人為支配などに関する世界の最新の研究動向を把握するために、毎回2名ずつが、関係分野の学術雑誌の英語論文の内容を英語で発表し、十分な時間をかけて質疑応答を行う。また、適宜、研究計画や研究のプログレスレポートなどの発表も行う。					
授業の一般目標					
繁殖の中の特定の分野における最新の研究状況を理解させ、自らが研究を遂行する上での課題などを発見する能力を涵養させる。また、英語によるプレゼンテーション能力を向上させる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
プレゼンテーション、質疑応答、出席状況などにより、総合的に評価を行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103019
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	中尾 敏彦			区分	
授業の概要					
飼育動物および野生動物の生殖生理と病理、繁殖の人為支配などに関する世界の最新の研究動向を把握するために、毎回2名ずつが、関係分野の学術雑誌の英語論文の内容を英語で発表し、十分な時間をかけて質疑応答を行う。また、適宜、研究計画や研究のプログレスレポートなどの発表も行う。					
授業の一般目標					
繁殖の中の特定の分野における最新の研究状況を理解させ、自らが研究を遂行する上での課題などを発見する能力を涵養させる。また、英語によるプレゼンテーション能力を向上させる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
プレゼンテーション、質疑応答、出席状況などにより、総合的に評価を行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103019
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	中尾 敏彦			区分	
授業の概要					
飼育動物および野生動物の生殖生理と病理、繁殖の人為支配などに関する世界の最新の研究動向を把握するために、毎回2名ずつが、関係分野の学術雑誌の英語論文の内容を英語で発表し、十分な時間をかけて質疑応答を行う。また、適宜、研究計画や研究のプログレスレポートなどの発表も行う。					
授業の一般目標					
繁殖の中の特定の分野における最新の研究状況を理解させ、自らが研究を遂行する上での課題などを発見する能力を涵養させる。また、英語によるプレゼンテーション能力を向上させる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
プレゼンテーション、質疑応答、出席状況などにより、総合的に評価を行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103020
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	奥田 優			区分	
授業の概要					
<p>1) 獣医内科学分野における疾病の診断法、治療法、病態の解析などに関する最新の英語論文を読み、他の教室員に紹介するとともに、内容について討論する。</p> <p>2) 最近遭遇した臨床例について、経過、診断、治療などをとりまとめ、他の教室員に紹介するとともに、問題点について検討する。</p>					
授業の一般目標					
<p>1) 専門性を高めるとともに、情報の入手法・読解法・発表法などについて訓練すること</p> <p>2) また文献の読解をきっかけにある疾病について深く理解すること</p> <p>3) 症例報告の方法を取得すること</p> <p>4) 実際の症例について獣医内科学的な考え方を習得すること</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 発表した項目については専門家として、さまざまな方面からの質疑に答えることができる</p> <p>思考・判断の観点: 獣医内科学的な論理的な思考法(鑑別診断)を習得する</p> <p>関心・意欲の観点: 自発的かつ積極的にとりくむ</p> <p>態度の観点: 自発的かつ積極的にとりくむ</p> <p>技能・表現の観点: 簡潔明瞭かつ要点を押さえ、時間内に述べたいことを発表する。はじめて聞く者にもわかりやすい発表ができる。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>授業態度や授業への参加度 = 40 ~ 60%</p> <p>受講者の発表(プレゼン)や授業内での製作作業(作品) = 40 ~ 60%</p> <p>出席 = 欠格条件</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
奥田優(okudamu@yamaguchi-u.ac.jp)、水野拓也(mizutaku@yamaguchi-u.ac.jp)					
オフィスアワー					
木曜日 14:00-15:00					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103020
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	奥田 優			区分	
授業の概要					
<p>1) 獣医内科学分野における疾病の診断法、治療法、病態の解析などに関する最新の英語論文を読み、他の教室員に紹介するとともに、内容について討論する。</p> <p>2) 最近遭遇した臨床例について、経過、診断、治療などをとりまとめ、他の教室員に紹介するとともに、問題点について検討する。</p>					
授業の一般目標					
<p>1) 専門性を高めるとともに、情報の入手法・読解法・発表法などについて訓練すること</p> <p>2) また文献の読解をきっかけにある疾病について深く理解すること</p> <p>3) 症例報告の方法を取得すること</p> <p>4) 実際の症例について獣医内科学的な考え方を習得すること</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 発表した項目については専門家として、さまざまな方面からの質疑に答えることができる</p> <p>思考・判断の観点: 獣医内科学的な論理的な思考法(鑑別診断)を習得する</p> <p>関心・意欲の観点: 自発的かつ積極的にとりくむ</p> <p>態度の観点: 自発的かつ積極的にとりくむ</p> <p>技能・表現の観点: 簡潔明瞭かつ要点を押さえ、時間内に述べたいことを発表する。はじめて聞く者にもわかりやすい発表ができる。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>授業態度や授業への参加度 = 40 ~ 60%</p> <p>受講者の発表(プレゼン)や授業内での製作作業(作品) = 40 ~ 60%</p> <p>出席 = 欠格条件</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
奥田優(okudamu@yamaguchi-u.ac.jp)、水野拓也(mizutaku@yamaguchi-u.ac.jp)					
オフィスアワー					
木曜日 14:00-15:00					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103020
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	奥田 優			区分	
授業の概要					
<p>1) 獣医内科学分野における疾病の診断法、治療法、病態の解析などに関する最新の英語論文を読み、他の教室員に紹介するとともに、内容について討論する。</p> <p>2) 最近遭遇した臨床例について、経過、診断、治療などをとりまとめ、他の教室員に紹介するとともに、問題点について検討する。</p>					
授業の一般目標					
<p>1) 専門性を高めるとともに、情報の入手法・読解法・発表法などについて訓練すること</p> <p>2) また文献の読解をきっかけにある疾病について深く理解すること</p> <p>3) 症例報告の方法を取得すること</p> <p>4) 実際の症例について獣医内科学的な考え方を習得すること</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 発表した項目については専門家として、さまざまな方面からの質疑に答えることができる</p> <p>思考・判断の観点: 獣医内科学的な論理的な思考法(鑑別診断)を習得する</p> <p>関心・意欲の観点: 自発的かつ積極的にとりくむ</p> <p>態度の観点: 自発的かつ積極的にとりくむ</p> <p>技能・表現の観点: 簡潔明瞭かつ要点を押さえ、時間内に述べたいことを発表する。はじめて聞く者にもわかりやすい発表ができる。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>授業態度や授業への参加度 = 40 ~ 60%</p> <p>受講者の発表(プレゼン)や授業内での製作作業(作品) = 40 ~ 60%</p> <p>出席 = 欠格条件</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
奥田優(okudamu@yamaguchi-u.ac.jp)、水野拓也(mizutaku@yamaguchi-u.ac.jp)					
オフィスアワー					
木曜日 14:00-15:00					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103021
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	西垣 一男			区分	
授業の概要					
<p>英文で書かれた文献を批判的に読み、内容や問題点を論理的に口頭発表することで、英文文献を読む訓練および他人に文献内容や問題点を説明する訓練を行う。</p> <p>さらに教員や他の学生との質疑応答や討論を通じて、その文献に関する理解を深めるとともに、科学的なディスカッションを体得する。</p>					
授業の一般目標					
<p>専門性を高めること。</p> <p>最近の関連分野についての情報や知識を得ること。</p> <p>英文の専門文献を読み、内容を理解して要旨を説明するとともに、問題点を見つけること。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
<p>英文のテキストの講読、英文で書かれた新しい論文の紹介、新しい実験方法・臨床技術の紹介、当番学生の発表をもとに、質疑応答や討論を行い、内容の理解。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103021
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	西垣 一男			区分	
授業の概要					
<p>英文で書かれた文献を批判的に読み、内容や問題点を論理的に口頭発表することで、英文文献を読む訓練および他人に文献内容や問題点を説明する訓練を行う。</p> <p>さらに教員や他の学生との質疑応答や討論を通じて、その文献に関する理解を深めるとともに、科学的なディスカッションを体得する。</p>					
授業の一般目標					
<p>専門性を高めること。</p> <p>最近の関連分野についての情報や知識を得ること。</p> <p>英文の専門文献を読み、内容を理解して要旨を説明するとともに、問題点を見つけること。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
<p>英文のテキストの講読、英文で書かれた新しい論文の紹介、新しい実験方法・臨床技術の紹介、当番学生の発表をもとに、質疑応答や討論を行い、内容の理解。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103021
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	西垣 一男			区分	
授業の概要					
<p>英文で書かれた文献を批判的に読み、内容や問題点を論理的に口頭発表することで、英文文献を読む訓練および他人に文献内容や問題点を説明する訓練を行う。</p> <p>さらに教員や他の学生との質疑応答や討論を通じて、その文献に関する理解を深めるとともに、科学的なディスカッションを体得する。</p>					
授業の一般目標					
<p>専門性を高めること。</p> <p>最近の関連分野についての情報や知識を得ること。</p> <p>英文の専門文献を読み、内容を理解して要旨を説明するとともに、問題点を見つけること。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
<p>英文のテキストの講読、英文で書かれた新しい論文の紹介、新しい実験方法・臨床技術の紹介、当番学生の発表をもとに、質疑応答や討論を行い、内容の理解。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103022
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
<p>1. 薬物の生体への作用機序に係る英語論文を読み、その実験研究の目的と結果を正しく理解する。次に文献の著者の考察の妥当性について討論する。そして、学生と教官で読んだ文献が自分達の研究にどう応用できるかを検討する。2. 学生の卒業研究の途中結果発表について、教官がコメントをし、今後の実験研究の進行についてアドバイスをを行う。</p>					
授業の一般目標					
<p>学習研究に必要な文献を学生自身がインターネット検索により入手し、個人で文献を読み内容を理解できるようになるのが目標である。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 学生の自身の研究テーマに関する文献をインターネットで検索でき、研究者によるこれまでの研究の進展を文献を読むことにより理解できる。</p> <p>思考・判断の観点: 他の研究者の文献の実験データや考察の意味を適確に把握することができ、文献からの情報を自身の研究に応用できる。</p> <p>関心・意欲の観点: 自身の卒論テーマとは異なった薬理学の最新の研究トピックスにも関心を持ち、検索する意欲を期待する。</p>					
成績評価方法(総合)					
出席と討論への参加					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103022
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
<p>1. 薬物の生体への作用機序に関する英語論文を読み、その実験研究の目的と結果を正しく理解する。次に文献の著者の考察の妥当性について討論する。そして、学生と教官で読んだ文献が自分達の研究にどう応用できるかを検討する。2. 学生の卒業研究の途中結果発表について、教官がコメントをし、今後の実験研究の進行についてアドバイスをを行う。</p>					
授業の一般目標					
<p>学習研究に必要な文献を学生自身がインターネット検索により入手し、個人で文献を読み内容を理解できるようになるのが目標である。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 学生の自身の研究テーマに関する文献をインターネットで検索でき、研究者によるこれまでの研究の進展を文献を読むことにより理解できる。</p> <p>思考・判断の観点: 他の研究者の文献の実験データや考察の意味を適確に把握することができ、文献からの情報を自身の研究に応用できる。</p> <p>関心・意欲の観点: 自身の卒論テーマとは異なった薬理学の最新の研究トピックスにも関心を持ち、検索する意欲を期待する。</p>					
成績評価方法(総合)					
出席と討論への参加					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103022
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
<p>1. 薬物の生体への作用機序に関する英語論文を読み、その実験研究の目的と結果を正しく理解する。次に文献の著者の考察の妥当性について討論する。そして、学生と教官で読んだ文献が自分達の研究にどう応用できるかを検討する。2. 学生の卒業研究の途中結果発表について、教官がコメントをし、今後の実験研究の進行についてアドバイスをを行う。</p>					
授業の一般目標					
<p>学習研究に必要な文献を学生自身がインターネット検索により入手し、個人で文献を読み内容を理解できるようになるのが目標である。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 学生の自身の研究テーマに関する文献をインターネットで検索でき、研究者によるこれまでの研究の進展を文献を読むことにより理解できる。</p> <p>思考・判断の観点: 他の研究者の文献の実験データや考察の意味を適確に把握することができ、文献からの情報を自身の研究に応用できる。</p> <p>関心・意欲の観点: 自身の卒論テーマとは異なった薬理学の最新の研究トピックスにも関心を持ち、検索する意欲を期待する。</p>					
成績評価方法(総合)					
出席と討論への参加					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103023
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
新着雑誌(Journal of Virology など)から、適当な文献を自ら選びだし、読解後その中身を研究室員全員の前で易しく説明し、新しい知見を紹介する。					
授業の一般目標					
英語文献の読解能力を養うと同時に、理解したことを易しく表現する能力、データの解析能力、新知識の習得、新技術を知ることなど、独力で知識を拡大する方法を学ぶ。					
授業の到達目標					
態度の観点: 新知識をいかにして獲得するか姿勢を評価の対象とする。					
成績評価方法(総合)					
出席と討論への参加					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103023
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
新着雑誌(Journal of Virology など)から、適当な文献を自ら選びだし、読解後その中身を研究室員全員の前で易しく説明し、新しい知見を紹介する。					
授業の一般目標					
英語文献の読解能力を養うと同時に、理解したことを易しく表現する能力、データの解析能力、新知識の習得、新技術を知ることなど、独力で知識を拡大する方法を学ぶ。					
授業の到達目標					
態度の観点: 新知識をいかにして獲得するか姿勢を評価の対象とする。					
成績評価方法(総合)					
出席と討論への参加					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103023
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
新着雑誌(Journal of Virology など)から、適当な文献を自ら選びだし、読解後その中身を研究室員全員の前で易しく説明し、新しい知見を紹介する。					
授業の一般目標					
英語文献の読解能力を養うと同時に、理解したことを易しく表現する能力、データの解析能力、新知識の習得、新技術を知ることなど、独力で知識を拡大する方法を学ぶ。					
授業の到達目標					
態度の観点: 新知識をいかにして獲得するか姿勢を評価の対象とする。					
成績評価方法(総合)					
出席と討論への参加					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103024
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
臨床病態学や臓器機能解析学に関する輪読(英文テキスト)と文献調査的考察による勉強会、家畜病院診療補助的研修、実験動物(犬、マウス、ウサギ、ハムスター)の飼育による動物取り扱いの習熟、などが中心					
授業の一般目標					
獣医臨床知識技術の幅広い習得を目標とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 学習心と探求心の向上、学術データの読解力の向上、獣医臨床の基礎知識の学習を目的とする。					
成績評価方法(総合)					
出席と討論への参加					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103024
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
臨床病態学や臓器機能解析学に関する輪読(英文テキスト)と文献調査的考察による勉強会、家畜病院診療補助的研修、実験動物(犬、マウス、ウサギ、ハムスター)の飼育による動物取り扱いの習熟、などが中心					
授業の一般目標					
獣医臨床知識技術の幅広い習得を目標とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 学習心と探求心の向上、学術データの読解力の向上、獣医臨床の基礎知識の学習を目的とする。					
成績評価方法(総合)					
出席と討論への参加					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103024
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
臨床病態学や臓器機能解析学に関する輪読(英文テキスト)と文献調査的考察による勉強会、家畜病院診療補助的研修、実験動物(犬、マウス、ウサギ、ハムスター)の飼育による動物取り扱いの習熟、などが中心					
授業の一般目標					
獣医臨床知識技術の幅広い習得を目標とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 学習心と探求心の向上、学術データの読解力の向上、獣医臨床の基礎知識の学習を目的とする。					
成績評価方法(総合)					
出席と討論への参加					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103025
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	音井 威重			区分	
授業の概要					
動物の生殖工学に関する幅広い知識を身につけることを目標に、文献の紹介、パワーポイントによる発表を行う。なお、研究室配属時に、専門用語の解説等のために集中的なゼミを行う場合がある。					
授業の一般目標					
動物の生殖工学に関する幅広い知識を身につける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 実験手法の意味、専門用語の理解ができ、結果の解析ができる。					
思考・判断の観点: 結果を予想した、効率的な実験計画の設定ができる。					
技能・表現の観点: 卵子の取り扱いを基本技術とし、実験に関する手技の習得ができる。					
成績評価方法(総合)					
ゼミ参加が基本である。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103025
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	音井 威重			区分	
授業の概要					
動物の生殖工学に関する幅広い知識を身につけることを目標に、文献の紹介、パワーポイントによる発表を行う。なお、研究室配属時に、専門用語の解説等のために集中的なゼミを行う場合がある。					
授業の一般目標					
動物の生殖工学に関する幅広い知識を身につける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 実験手法の意味、専門用語の理解ができ、結果の解析ができる。					
思考・判断の観点: 結果を予想した、効率的な実験計画の設定ができる。					
技能・表現の観点: 卵子の取り扱いを基本技術とし、実験に関する手技の習得ができる。					
成績評価方法(総合)					
ゼミ参加が基本である。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103025
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	音井 威重			区分	
授業の概要					
動物の生殖工学に関する幅広い知識を身につけることを目標に、文献の紹介、パワーポイントによる発表を行う。なお、研究室配属時に、専門用語の解説等のために集中的なゼミを行う場合がある。					
授業の一般目標					
動物の生殖工学に関する幅広い知識を身につける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 実験手法の意味、専門用語の理解ができ、結果の解析ができる。					
思考・判断の観点: 結果を予想した、効率的な実験計画の設定ができる。					
技能・表現の観点: 卵子の取り扱いを基本技術とし、実験に関する手技の習得ができる。					
成績評価方法(総合)					
ゼミ参加が基本である。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103026
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	木曾 康郎			区分	
授業の概要					
各研究室に所属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができているか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103026
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	木曾 康郎			区分	
授業の概要					
各研究室に所属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができているか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限		時間割コード	1074103026
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	木曾 康郎			区分	
授業の概要					
各研究室に所属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができているか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103027
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	和田 直己			区分	
授業の概要					
脊椎動物の locomotion の神経制御について					
授業の一般目標					
locomotion の神経制御を理解し、生き物自体に対する自分なりの見識を有する					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
統合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103027
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	和田 直己			区分	
授業の概要					
脊椎動物の locomotion の神経制御について					
授業の一般目標					
locomotion の神経制御を理解し、生き物自体に対する自分なりの見識を有する					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
統合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限		時間割コード	1074103027
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	和田 直己			区分	
授業の概要					
脊椎動物の locomotion の神経制御について					
授業の一般目標					
locomotion の神経制御を理解し、生き物自体に対する自分なりの見識を有する					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
統合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103028
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	山本 芳実			区分	
授業の概要					
各研究室に所属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができているか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
各教員研究室					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103028
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	山本 芳実			区分	
授業の概要					
各研究室に所属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができていないか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
各教員研究室					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限		時間割コード	1074103028
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	山本 芳実			区分	
授業の概要					
各研究室に所属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができているか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103029
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	林 俊春			区分	
授業の概要					
各学生に与えた課題について研究を行い、未解明の点を明らかにさせる。					
授業の一般目標					
研究を遂行するための実験の計画、実験を遂行するための技術や知識の習得、得られデータの解釈・考察などを学ぶ。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 実験の目的とその背景。					
思考・判断の観点: 得られたデータの解析・解釈。					
関心・意欲の観点: 実験が思うように進まない場合の解決。					
態度の観点: 最後まで、やり遂げる努力。					
技能・表現の観点: 得られたデータの正確な記述。					
成績評価方法(総合)					
実験計画に基づく成果と新知見が得られたかどうかについて、評価					
教科書					
参考書					
メッセージ					
積極的な実験への取り組み					
連絡先					
083-933-5890					
オフィスアワー					
12:00 13:00					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103029
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	林 俊春			区分	
授業の概要					
各学生に与えた課題について研究を行い、未解明の点を明らかにさせる。					
授業の一般目標					
研究を遂行するための実験の計画、実験を遂行するための技術や知識の習得、得られデータの解釈・考察などを学ぶ。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 実験の目的とその背景。					
思考・判断の観点: 得られたデータの解析・解釈。					
関心・意欲の観点: 実験が思うように進まない場合の解決。					
態度の観点: 最後まで、やり遂げる努力。					
技能・表現の観点: 得られたデータの正確な記述。					
成績評価方法(総合)					
実験計画に基づく成果と新知見が得られたかどうかについて、評価					
教科書					
参考書					
メッセージ					
積極的な実験への取り組み					
連絡先					
083-933-5890					
オフィスアワー					
12:00 13:00					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限		時間割コード	1074103029
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	林 俊春			区分	
授業の概要					
各学生に与えた課題について研究を行い、未解明の点を明らかにさせる。					
授業の一般目標					
研究を遂行するための実験の計画、実験を遂行するための技術や知識の習得、得られデータの解釈・考察などを学ぶ。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 実験の目的とその背景。					
思考・判断の観点: 得られたデータの解析・解釈。					
関心・意欲の観点: 実験が思うように進まない場合の解決。					
態度の観点: 最後まで、やり遂げる努力。					
技能・表現の観点: 得られたデータの正確な記述。					
成績評価方法(総合)					
実験計画に基づく成果と新知見が得られたかどうかについて、評価					
教科書					
参考書					
メッセージ					
積極的な実験への取り組み					
連絡先					
083-933-5890					
オフィスアワー					
12:00 13:00					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103030
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	佐藤 宏			区分	
授業の概要					
各研究室に所属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができているか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
各教員研究室					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103030
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	佐藤 宏			区分	
授業の概要					
各研究室に所属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができているか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
各教員研究室					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限		時間割コード	1074103030
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	佐藤 宏			区分	
授業の概要					
各研究室に所属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができているか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
各教員研究室					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103031
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	田浦 保穂			区分	
授業の概要					
各研究室に分属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができていないか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
田浦保穂 : E-mail ytaura@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 933-5928, 研究室 農学部種加物医療センター,					
谷健二 : E-mail ktani@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 933-5908, 研究室 農学部種加物医療センター,					
板本和仁 : E-mail kaz2356@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 933-5929, 研究室 農学部種加物医療センター,					
オフィスアワー					
随時					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103031
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	田浦 保穂			区分	
授業の概要					
各研究室に分属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができていないか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
田浦保穂 : E-mail ytaura@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 933-5928, 研究室 農学部種加物医療センター,					
谷健二 : E-mail ktani@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 933-5908, 研究室 農学部種加物医療センター,					
板本和仁 : E-mail kaz2356@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 933-5929, 研究室 農学部種加物医療センター,					
オフィスアワー					
随時					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時間		時間割コード	1074103031
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	田浦 保穂			区分	
授業の概要					
各研究室に分属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができているか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
田浦保穂 : E-mail ytaura@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 933-5928, 研究室 農学部種加物医療センター,					
谷健二 : E-mail ktani@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 933-5908, 研究室 農学部種加物医療センター,					
板本和仁 : E-mail kaz2356@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 933-5929, 研究室 農学部種加物医療センター,					
オフィスアワー					
随時					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103032
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	岩田 祐之			区分	
授業の概要					
各研究室に所属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができていないか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
各教員研究室					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103032
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	岩田 祐之			区分	
授業の概要					
各研究室に所属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができていないか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
各教員研究室					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限		時間割コード	1074103032
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	岩田 祐之			区分	
授業の概要					
各研究室に所属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができていないか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
各教員研究室					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103033
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	中尾 敏彦			区分	
授業の概要					
各研究室に所属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができていないか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
各教員研究室					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103033
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	中尾 敏彦			区分	
授業の概要					
各研究室に所属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができていないか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
各教員研究室					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限		時間割コード	1074103033
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	中尾 敏彦			区分	
授業の概要					
各研究室に所属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができているか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
各教員研究室					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103034
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	奥田 優			区分	
授業の概要					
各研究室に所属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができているか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103034
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	奥田 優			区分	
授業の概要					
各研究室に所属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができているか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限		時間割コード	1074103034
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	奥田 優			区分	
授業の概要					
各研究室に所属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができているか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103035
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	西垣 一男			区分	
授業の概要					
研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができていないか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103035
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	西垣 一男			区分	
授業の概要					
研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができていないか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限		時間割コード	1074103035
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	西垣 一男			区分	
授業の概要					
研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができているか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103036
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
各研究室に所属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができていないか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103036
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
各研究室に所属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができていないか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限		時間割コード	1074103036
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
各研究室に所属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができていないか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103037
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
各研究室に所属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができていないか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103037
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
各研究室に所属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができていないか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限		時間割コード	1074103037
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
各研究室に所属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができていないか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103038
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
各研究室に所属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができていないか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103038
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
各研究室に分属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができていないか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限		時間割コード	1074103038
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
各研究室に所属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができていないか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103039
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	音井 威重			区分	
授業の概要					
動物の生殖工学に関する幅広い知識を身につけることを目標に、文献の紹介、パワーポイントによる発表を行う。なお、研究室配属時に、専門用語の解説等のために集中的なゼミを行う場合がある。					
授業の一般目標					
動物の生殖工学に関する幅広い知識を身につける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 実験手法の意味、専門用語の理解ができ、結果の解析ができる。					
思考・判断の観点: 結果を予想した、効率的な実験計画の設定ができる。					
技能・表現の観点: 卵子の取り扱いを基本技術とし、実験に関する手技の習得ができる。					
成績評価方法(総合)					
ゼミ参加が基本である。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103039
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	音井 威重			区分	
授業の概要					
動物の生殖工学に関する幅広い知識を身につけることを目標に、文献の紹介、パワーポイントによる発表を行う。なお、研究室配属時に、専門用語の解説等のために集中的なゼミを行う場合がある。					
授業の一般目標					
動物の生殖工学に関する幅広い知識を身につける。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 実験手法の意味、専門用語の理解ができ、結果の解析ができる。					
思考・判断の観点: 結果を予想した、効率的な実験計画の設定ができる。					
技能・表現の観点: 卵子の取り扱いを基本技術とし、実験に関する手技の習得ができる。					
成績評価方法(総合)					
ゼミ参加が基本である。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103040
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
各研究室に分属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができていないか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103041
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	利部 聡			区分	
授業の概要					
各研究室に分属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができていないか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2.5 通年(秋)	曜日時限	未定	時間割コード	1074103041
開設科目名	卒業論文			単位	6 単位
対象学生				学年	~
担当教員	利部 聡			区分	
授業の概要					
各研究室に所属後、各教員の指導のもとで、それぞれの分野の研究に専念し、研究に対する基本姿勢を身につけるとともに、専門的な知識を修得する。研究成果は、6年次に卒業論文として提出するとともに、卒業論文発表会において発表する。					
授業の一般目標					
生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができていないか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか。					
成績評価方法(総合)					
研究室への出席、研究態度、研究意欲を中心として、研究内容の理解度や研究を進める際の技術力・判断力などを総合的に評価する。また、研究を理解し取りまとめる能力も評価の対象となる。6年次には卒論発表会を開催し、内容について発表および質疑応答を行い、獣医学科教員による評価を受ける。ただし、単位認定は主指導教員が行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103042
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
<p>1. 薬物の生体への作用機序に関する英語論文を読み、その実験研究の目的と結果を正しく理解する。次に文献の著者の考察の妥当性について討論する。そして、学生と教官で読んだ文献が自分達の研究にどう応用できるかを検討する。2. 学生の卒業研究の途中結果発表について、教官がコメントをし、今後の実験研究の進行についてアドバイスをを行う。</p>					
授業の一般目標					
<p>学習研究に必要な文献を学生自身がインターネット検索により入手し、個人で文献を読み内容を理解できるようになるのが目標である。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 学生の自身の研究テーマに関する文献をインターネットで検索でき、研究者によるこれまでの研究の進展を文献を読むことにより理解できる。</p> <p>思考・判断の観点: 他の研究者の文献の実験データや考察の意味を適確に把握することができ、文献からの情報を自身の研究に応用できる。</p> <p>関心・意欲の観点: 自身の卒論テーマとは異なった薬理学の最新の研究トピックスにも関心を持ち、検索する意欲を期待する。</p>					
成績評価方法(総合)					
出席と討論への参加					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103043
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	利部 聡			区分	
授業の概要					
<p>1. 薬物の生体への作用機序に関する英語論文を読み、その実験研究の目的と結果を正しく理解する。次に文献の著者の考察の妥当性について討論する。そして、学生と教官で読んだ文献が自分達の研究にどう応用できるかを検討する。2. 学生の卒業研究の途中結果発表について、教官がコメントをし、今後の実験研究の進行についてアドバイスをを行う。</p>					
授業の一般目標					
<p>学習研究に必要な文献を学生自身がインターネット検索により入手し、個人で文献を読み内容を理解できるようになるのが目標である。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 学生の自身の研究テーマに関する文献をインターネットで検索でき、研究者によるこれまでの研究の進展を文献を読むことにより理解できる。</p> <p>思考・判断の観点: 他の研究者の文献の実験データや考察の意味を適確に把握することができ、文献からの情報を自身の研究に応用できる。</p> <p>関心・意欲の観点: 自身の卒論テーマとは異なった薬理学の最新の研究トピックスにも関心を持ち、検索する意欲を期待する。</p>					
成績評価方法(総合)					
出席と討論への参加					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	2年通年(秋)	曜日時限	集中	時間割コード	1074103043
開設科目名	専攻演習			単位	4単位
対象学生				学年	~
担当教員	利部 聡			区分	
授業の概要					
<p>1. 薬物の生体への作用機序に関する英語論文を読み、その実験研究の目的と結果を正しく理解する。次に文献の著者の考察の妥当性について討論する。そして、学生と教官で読んだ文献が自分達の研究にどう応用できるかを検討する。2. 学生の卒業研究の途中結果発表について、教官がコメントをし、今後の実験研究の進行についてアドバイスをを行う。</p>					
授業の一般目標					
<p>学習研究に必要な文献を学生自身がインターネット検索により入手し、個人で文献を読み内容を理解できるようになるのが目標である。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 学生の自身の研究テーマに関する文献をインターネットで検索でき、研究者によるこれまでの研究の進展を文献を読むことにより理解できる。</p> <p>思考・判断の観点: 他の研究者の文献の実験データや考察の意味を適確に把握することができ、文献からの情報を自身の研究に応用できる。</p> <p>関心・意欲の観点: 自身の卒論テーマとは異なった薬理学の最新の研究トピックスにも関心を持ち、検索する意欲を期待する。</p>					
成績評価方法(総合)					
出席と討論への参加					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					